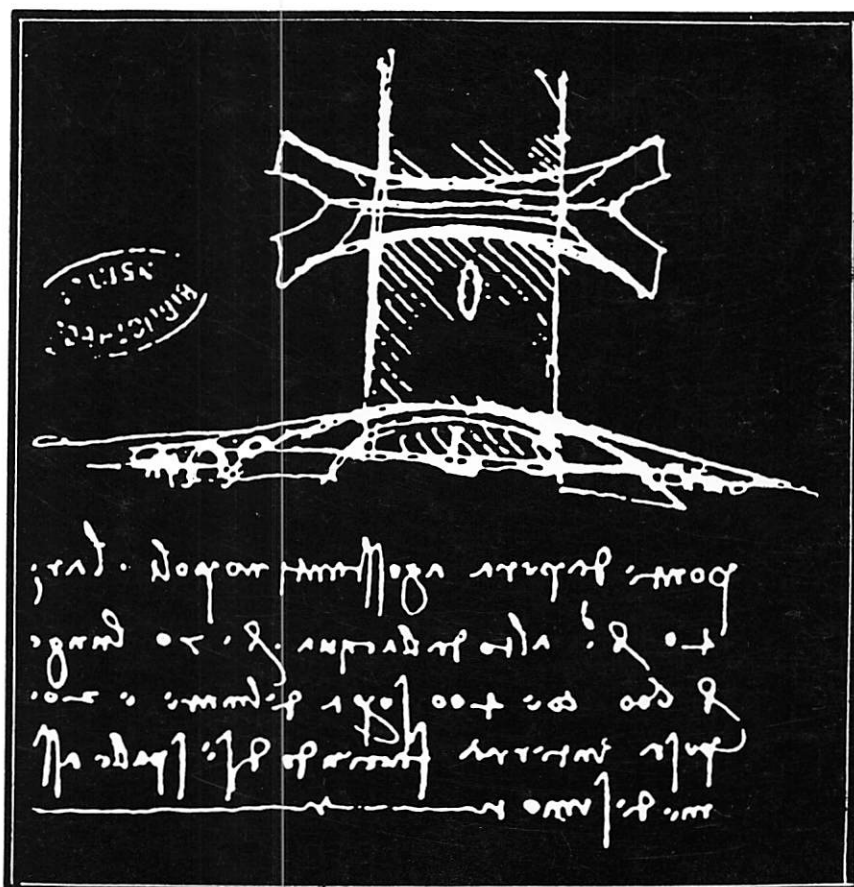


KABSE

19

九州橋梁・構造工学研究会会報 第19号 2002

KYUSHU ASSOCIATION FOR
BRIDGE AND STRUCTURAL ENGINEERING



表紙説明

レオナルド・ダ・ヴィンチの

ゴールデン・ホーン架橋計画

Leonardo da Vinci (1452~1519) は、一般に「モナ・リザ」、「最後の晩餐」、「聖アンナと聖母子」、「スフォルツァの騎士像」などを残した芸術家として知られている。しかし、一方では優れた科学者であり技術者でもあった。

彼は物理学、数学、天文学、生物学、医学、力学、機械工学、土木工学、建築学などにルネッサンスの最高水準を示し、近代科学技術の先駆者としての功績が大きい。その研究は5000ページを超える膨大なノートに残されている。

土木工学の分野では、橋梁、港湾、水門、運河、灌漑設備などをつくり、都市計画、大都市用の二階になった道路、下水工事計画なども行った。また、驚くべき近代地質学的意図ももっていた。

彼には夢があった。イスタンブールのゴールデン・ホーンに橋を架けることで、その着工をオスマン帝国のスルタンに進言した。表紙の図は、彼のノートに残されたこの橋の平面図と立体図である。1150フィートに達する橋の寸法は、彼独特の鏡文字で次のように書かれている。

「ベラよりコンスタンチノーブルに至る橋。幅員40ブラッチョ、水面からの高さ70ブラッチョ、長さ600ブラッチョ、うち400ブラッチョは海上、200ブラッチョは陸上にあり、自らは橋台の役を果す」

D. F. シュテュッシは詳しくしらべて、実現可能な計画としている。ミラノ国立科学技術博物館にはこの橋の模型がある（本誌創刊号参照）。

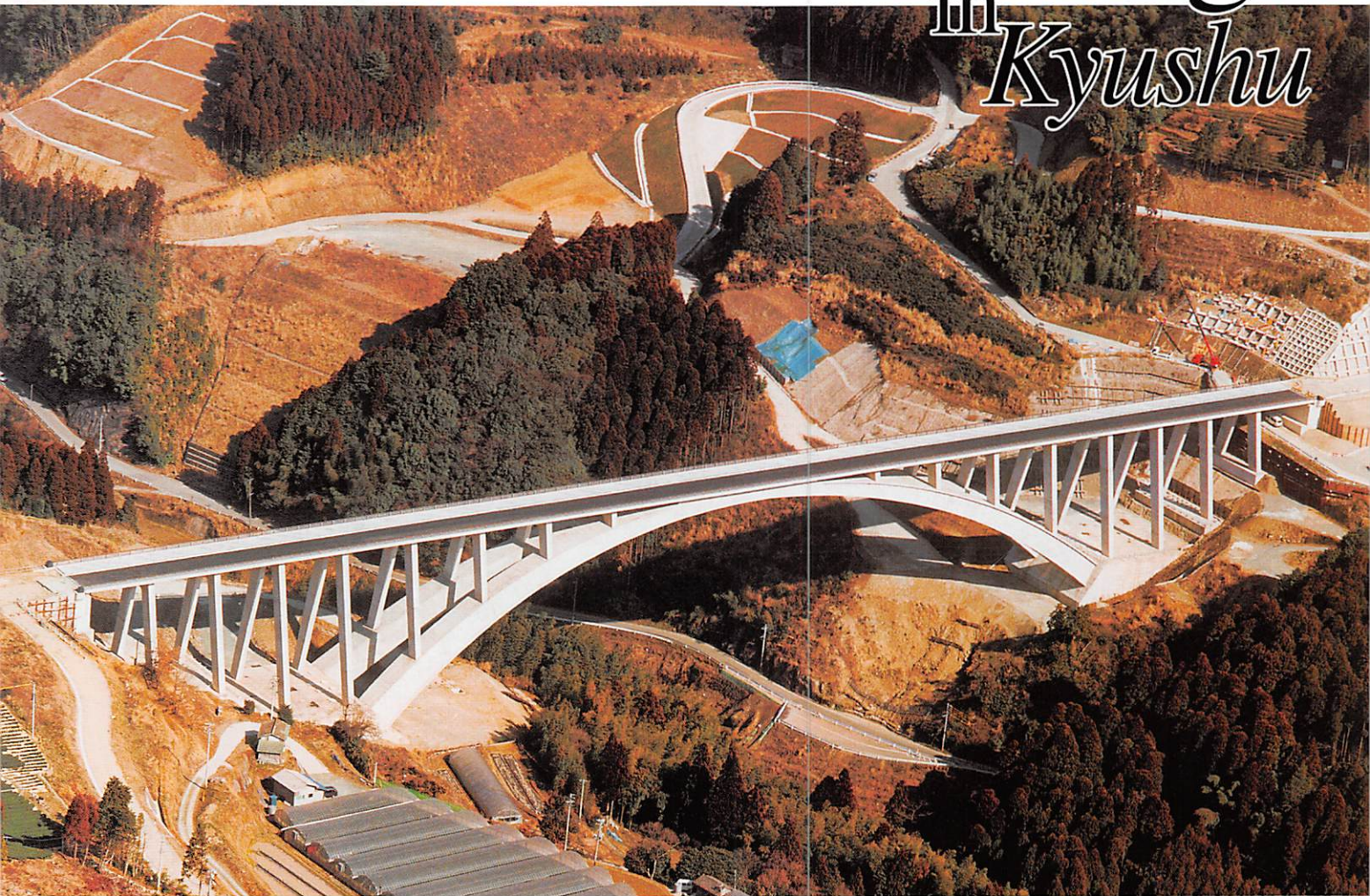
レオナルドは多くの分野にわたって重大な発明や発見をしたが、それらは彼のノートに埋もれたままだった。彼は、あまりにも時代に先行しすぎていたのである。

(東亜大学教授 山本 宏)

新九州の名橋 ⑥



The
Bridge
in
Kyushu



臈大橋

臈大橋

The
Bridge
in
Kyushu

新九州の名橋 ⑥

今別府大橋



今別府
大橋

目 次

巻 頭 言	崎 元 達 郎	1
展 望 九州新幹線の現況について 日本鉄道建設公団九州新幹線建設局上席専門役	原 川 実	2
トピックス 九州大学新キャンパスの建設 新キャンパス計画推進室	坂 井 猛	8
海外レポート モントリオール滞在記 佐賀大学理工学部	帯 屋 洋 之	10
随 想 海外の橋を訪ねて （株）横河ブリッジ	峰 嘉 彦	13
工事紹介・報告		15
(1) 高千穂バイパス（新高千穂大橋）.....	国土交通省地方整備局延岡工事事務所	
(2) 鋼開断面箱桁橋	福岡北九州高速道路公社福岡事務所	
第19回総会・特別講演会	事 務 局	17
講演会報告	事業部講演会小委員会	18
平成13年度技術発表会		
講習会報告	事業部講習会小委員会	19
橋梁の設計・施工と耐震性の合理化に関する講習会		
地中構造物の耐震設計の最前線		
分科会報告	事業部研究連絡小委員会	22
(1) 九州における木橋の現状と技術に関する研究分科会		
(2) 建設材料における破壊力学とAEおよび健全性評価手法に関する研究分科会		
(3) 土木遺産の補修・補強や維持管理技術に関する研究分科会		
(4) 長崎県における災害史に関する研究分科会		
(5) 鋼コンクリート合成桁の活用に関する研究分科会		
(6) 九州地区における特殊トンネルの合理的建設研究分科会		
(7) 磁性材料を用いた構造減衰に関する研究		
(8) 既設コンクリート道路橋の調査・診断法に関する研究分科会		
(9) 構造物の性能評価手法検討分科会		
(10) 建設マネジメント技術に関する研究分科会		
会務報告		35
会則・分科会規定		37
会員名簿		39
土木構造材料論文集目次		65
論文投稿要領		67
入会申込書		69

◎土木構造・材料論文集の原稿募集◎

「土木構造・材料論文集」を土木学会西部支部と共同で毎年12月に発行しております。内容は理論的なものよりも、むしろ実用的価値の高いものが歓迎されます。詳しくは巻末の投稿要領をご参照の上、ふるって投稿下さい。

◎「新技術・新製品コーナー」原稿募集◎

第2種会員に対するサービスとして、会報第3号から新技術・新製品等を紹介するコーナーを設けております。

本コーナーに掲載のものは、下記の土木学会西部支部との共催で行われる「技術発表会」（毎年2月を予定）にてご講演いただくことになっています。次号の原稿募集を行っておりますので、巻末の投稿要領をご参照の上ご応募下さい。

◎「技術発表会」講演募集◎

第2種会員所属機関で研究開発された新しい技術（設計手法・計画手法・新材料・新製品・新工法など）を、広く会員の皆様に公表していただき、情報の交換を行うことを目的として、土木学会西部支部と共催する講演会です。

昨年度は2月14日に開催し、約80名の参加をいただき、盛会裡に終えることができました。つきましては、次回の講演会も本年度の同時期に実施する予定です。

講演内容は、多少「新しい技術」のPRになっても結構ですので、第2種会員の皆様からの多数の講演申込をお願いいたします。

問合せ、申込先は下記の通りです。

〒807-8585 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8 九州共立大学工学部地域環境システム工学科

教授 成 富 勝

TEL 093-693-3257 FAX 093-603-8186

E-mail: naritomi@kyukyo-u.ac.jp

申込は平成14年9月末日迄にお願いします。

◎「研究分科会」委員募集◎

平成14年度の研究分科会の申請テーマを会報の35ページに示しております。委員として参加を希望される方、また分科会の登録申請に関する問合せをされる方は下記へFAXまたはE-mailにてご連絡下さい。

〒860-0862 熊本市黒髪2-39-1 熊本大学工学部環境システム工学科 教授 山 尾 敏 孝

FAX 096-342-3507 E-mail: tyamao@gpo.kumamoto-u.ac.jp

KABSEの情報発信源

インターネットホームページのご案内

会員の皆様を結ぶ窓口として開設されたKABSEホームページも、本年7月で2周年を向かえることが出来ました。また多数のアクセスを頂き、誠にありがとうございました。本年度も、講習会・研究分科会・出版物のご案内等の最新情報を、いち早く皆様のもとへお届けする予定です。また会員の皆様からの情報・ご意見も、多数お待ちしております。

アドレス <http://www.onyx.dti.ne.jp/~kabse/>

E-mail : kabse@onyx.dti.ne.jp

KABSE九州橋梁・構造工学研究会

九州橋梁・構造工学研究会

News 新着情報

- 平成18年度(第19回)総会・特別講演開催のご案内(2001.5.31)
- KABSE後援講習会
【コンピュータ上棟法方表(維持管理編)に関する講習会】のご案内
終了(2000.4.19)
- 土木橋梁・材料論文第17号掲載要旨のご案内 終了
(2000.4.18)
- 平成12年度見学会のご案内 終了(2001.1.17)
- 平成13年度研究分科会フェーズ最終のご案内 終了(2001.1.5)
- 対外交流・関連リンクのページに問い合わせ先、閲覧可能
資料一覧を追加しました(2000.11.14)

更新情報
KABSEの組織
KABSEの概要
研究分科会
刊行物のご案内
入会のご案内
対外交流・関連リンク
各種行事のご案内
事務局へのお問い合わせ

ご意見・ご感想はコチラにお願いたします
© KABSE 九州橋梁・構造工学研究会 kabse@onyx.dti.ne.jp

巻・頭・言

KABSE 会長 崎元 達郎



本研究会KABSEもやがて20年の歴史を刻もうとしている。10周年記念の時に運営委員長職にあり、20周年記念の来年度に向けて新会長にバトンを渡すことになった小生としても感慨深い。会の設立を計画し実施に移された太田教授をはじめとする九州大学の皆様、設立以来事務局を支えて来られた藤井氏をはじめとする福岡市の皆様に感謝と敬意を表したい。九州の各大学、官庁、企業を、限られた分野にしろひとつに結び、連携・交流を深めさせたこの会の業績は偉大である。

これからのKABSEの役割について考えの一端を述べたいと思うが、“localに輝く”というテーマはいかがであろうか？研究分科会等のテーマをlocalなものに固執することを特徴として出し、より明確な存在価値を主張できないかということである。

地理的条件として、海に囲まれている、火山地帯である、アジアに近いなどが大きな要素である。

先日、荒牧教授（佐賀大学）から、低平地に建設する構造物の耐震設計についてall Japanの規程をクリアするのが難しく苦勞しているという話をお聞きした。低平地の構造物を含めて、震源・規模を特定し、九州各地の地域別の設計地震動、設計地震力を規程し、全国版ではない独自の設計を成し得る力と状況を作り出す時代ではないだろうか。

有明海・八代海に代表される閉鎖性海域の環境についても解決すべき問題が多いが、波の静かな有明・八代の海には、浮橋が適している。3県架橋も時節柄費用対効果の点で、声が小さくなっているが、浮橋であれば、可能性も増すのではないだろうか？

火山地帯であることについて言えば、これまでも雲仙普賢岳の災害に関する高橋教授（長崎大学）らの貴重な研究やシラス・火山灰土に関する研究は多い。

海が近いことから、塩害、防錆、本格的耐候性鋼材などに関する研究も重要である。さらに、石橋の国であること、木材を産することから21世紀の石橋や木橋の研究もlocalityを十分発揮できるだろう。

研究以外のKABSEの取組みとしては、近隣の中国・韓国との交流や継続教育機関としての役割が期待される。土木関連の各学会、技術士会等の資格更新には継続教育を受けることが義務づけられつつある。KABSEの講習会事業には、テーマを選定した継続教育の実施と言う観点を加えて行くことが期待される。

近い将来、KABSEがNPO法人化に成功し、また、大学が独立行政法人化されると新たな協力関係が生まれ、官側からの開発研究を協力して受注するといことも可能にならないか等と勝手に夢を馳せている今日この頃である。

展 望

九州新幹線の現況について

日本鉄道建設公団 九州新幹線建設局 上席専門役 原川 実

1. はじめに

21世紀の国土の骨格を形成する整備新幹線は、国土の均衡ある発展と地域の活性化に貢献する重要な事業であり、現在、九州新幹線、北陸新幹線、東北新幹線の3線7区間で、日本鉄道建設公団が工事を進めている。

このうち、東北新幹線の盛岡・八戸間は平成14年12月、九州新幹線の新八代（仮称）・西鹿児島間は平成16年春の開業を、九州新幹線の博多・新八代（仮称）間、北陸新幹線の長野・富山間、東北新幹線の八戸・新青森（仮称）間

は平成24年の完成を目指しており、平成25年には九州の鹿児島より本州の北端まで新幹線で縦断される計画である。

九州新幹線建設局が担当する九州新幹線には2ルートがあり、現在建設中の博多と西鹿児島を結ぶ鹿児島ルートと調査中の博多と長崎を結ぶ長崎ルートがある。

以下、現在建設中の鹿児島ルートを中心に報告する。

2. 鹿児島ルートの概要

① 概要

鹿児島ルートは山陽新幹線の終点である博多駅

を起点とし、途中新鳥栖駅（仮称）、久留米駅、新大牟田駅（仮称）、新玉名駅（仮称）、熊本駅、新八代駅（仮称）、新水俣駅（仮称）、出水駅、川内駅を經由して西鹿児島駅に至る総延長257kmの路線であり、この沿線の人口の合計は約700万人にも達するため、本ルートは大きな輸送需要と良好な収支採算が見込まれ、投資効果も極めて高く、地域社会の経済の発展に大きく貢献することが期待されている。

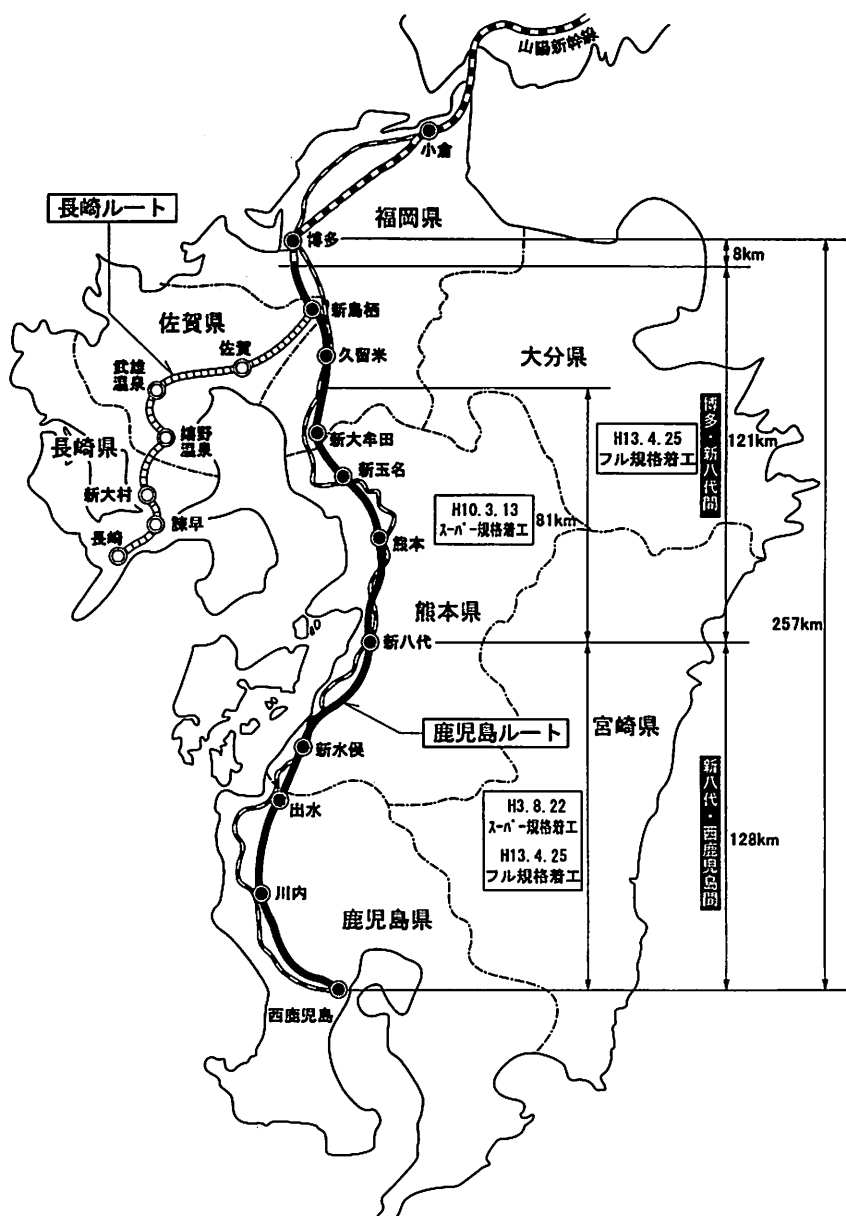
また、現在、博多と西鹿児島間は約3時間40分を要しているが、全線がフル規格に整備されると約1時間20分で結ばれるため、行動圏が各段に広がり、九州中・南部と関西圏との間に新たな輸送需要が生まれ、九州島のみならず、西日本地区の交通の大動脈となることが予想されている。

② 経緯

九州島内においては昭和50年3月博多駅までの山陽新幹線開業以来、新幹線建設の植音は途絶えていたが、平成3年8月運輸大臣より鹿児島ルートの八代・西鹿児島間の暫定整備計画（新幹線鉄道規格新線：スーパー規格）の決定および建設の指示を受け、同年9月鹿児島市において起工式を行い本格的に建設に着手した。

平成10年2月には同じく船小屋・新八代（仮称）間について暫定整備計画の決定と建設の指示を受け、同月筑後市で起工式を実

九州新幹線概要図



図一 九州新幹線概要図

施し建設に着手した。

また、平成10年10月には新八代駅(仮称)を八代・西鹿兒島間に追加することとなり、工事区間は新八代(仮称)・西鹿兒島間となった。

平成12年末の政府・与党整備新幹線検討委員会における博多・新八代(仮称)間及び新八代(仮称)・西鹿兒島間のフル規格化決定に基づき、平成13年4月に国土交通大臣より博多・新八代(仮称)間の今後概ね12年後のフル規格化での完成、また新八代(仮称)・西鹿兒島間のフル規格化及び平成15年末の完成を内容とした2区間の工事の実施計画が認可となり、直ちに建設に着手した。

3. 新八代(仮称)・西鹿兒島間の現況

① 概要

先行着手した新八代(仮称)・西鹿兒島間には、新八代駅(仮称)、新水俣駅(仮称)、出水駅、川内駅、西鹿兒島駅の5駅が設置されるが、川内駅のみ橋上駅舎で他の駅は高架下駅舎である。出水駅、川内駅、西鹿兒島駅の3駅は在来線に併設されるが、新八代駅(仮称)はJR鹿兒島本線千丁駅一八代駅間、新水俣駅(仮称)は同線津奈木駅一水俣駅間に新設される。当面、博多方面からの接続駅となる新八代駅(仮称)では新幹線と在来線の特急を同一ホームで対面乗り換えできるように、在来線特急を新幹線の高架ホームに乗り入れることとしている。

現在、博多・西鹿兒島間は約3時間40分を要しているが、

新八代(仮称)・西鹿兒島間の部分開業により、新八代(仮称)・西鹿兒島間が約35分に短縮されるため、約2時間10分の所要時間となる。

新八代(仮称)・西鹿兒島間の総工事費は6,400億円であり、総延長約128kmの路線であるが、そのうちの約7割にあたる約88km(69%)がトンネル区間で、残りは高架橋約16km(12%)、切取・盛土約15km(12%)、橋梁9km(7%)である。主要トンネルとしては区間最長の第3紫尾山トンネル(出水駅一川内駅間、9,987m)、田上トンネル(新八代駅(仮称)一新水俣駅(仮称)間、6,988m)、吉尾トンネル(同、6,040m)などがあり、主要橋梁としては新幹線初の4径間連続PC斜板橋である川内川橋梁(338m)、球磨川橋梁(307m)、米ノ津川橋梁(260m)などがある。また、川内駅の南側には、新幹線車両の検査・修繕、車体洗浄、車内清掃などを行う川内車両基地(敷地面積約59,000㎡)が設けられる。

地元の新しい顔として生まれ変わる各駅舎については、九州の自然と地域の特性を取り入れたデザインとし、いずれの駅舎もユニバーサルデザインに配慮した「人にやさしい駅」を目指し、エスカレータ、エレベータ及びホーム転落防止柵等を設置することとしている。

以下に各駅の概要及びデザインコンセプトを紹介する。

新八代駅(仮称)の駅舎は床面積1,800㎡であり、島・相対式の2面2線ホームを持っている。ダイナミックなアーチで球磨川のおおらかな流れを表現し、また、当面乗り換

新八代(仮称)・西鹿兒島間線路平面図

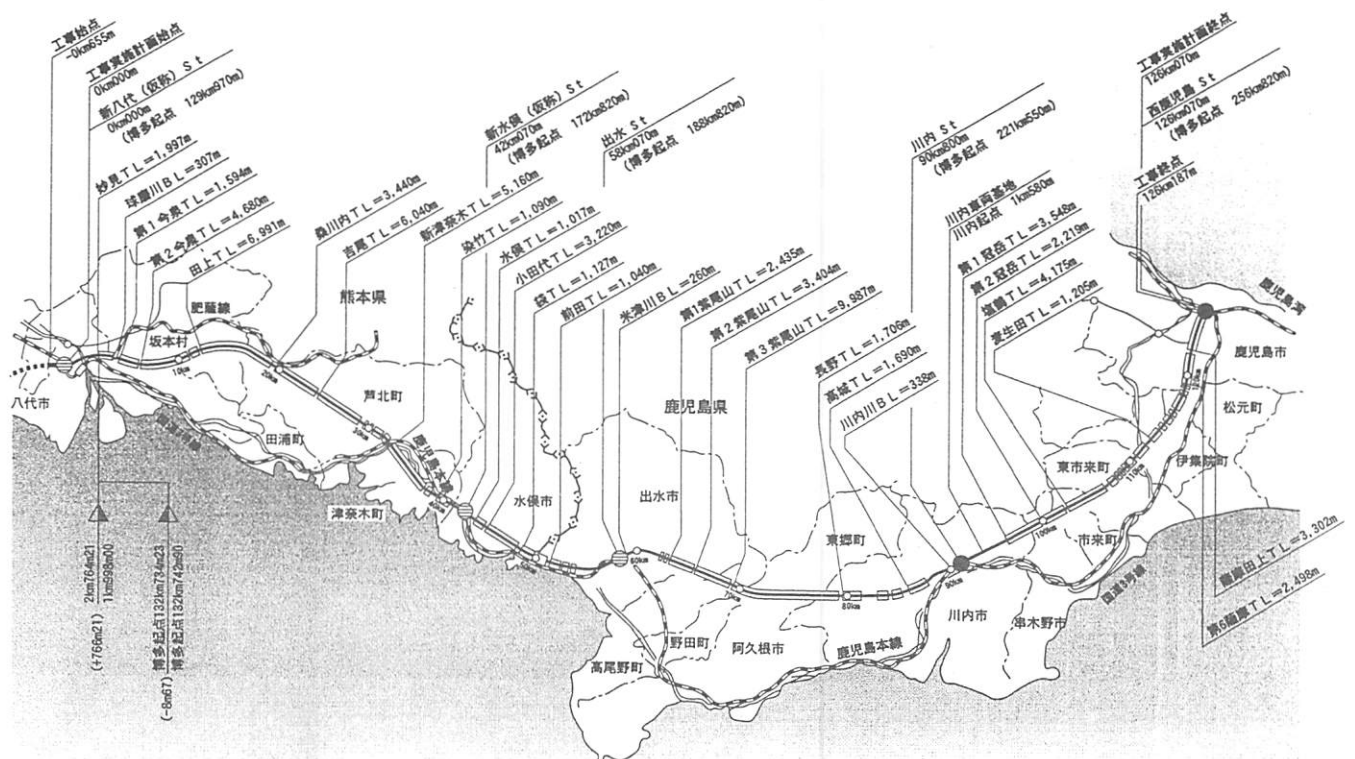


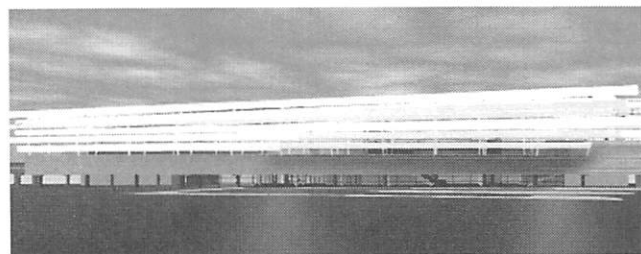
図-2 新八代(仮称)・西鹿兒島間線路平面図

え客が多いホーム階はガラスカーテンウォールとアーチ状の豊かな空間により、明るさと快適さを確保している。



図一三 新八代駅（仮称）完成イメージ図

新水俣駅（仮称）の駅舎は床面積1,600㎡であり、島・相対式の2面3線ホームを持っている。不知火海のさざ波が陽を受けてきらめくような光と風を感じる駅としている。また、ホーム階は、南に向かって徐々に広がる明るく伸びやかな空間構成としている。



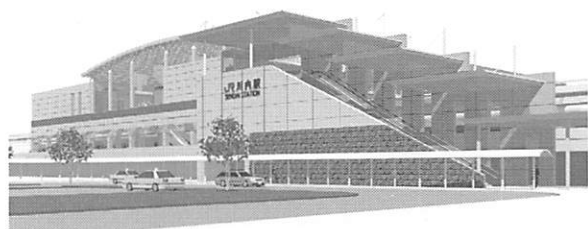
図一四 新水俣駅（仮称）完成イメージ図

出水駅の駅舎は床面積1,600㎡であり、相対式2面2線のホームを持っている。出水市がナベツルの飛来地であることからツルが飛翔する姿をモチーフにした軽快でリズムミカルな屋根と、空を写しこむ大きなガラス面により自然との調和を図っている。



図一五 出水駅完成イメージ図

川内駅の駅舎は床面積1,400㎡であり、相対式2面2線のホームを持っている。東シナ海の遙か遠くまで広がる水平線を表す大屋根と、川内川の流れ落ちる滝をリズムミカルに連続する階段屋根で表現している。

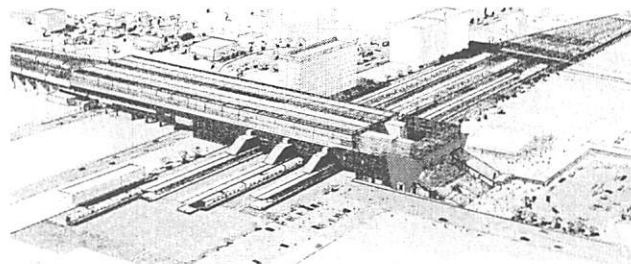


図一六 川内駅完成イメージ図

西鹿児島駅の駅舎は床面積4,600㎡であり、島式2面4線のホームを持っている。駅舎自体は新幹線乗り入れを前提に建設された高架橋の下ですでに平成8年6月から在来線駅として共用を開始している。

高架橋の端部となる東口にスカリナータ（大階段）を置き、人が座り、語り合い、花を飾って、街の舞台となるような賑わいのある空間を演出している。

なお、川内駅と西鹿児島駅はJR九州に委託しており、西鹿児島駅の上屋のデザインは現在最終的な検討の段階にある。



図一七 西鹿児島駅完成イメージ図

② 工事の現況

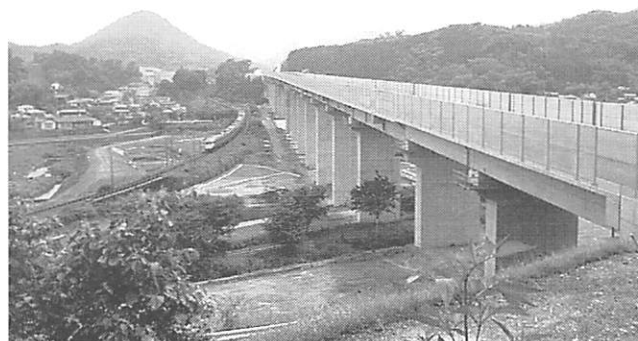
現在、用地取得については必要用地取得面積の全てを取得しており、土木工事についても全てのトンネルの掘削が完了し、球磨川橋梁や川内川橋梁などの大規模な橋梁や高架橋も順次完成し、土木工事全体の完成率は95%となっており、鹿児島本線の車窓から、あるいは国道3号線から、その沿線各所で新幹線の構造物を見ることができる。

開業設備のうち軌道工事については、平成13年12月よりレール搬入、レール溶接及びスラブ製作運搬を開始し、土木工事の完成したトンネル区間から順次工事に着手しており、既に軌道は全線の24%にあたる延べ約31kmが完成し、平成15年3月の完成を目指している。

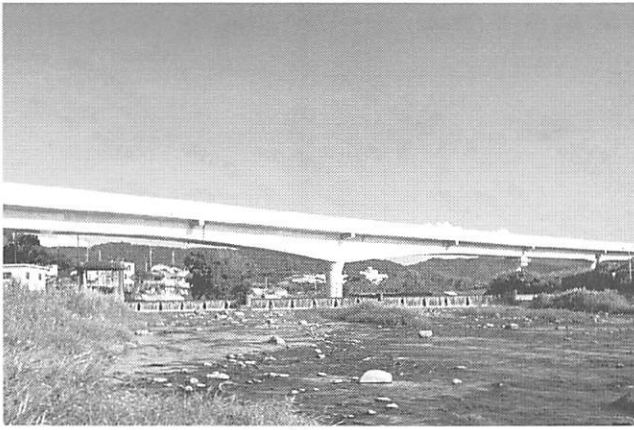
電気工事でも平成13年12月より開始され、ほぼ全線において電車線支持物や電車線、変電設備、信号・通信設備等の工事を実施しており、平成15年6月末の完成を目指している。

また、建築・機械工事でも平成14年度より出水駅、川内車両基地をはじめとして、順次各駅の本屋の工事を開始し、平成15年6月末の完成に向けて施工中である。

当区間については、平成15年末までに所要の監査・検査を終え、引続きJR九州による訓練運転を開始する予定である。



写真一 水俣川橋梁



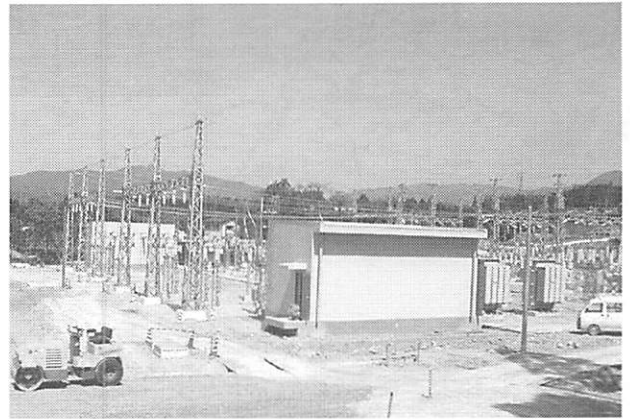
写真一 2 米ノ津川橋梁



写真一 6 枠形軌道スラブ敷設



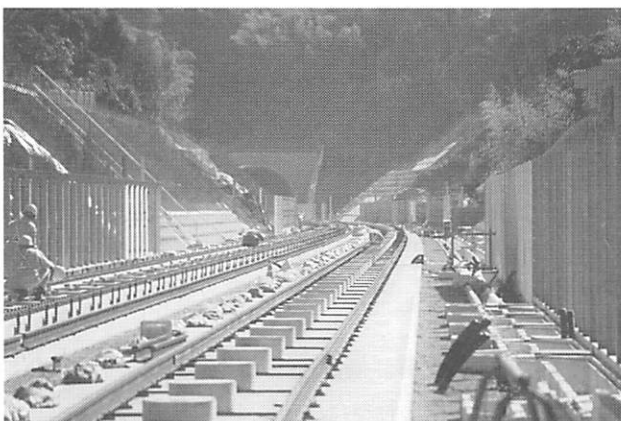
写真一 3 第2紫尾山T～第3紫尾山T間



写真一 7 新出水変電所



写真一 4 川内川橋梁



写真一 5 仮軌道敷設

4. 博多・新八代（仮称）間の現況

① 概要

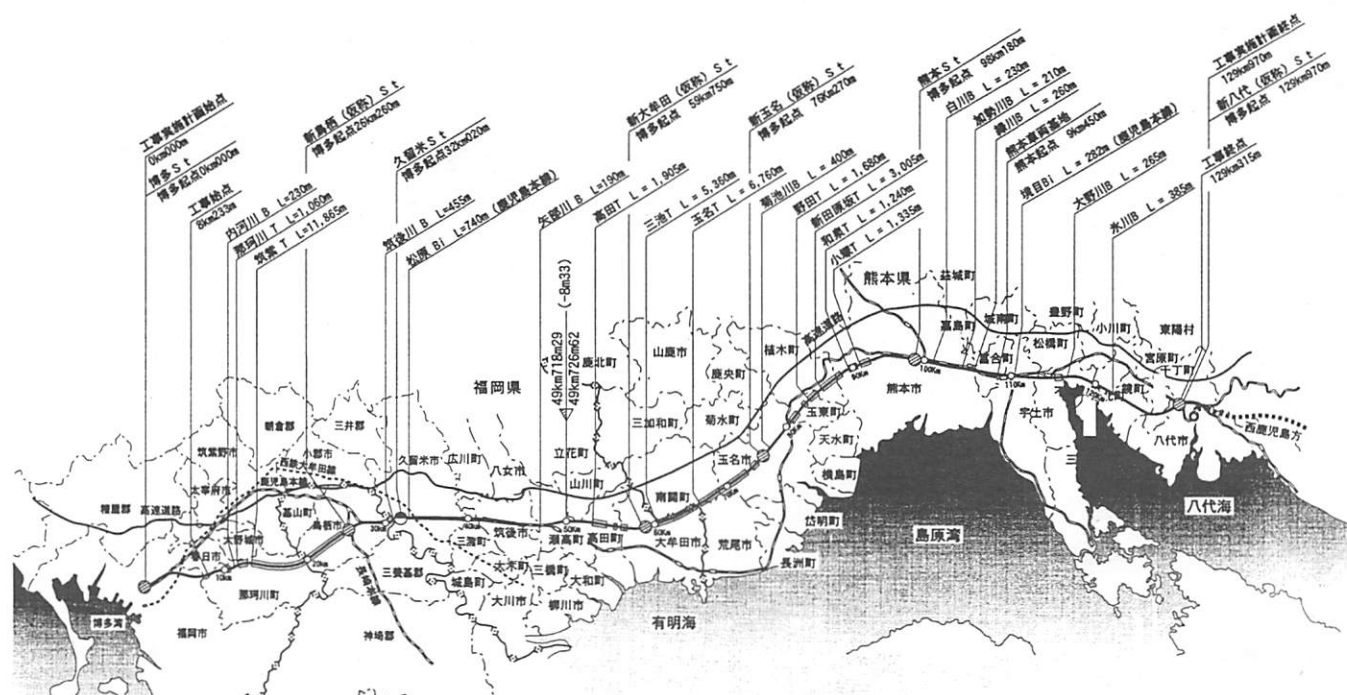
新規着工区間である博多・新八代（仮称）間には、新鳥栖駅（仮称）、久留米駅、新大牟田駅（仮称）、新玉名駅（仮称）、熊本駅が設置される。久留米駅、熊本駅の2駅は在来線に併設されるが、新鳥栖駅（仮称）はJR長崎本線鳥栖駅—肥前麓駅間に、新大牟田駅（仮称）はJR鹿児島本線大牟田駅の東方、新玉名駅（仮称）もJR鹿児島本線玉名駅の東方の離れた地点に新設される。

博多・新八代（仮称）間の総工事費は約7,900億円

（その2を含む）であり、博多起点8.2km付近を起点とする総工事延長約121kmの路線であるが、そのうち5割にあたる約61km（50%）が高架橋であり、残りはトンネル37km（30%）、橋梁11km（10%）、切取・盛土13km（10%）である。主要トンネルとしては、最長の筑紫トンネル（博多駅—新鳥栖駅（仮称）間、11,865m）、玉名トンネル（新大牟田駅（仮称）—新玉名駅（仮称）間6,760m）、三池トンネル（同5,415m）などがあり、主要橋梁としては、筑後川橋梁（455m）、松原線路橋（740m）、菊池川橋梁（400m）、氷川橋梁（390m）などがある。

工事事実施計画は、停車場設備、軌道、電気関係等の開業設備を除く、用地及び路盤構造物について認可を受けている。

博多・新八代（仮称）間線路平面図



図一八 博多・新八代（仮称）間線路平面図

② 工事の現況

現在、用地取得については必要用地取得面積の44%を取得しており、確保済み延長は約53kmとなっている。土木工事については、平成10年3月に認可を受けた船小屋・新八代（仮称）間で主に工事を進めているが、平成13年4月認可を受けた博多・船小屋間でも最長の筑紫トンネルについて平成13年度中に発注を行い、現在掘削の準備中である。

トンネル工事としては、福岡・熊本県境に位置する三池トンネルや玉名トンネルのほか高田トンネル、小塚トンネル等の掘削に着手している。

明かり工事としては菊池川橋梁、白川橋梁のほか島高架橋など8件の高架橋工事を発注しており、菊池川橋梁、白川橋梁については基礎工事を施工中である。

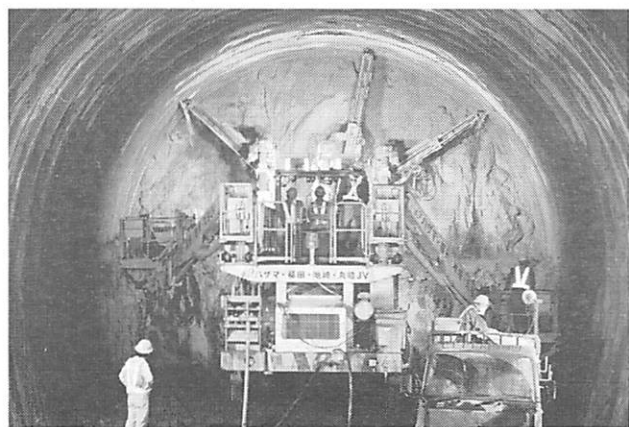
また、当区間には、在来線の熊本駅連続立体交差化事業と同時に施工となる、熊本駅付近の高架橋区間及び熊本運転所の移設計画等があり、これらについても現在関係機関と鋭意協議を行っている。



写真一九 島高架橋

5. 長崎ルート の現況

長崎ルートについては、昭和62年9月、JR九州より事業を引き継ぎ、建設推進準備事業による調査を進めた。平成6年から武雄温泉駅・新大村駅（仮称）間の短絡ルートの調査を実施し、平成10年2月環境影響評価のための武雄温泉・新大村間の駅・ルートの公表を行い、新たに制定された環境影響評価法（平成9年度公布）により、同年10月環境アセスメントの作業に着手した。また、長崎駅周辺の都市計画事業との整合を図るため、平成10・11年度に九州新幹線長崎駅構想調査を実施し、駅の位置及び規模の概要を決定した。その後平成12年12月政府・与党整備新幹線検討委員会の検討結果において、武雄温泉・長崎間について「環境影響評価終了後工事実施計画の認可申請を行う」ことが決定された。これに基づき、平成14年1月8日、武雄温泉・長崎間の環境影響評価書送付と合わせて、同区間の工事実施計画認可申請を行った。



写真一八 三池トンネル

6. おわりに

現在、私ども九州新幹線建設局では、九州新幹線鹿児島ルート¹の先行着工区間の新八代（仮称）・西鹿児島間の平成16年春の開業に向け、土木工事の最後の仕上げと電気、軌道、建築、機械関係の開業設備工事を完成すべく鋭意取り組んでいる。

また、JR鹿児島本線との近接施工の多い博多・新八代

（仮称）間の明かり工事等においても第三者災害等の事故防止に万全な体制で工事を実施している。

安全性に優れ、環境にやさしく、21世紀の九州の未来を拓く九州新幹線が一日も早く全線の開業を迎えますよう、今後とも皆様方の従前にも増したご支援・ご協力をお願い申し上げます。

九州大学新キャンパスの建設

新キャンパス計画推進室 坂井 猛

九州大学は、半世紀近く稼働してきたわが国の高等教育システムの硬直化がもたらした諸課題を正面からとらえ、新しいシステムづくりを模索しながら、時代の潮流の先陣をきるべく、大学院教育の飛躍的の充実をめざす大学改革を進めてきました。九州大学で蓄積された科学技術や学術文化、多様な資料や施設などの開放を通じて、地域社会との交流を深めることも強く求められており、大学改革によって国際的・先端的学術拠点としての大学の構築を進めるとともに、それに相応しい研究・教育施設の整備、新しいスタイルのキャンパス生活を実現するため、この度、福岡市西区元岡・桑原地区、志摩町及び前原市に新天地を求め、新キャンパスを建設するものです。

新キャンパス用地は、百万都市福岡の都市近郊（車で約25分、直線距離15km）に位置し、悠久の歴史と自然に恵まれた環境にあります。九州大学は、大学改革による新しい組織づくりと新キャンパス建設をほぼ同時期に推進できる千載一隅の機会を得て、恵まれた環境のもとに、21世紀の新しい大学の歴史と伝統を築き、世界的レベルの知の活動を展開していくことが大いに期待されています。

275haの広大な丘陵地を開発するにあたって、学内外の研究者、専門家の参加型ワーキンググループによって、キャンパス用地の分析と計画の検討を行い、生態系や埋蔵文化財など、でてきた課題を1つ1つ詰め、必要に応じて計画にフィードバックしてきました。特に、学内外の英知を結集して大規模事業における環境との共生を積極的に進めた点、および、大規模開発の範となる画期的な事業として注目しただけでなく、今後の土木事業の行うべき先進的

な事例を示すものとして高く評価され、九州大学と福岡市土地開発公社が進めた本プロジェクトに対して、2002年5月に土木学会より「環境賞」が贈られています。



図2 新キャンパス・マスタープラン空間モデル



図3 キャンパスモール



図1 九州大学新キャンパス位置図



図4 工学系地区西南方向より



図5 工学系地区南面

□ 学府・研究院制度の空間的表現

移転の第1陣となる工学系の地区設計において、全国に先駆けて九州大学で実現した学府・研究院制度の理念を空間的に表現するにあたり、まず、学部と大学院の空間を断面構成で上下にグループ化しています。講義スペース、情報学習室等の学部学生が利用するスペースを低層部に配置し、キャンパスモールの活気を演出するとともに、大学院（学府・研究院）の静粛な研究環境を確保します。さらに、中高層部の大学院の空間を平面構成で南北にグループ化し、南側は「研究院」の教室室を主体とする不易の空間として、北側は「学府」の大学院生室及び実験室等を主体とする変化する空間として位置付け、専門領域の壁を取り払いフレキシブルな利用が可能な空間を連続的に構成します。

□ 糸島地域の環境と共生する装置として

誰もが安心・安全で快適なキャンパス環境を享受するため、ユニバーサル・デザインに配慮しながら、キャンパスモールを中心とした交流と賑わいの空間づくりを行います。開発による環境変化の広がりを抑え、省エネルギー建築、自然エネルギー・自然環境利用技術を用いたパッシブシステムにより、従来のキャンパスに比較して、30%のLCCO₂及び空調負荷低減を目標としています。また、キャンパス周辺からの眺望に配慮し、施設群と空との境界線であるスカイラインを、周辺の山並みに調和させるとともに、施設利用者の眺望やキャンパスモールからの景観に配慮した施設配

置を行なっています。年月を経ても美しさを保ち味わいを増す自然素材の利用を基本としながら、ランドスケープとの調和を図り、経年的な変化の中で風格を生み出す空間の質を確保します。オープンスペースは、その場所に応じて移動、溜り、憩いなどさまざまな機能が求められますが、建築低層部の計画と整合を図りながら、それぞれの機能に応じて施設や樹木、ベンチなどによって固有な空間を構成します。交通面では、未来型交通のための用地を確保するとともに、駐車場、駐輪場の整備を行い、学内シャトルバス等で連絡します。さらに、オープンスペースや施設内の各所には、研究教育上価値の高い資料の展示やアートワーク設置のためのスペースや壁面、水面等を設けます。

□ 九州大学学術研究都市推進機構準備会議の設立

(社)九州・山口経済連合会、福岡県、佐賀県、福岡市、前原市、志摩町、二丈町、浜玉町、九州大学等によって結成された九州大学学術研究都市推進協議会(大野茂会長)が「九州大学学術研究都市構想」を2001年6月にまとめ、同構想に関連するシンポジウムを東京や前原で開催しました。その後、九州大学の新キャンパスを中心とした新しい学術研究都市の形成に寄与するため、学術研究都市構想の推進及びその推進母体としての九州大学学術研究都市整備推進機構(仮称)の設立準備を行うことを目的として、2002年5月に九州大学学術研究都市推進機構準備会議を設立しました。準備会議は、21世紀型の学術研究都市づくりにむけて、スマートダウンタウン福岡の形成、企業・研究所の集積、知の交流・連結・発信拠点HSTや分散型地域核ほたるの整備、住宅や交通に至る精力的な検討を進めています。また、JR筑肥線の複線化はすでに完了し新駅を開業予定であり、新キャンパスまでのバス交通等も整備されます。

以上のように、2005年(平成17年)後期の工学系第1陣(学生、教職員約2,000人)による移転開始に向けて、新キャンパス建設が着々と進行しており、地域をあげて21世紀を生き続けるキャンパスの創造に向けた努力が続けられています。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

はじめに

情報化社会といわれて久しいこのごろですが、海外に暮らしてみても改めて「インターネット」の便利さを痛感しています。日本のニュースは、ほぼリアルタイムで入ってきますし、パソコンにマイクとカメラをつなげればテレビ電話の代わりにもなってしまいます（なんとタダです）。便利になった一方で、インターネットは同時に忙しさも日本から運んできます。科研の申請書、学生の相談メール、教室会議の議事録、論文の校正……。「これじゃ、日本にいるのと変わらない！」と思うこともしばしばです。一昔前ならば、一年も外国にいれば良くも悪くも「浦島太郎」だったのだろうか……。などと思っていたところに、九州大学の園田先生より本稿の執筆依頼のメールが届きました。恐るべしインターネット！まだ、帰国もしていないのに！

このようなわけで、園田先生の「まあ、気楽に書いてください」という言葉にも励まされ、拙筆をとることになった次第です。しばらくの間、お付き合いいただければ幸いです。

留 学

私は現在、文部科学省在外研究員（乙種）として、カナダ・モントリオールのコンコルディア大学に滞在しています。たまたま、コンコルディア大学のプールシャスフ先生が私の勤める佐賀大学の三浦哲彦先生と親交が深く、ほとんど毎年のように来日されていました。プールシャスフ先生は地盤工学における数値解析の世界的権威で、その道の研究者ならば“知る人ぞ知る……”と言ったところなのでしょうが、幾何学的非線形をやっている畑違いの私になぜ？モントリオールだったのか、といえば、プールシャスフ先生のユーモラスな人柄に惹かれた、ということのほか、ただ々々「モントリオールジャズフェスティバルが見たい！」という不純な動機があったのでした。学生時代からジャズ研で遊びほうけて3年も留年した私にはこの衝動は抑えがたく、「北米の大学における土木教育をしっかりと観察してくれば、それはそれでよいのだ」という勝手な言い訳を考え出す始末。また、小学校教諭をしている妻の一年間の休職が認めてもらえず、何度も教育委員会に掛け合っ（結局、末娘が生まれることになり産休の裏技！）、出発前から相当に疲れてしまったのですが、とにもかくにも、こんな私を快く受け入れていただいたプールシャスフ先生と、送り出してくれた佐賀大学の都市工学科のみなさんには感謝の言葉もありません。

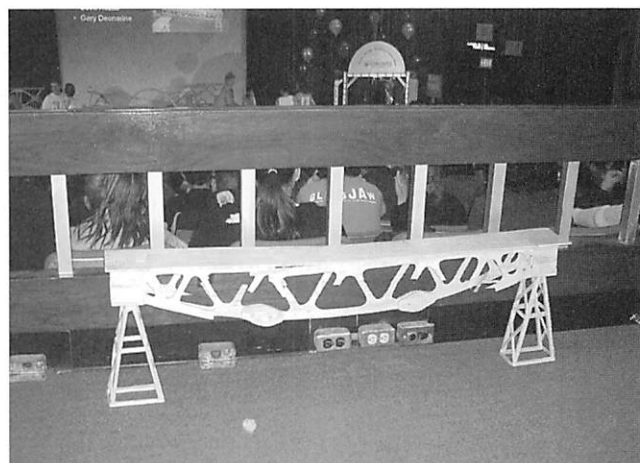
モントリオール

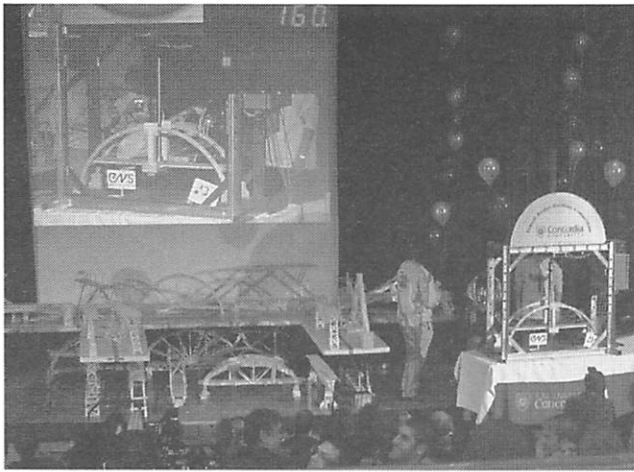
モントリオールはカナダの東部、ケベック州のセントローレンス川の中洲にある人口300万人の都市です。「北米のパリ」と称されるように、フランス語圏ケベック州の最大の都市であるため、人々の会話や看板、標識など、町にはフランス語があふれています。それ以上に驚いたのは、これは北米の大都会はどこでもそうなのかもしれませんが、ここはまさにコスモポリタンシティで、地下鉄に乗ると、一両の中で世界の全人種に会うことができます。また、聞こえてくる言葉も、フランス語だけではなく、英語、中国語、アラビア語……と種々雑多で、どこの国にいるのかわからなくなってしまう程です。

街の風景は、これも北米の大都会にはありがちなのですが、高層ビル群の間に古い教会が挟まれて建っていたりして、ヨーロッパの古い文化とアメリカナイズされた新しいものが混在する不思議な空間を形成しています。ダウンタウンにあるChrist Church Cathedral教会は、1760年代に建てられた古い教会なのですが、これを地盤沈下による崩壊から守るため、ジャッキアップしている間にできた空間が、北米最大規模といわれる地下街（アンダーグラウンドシティ）の始まりとなった、という話は有名です。

コンコルディア大学

大学のことを少し書きます。コンコルディア大学はモントリオールのダウンタウンにある州立大学です（カナダの大学はすべて州立です）。キャンパスは、地下鉄のGuy-Concordiaという駅の周辺に散在していて、「校門があってそこをくぐると大学の敷地」という普通の大学キャンパスの雰囲気とはちがいで、この近辺のあちらこちらのビルの何階から何階までは大学がテナントとして入っている、というスタイルです。私とプールシャスフ先生のオフィスは、駅か





ら少し離れたビルの3階で、1階には病院、ドラッグストア、ゲームセンターとマクドナルドがあります。

私が滞在している Department of Building, Civil and Environmental Engineering (B.C.E) は、1997年に改組によって誕生した新しい学科です。新しいといっても、それまであった Department of Civil Engineering と Center for Building Studies が一緒になったという、日本でもよくあるような改組の形態で、中規模大学の旧土木系学科が生き残っていくためにはソフト系の分野を取り込んでいかなければいけないというのは、世界的な潮流のようです。実際、今の B.C.E. のファカルティメンバー二十数名のうち、いわゆる“三力”を専門とされている先生は、プールシャスフ先生を含めてほんの4～5名で、30～40代の若い先生はいません。花形はやはり、環境、マネジメントなどをキーワードとする分野で、同室のエジプト人のポスドクも建設マネジメントです。学生の志向も“力学離れ”が顕著のようで、プールシャスフ先生は「学生は計算を怖がってるよ。オレは全然怖い先生じゃないのになあ。」と嘆いておられました。

かといって、こちらの学生が日本に比べて勤勉さが足りないというわけでもないようです。こちらの学生を見て感じたことは、とにかくよく質問する、ということです。同室のポスドクのタリク（エジプト人）も講義を担当していて、毎週のオフィスアワーには部屋の前に長蛇の列ができます。日本では（少なくとも佐賀大学では）こんな光景は、進級のかかった3年次の後期試験の後ぐらいにしかお目にかかれませんが、また、教官の側もちゃんとそれに付き合っています。教官は在室中は必ずドアを開けっ放しにしています、いつでもウェルカムの姿勢をとっていますし、もちろん質問の内容はピンからキリまであって、タリクが「何でこんなに…」と愚痴ることもしばしばですが、それでも彼は懇切丁寧に説明します。タリクに「一度講義で説明したようなことをなんでまた部屋で2度も説明するの？」と聞いたのですが、「仕事だからね」と笑われてしまいました。

ブリッジコンペティション

前に、こちらでも力学の肩身が狭くなっていることを書

きましたが、それでも少しおもしろい力学系のイベントがあったので、それについて書いて見ます。コンコルディア大学では毎年、学生たちによるブリッジコンペティションが開かれています。それが、学内だけではなく、カナダ国内はおろか北米全土の大学の学生が一堂に会して行われる一大イベントになっていて、今年は初めて海外からフランスチームが参加した（アメリカは海外とはいわない）ということでした。

もとはといえば、1960年代にコンコルディアにおられた Dr. Troitsky という名物教授がコースワークとして始められたのが発端で、1984年に初めて CSCE（カナダ土木学会）主催のオープンコンペティションの形になり、現在に至っているということですが、今でもその起源にちなんで毎年コンコルディアがホストを務めています。最初の7年間はコンコルディアが優勝を独占していましたが、ここ10年余りは、コンコルディアでの学生の志向の変化とコンペティションの規模拡大によって、ずっとよその大学にその座を譲っています。佐賀大学でも2年ほど前から井嶋先生がスパゲッティブリッジのコンテストをフレッシュマンセミナーで始められていますので、20年後にはこんな規模になっていたりして... などと思いながら、息子を連れて会場に向かったのです。

ルールは次のとおりです。材料は popsicle stick（アイスキャンディーの棒）、つまようじ、デンタルフロスと木工用ボンドで、スパンは1～1.2m、重さは1～4kgと決められています。評価は Resistance Factor が60%、Originality が30%、Aesthetics が10%で、Resistance Factor は、崩壊荷重を橋の死荷重の二乗で割った値となっています。Originality と Aesthetics は、学会より選ばれた審査員によって採点されます。また、事前に自分のチームの崩壊荷重を予測して、その予測が実際の±5%以内だと、10%のボーナスがもらえます。

学生たちは、前日までに主構や橋脚などのパーツを作成し、当日の朝、図書館の前のホールに集合します。そこには、チームごとにブースがあって、そこで午前中かけて組み上げを行い、橋を完成させます。Originality と Aesthetics の審査と計量のあと、午後から会場を講堂に移して、いよ



いよクラッシングです。会場には300～400人の人々が集まっていて、“Crusher”と呼ばれる万力（写真）がステージにどっかと鎮座しています。学生MCのDJライクな軽快な司会で、次々にチームが紹介され、緊張のクラッシングが始まります。「ミシッ！」という音とともに、橋が壊れると大歓声があがり、チームのリーダーは、壊れた橋をステージの真ん中で床にたたきつけ、さらには、ハンマーで粉々に叩き割ります。このあたりは、日本人には少しついていけない北米特有の盛り上がり方だなと思いました。また、セッティングの時間の間、実行委員の学生がTシャツやアイスクャンディーをステージから会場に投げたりといった、なにか野球やホッケーのインターバルのショーアップのようなサービスもあって、息子は大喜びでした。しかし一方で、イベント自体が年を追うごとに大きくなり過剰にショーアップされているため、参加者の意識が本来のものと離れ、「ただ参加して盛り上がるために参加している」というような

印象もぬぐえませんでした。もう少し、「オレはこの橋をこんな風に設計したんだ！」というような気概というか主張のようなものを参加者から聞ければもっとよかったのかな、と思いました。まあでも、アイスクャンディーを二本ももらった息子と私は、十分に楽しんで家に帰ったのでした。

終わりに

なにか、とりとめもないことを長々と書いてしまいましたが、まだ滞在中ということでご容赦ください。この10ヶ月、家族ともどもいろんな経験をさせてもらいました。これも周りで支えてくださった皆さんのおかげです。あと2ヶ月。帰国したら地獄の忙しさが待っているはずです。遊び急がねば！

来週は、あの架設時の2度の崩落事故で有名なケベック橋とセントローレンス川下流を回遊する鯨を見に行ってきます。

海外の橋を訪ねて

(株)横河ブリッジ 峰 嘉彦

KABSE 運営委員会の席上で「峰さん、運営委員の最古参の一人なので会報の随想を書きなさい」と委員長の大津先生より言われ、承諾はしたものの、さて何を書こうかと迷ってしまった。書くネタが無くて困ったのではなく、ありすぎて…。大好きなモーツァルトの作品について書けば、そここの字数は捌けるはずと思ったが、会報を読む人にとっては至極迷惑で退屈な話だろうし、ゴルフの話を書いても失敗ばかりのネタだけで笑いものなるだけで、格言(?)の「好きこそ物の上手」は当たらないことが多いようである。

迷ったあげく表記タイトルとしたが、いろいろな人が本を発売したり雑誌に報告しており、2 番煎じのような思い出ちょっと気が引けるところがある。

30 数年前に現在の会社に入社し、直ちに設計部に配属されたが、当初は暇な時間が多く、本を読む機会が多かった。書棚に納められた本でよく目を通していたのが「世界の橋」で、鋼橋を始めとして石橋・コンクリート橋など当時の世界の著名橋を紹介した写真集であり、日本では斜張橋が本格的に採用される以前の話である。この本を見るたびに「いつかは自分の目で見よう」と思っているうちに時間だけが過ぎ去ってしまい、「憧れ」の海外に行く機会ができたのは 1993 年 3 月であった。会社より、京都大学の渡邊先生を団長とする北欧橋梁調査団に参加せよ、とのありがたい業務命令を受けたもので、コペンハーゲンでの IABSE コロキウムに参加して“ついでに”スウェーデン、ノルウェー、ドイツ、オランダの橋梁を視察した。デンマークのグレートベルト（ストアベルトとも言う）架橋工事が最盛期直前で、乾ドック内でのコンクリート・ケーソン製作を見た。

2 回目からの海外旅行は家内と一緒にプライベートで行ったが、二人とも英語はさっぱりなので専ら旅行社が主催する団体ツアーのお世話になった。海外の何処から攻めるか家内と話し合い、まず“体力があるうちに、人があまり行かないところ”で一致した。順番を決めていたわけではないが、今年までの 10 年間で、インド（2 回）、トルコ、スペイン、ポルトガル、イタリア、オーストリア、東欧、タイ、中国（4 回）、ウズベキスタンを訪れた。この間、KABSE 創立 10 周年記念としてカナダ・米国の見学会が企画され、見学会委員として公費（会社費用）で参加した。欧州だけを見ればフランス・イギリスの周辺国を“制覇”したことになり、残る 2 国は体力が落ちた頃にいずれは訪れるつもり

である。

二人だけで旅行したのは、ツアーに毎年参加して海外旅行のコツをつかんだ 1999 年のことで、ポルトガルへ行った。航空機・列車とホテルの予約だけを旅行社に頼んで恐る恐る出かけたが、トラブルに合うこともなく無事帰国できた。

アゴ・アシ付きの団体ツアーは気楽なものであるが、自分が見たい所、写真を撮りたい所の自由がほとんど無いのが欠点であろう。特に、橋は他の参加者にとって興味の対象外であり、ガイドも橋の説明をすることは全くと言っていいほどなく、フリータイムに橋を探して写真を撮るのに苦労する。

以下に、数少ない機会を利用して撮った橋のいくつかを紹介したい。

ドン・ルイス橋（ポルトガル）

エッフェルの弟子によりポルト市内のドウロ川に架けられた 2 層の鋼アーチ橋である。上路部は左右川岸の丘陵部を結び、下路側は兩岸のワイン工場や商店を結ぶ道路の一部となっている。一見タイドアーチ風であるが、アーチ基部を見ればタイ構造とは思えなかった。左岸側の丘上にある修道院の庭が展望台になっており、写真撮影には絶好の位置である。国内某社の雑誌掲載広告にもこの位置からの写真が使用されたことがある。上流にはエッフェルが設計した鋼アーチの鉄道橋ピア・マリア橋があり、近年、コンクリート橋に架け替えられて今は廃線となっている。

団体ツアーでポルトガル単独の企画は極めて少なく、応募者も少ないために催行できないことがあり、この橋を見るためにポルトガルに行ったようなものであった。蛇足であるが、ポルト産のワインは甘口で通常のワインに比べアルコール度数が倍程度高く、ポルトワインの語源ともなっている。



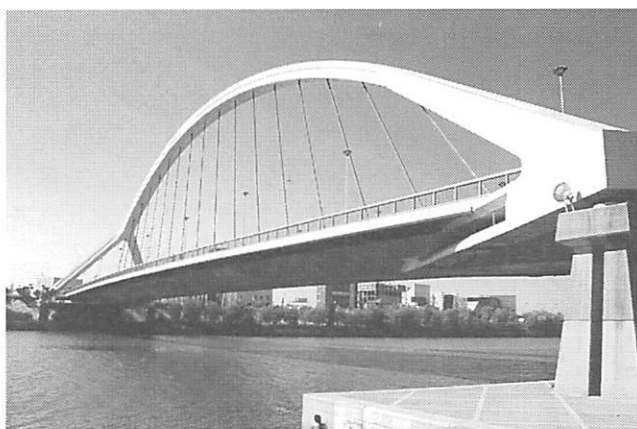
サントジャンジェロ橋（イタリア）

ローマ市内のテベレ川に架けられたローマ時代の石橋である。オードリー・ヘップバーン主演映画「ローマの休日」の中でオードリーがギター振り回して活躍したダンス会場がこの橋の下であったが、あくまでも映画の中だけの設定だったらしい。当然ながら現在の橋の下には何もない。ただし、これはイタリアから帰ってきて気が付いたことであり、サントジャンジェロ城（テオドシウス廟）を背景に撮らなかったことが悔やまれる。



バルケタ橋（スペイン）

セビリア市内のグアダルキヴィール川に架かる鋼単弦アーチ橋である。因みに現地読みでセビリアは「セビージャ」と発音すること。ホテル到着から夕食まで3時間ほどのフリータイムができたので、川沿いに歩きながら橋を写していった。本橋のすぐそばにはカラトラバがデザインした傾斜主塔を持つ鋼斜張橋のアラミージョ橋もある。1999年に開催された世界陸上選手権の女子マラソンで高橋尚子が復路をトップでこの橋を渡り、優勝したことを覚えている人は少ないだろう。



龍門大橋（中国）

古都洛陽の町外れの洛河に架かるコンクリートアーチ橋で、有名な龍門石窟の入口に位置している。建設年代は不明だが、比較的新しい橋であろうと考えられる。正月休みを利用して河南省を主とするツアーに参加したものである

が、中国到着日から濃霧の中での見物となり、訪れた日は橋の形がようやく判る程度の晴れ間になった。



ブラチスラバ橋（スロバキア）

駆け足でチェコ、ハンガリーなど東欧を訪れた時に、ブラチスラバ城から写した写真である。鋼斜張橋の主塔頂部に展望台が設置されている。時間があれば上りたかったが、やむを得ず望遠レンズでパチリ。学生時代の地理ではチェコ・スロバキアとして記憶されていたが、現在は2国に分かれ立派な独立国である。



モーツァルト小橋（オーストリア）

モーツァルトの故郷であるザルツブルグ市内のザルツァハ川に架かる鋼トラス橋である。橋としてはかわいらしい小さな歩道橋だが、映画「サウンドミュージック」の中でジュリー・アンドリュース扮するマリアとトラップ家の子供たちが街へ飛び出すシーンに使われた。「ドレミの歌」をマリアが教える前である。これが判る人は相当な映画ファンとモーツァルトファンだけかも知れない。

残念ながら写真が見つからない。

海外旅行の話をする時、よく「どこが一番良かったですか」と聞かれることが多く、その度に「どこが良かったかはその人の価値観と興味が違うので言えません」と答えている。自分として再度行きたい場所はインド、ポルトガルであろうか。

工事紹介・報告

●一般国道218号 高千穂バイパス ～新高千穂大橋～●

《実施場所》宮崎県西臼杵郡高千穂町大字押方～大字三田井

《事業主体》国土交通省九州地方整備局延岡工事事務所

《工期》平成11年11月3日～平成14年11月29日

《概要》

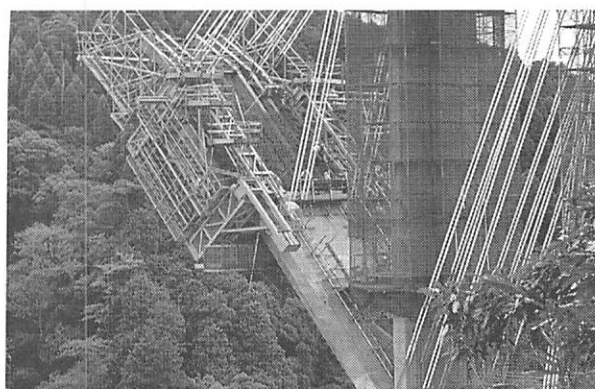
新都高千穂大橋は、一般国道218号高千穂バイパスの中心地点に架橋中の橋梁である。五ヶ瀬川沿いは、柱状節理の発達した阿蘇溶岩が広く分布し、高千穂峡谷兩岸の路頭は国指定の名勝天然記念物にも指定されている。従って、橋梁形式は、森林の保護並びに岩石の持ち出しを最小限に止める等、環境に配慮した梁形式でなければならない。橋梁形式の決定にあたり、地域住民に対するアンケート調査、景観検討委員会を開催し、その深いV字型の渓谷で急峻な地形と景観に配慮した、渓谷の約115m上空を跨ぐPC補剛桁を有するRC逆ランガーアーチ橋とした。

本橋の特徴として以下があげられる。

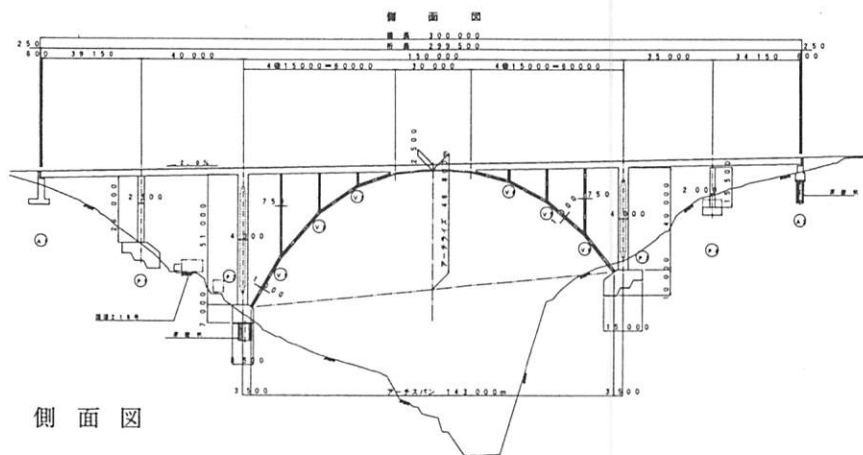
- ① 上路式補剛アーチ橋でアーチリブおよび、鉛直材はRC構造とし、補剛桁をPC構造とした。
- ② 効幅員が15.5mと広幅員であり、補剛桁断面の選定は、経済性・施工性を考慮し広床版を採用したPC1室箱桁としている。
- ③ アーチライズが46.8mと、コンクリートアーチ橋では国内最大である。また、アーチ軸線は補剛桁、アーチスプリングングに対して最も有利となるハイパボリック曲線(m=3.0m)を採用している。
- ④ 支承は橋台部においては可動支承となっており、橋脚部P1は補剛桁を張出架設するためラーメン結合で、P4については水平力の負担が大きいのので可動支承としている。エンドポストのP2、P3橋脚は固定のラーメン結合である。

上部工の施工方法は、以下のとおり。

- ① 仮設は、メラン併用トラス張出し架設工法によって行う。
- ② アーチリブ、補剛桁、鉛直材、および斜吊材により、トラスを形成しながら張出施工を行う。
- ③ アーチリブの施工は、メラン材を斜吊材によって先行して架設を行い、アーチリブ用特殊移動作業車を使用し、メラン材をコンクリートで巻き立てていく。
- ④ 鉛直材施工後に鉛直材上部の補剛桁張出しブロックを施工するため、底枠及び下段作業台が開閉する補剛桁用特殊移動作業車を使用する。
- ⑤ 張出し施工に伴って、前方に大きな転倒モーメントが生じるため、A1、A2橋台後方にアンカー構造物を設け、水平梁で主桁と連結している。
- ⑥ 斜吊り材は総ネジPC鋼棒(φ32、36)で、防錆を施し、温度の影響を小さくするために断熱材で覆っている。
- ⑦ 本工事の荷役用仮設備は、側径間施工に80tクローラークレーン、P2橋脚張出しにタワーレーン、橋面からメラン材架設用にジブクレーンを使用する。尚、P2橋脚にはエレベーターを設置し橋面と、アーチ間の上下作業の移動に使用している。



張出し架設状況



◎福岡高速5号線 鋼開断面箱桁橋◎

《実施場所》福岡県福岡市博多区西月隈四丁目
～城南区堤二丁目（1、2工区）

《事業主体》福岡北九州高速道路公社 福岡事務所

《概要》

福岡都市高速道路はこれまでに1～4号線までの計38.7kmが供用し、都市内の交通混雑の緩和および都心との連絡強化を図る福岡市の大動脈として機能している。さらに、現在は1,2号線と福岡市西南部の連結を図る5号線の建設を進めている。

5号線は月隈西～福岡間18.1kmの路線で、すでに供用している各路線と連結することで環状道路を形成するもので、より一層の利便性の向上が図られるとして期待されている。工事は4工区に分割して、1工区（月隈西～老司間5.6km）は上下部工の現地施工に着手し、2工区（老司～堤間4.4km）は上下部工の発注を終えた段階である。18.1kmのうち一部のトンネル部を除き、そのほとんどは高架構造となっている。

鋼桁の形式は一部ランプを除き、コスト削減を図るために合成床版を用いた鋼開断面箱桁橋を採用している。スパンは40～70m、径間数は3～8径間であり、主桁は鋼板パネルを工場製作し、現地で組み立てることでコスト削減を図っている。1工区では主桁断面を半分にしたL型で製作、施工しているが、2工区では3つのパネル（上フランジが付いたウェブが2パネル、下フランジが1パネル）に分割することで、より長尺の部材を輸送することが可能となり、さらに現地組み立てにより更なるコスト削減を図る予定としている。

鋼開断面箱桁の床版形式はRC、PC、合成床版を比較・検討したが、開断面桁との相性が良く、架設も容易でトータルコストの削減が図れる合成床版を採用した。

鋼橋の防錆にはトータルコストの低減、特に維持管理コストの削減を目指し、一部の溶射施工不可能な箇所の塗装

部を除き、亜鉛・アルミニウム金属溶射を全面的に採用する計画としている。「百年橋梁」の考え方のもとで、塗装、溶融亜鉛メッキ、耐候性鋼材などと防食性やコストを比較・検討したが、この路線の条件では金属溶射が最も優れていると判断し、亜鉛・アルミニウム金属溶射を採用した。また、架橋地点が都市内であるため景観に配慮する目的から、溶射直後の皮膜の空孔を充填シールする目的で施工する封孔処理材にグレー系の顔料を混ぜることで対応した。

5号線で採用している各種工法は建設コストのみならずメンテナンスコストの削減にもつながるものであり、着実な実施に向けて工事着手しているところです。

《連絡先》福岡北九州高速道路公社 福岡事務所

TEL 092-631-0136（設計課）

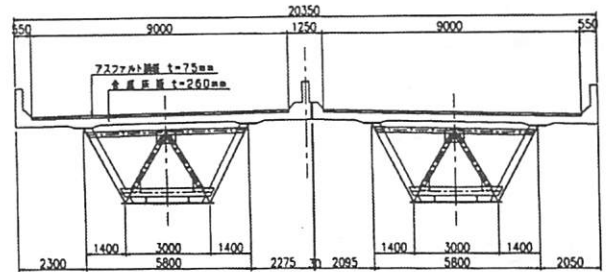


図-2 鋼開断面箱桁橋の断面図



写真-1 現地架設状況

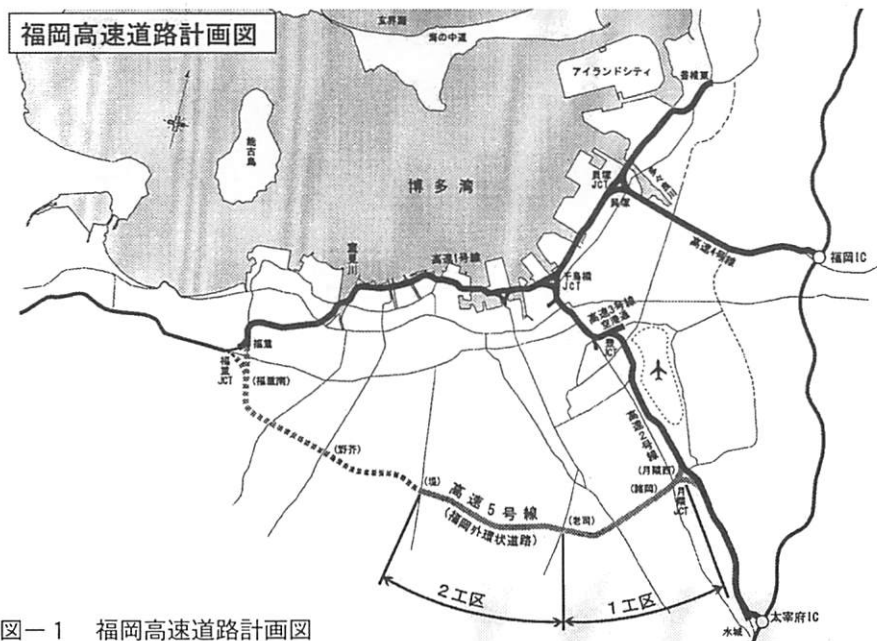
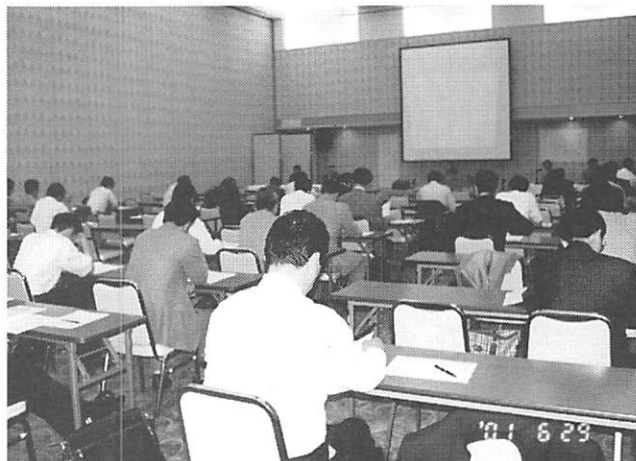


図-1 福岡高速道路計画図

第19回総会・特別講演会

〔総 会〕

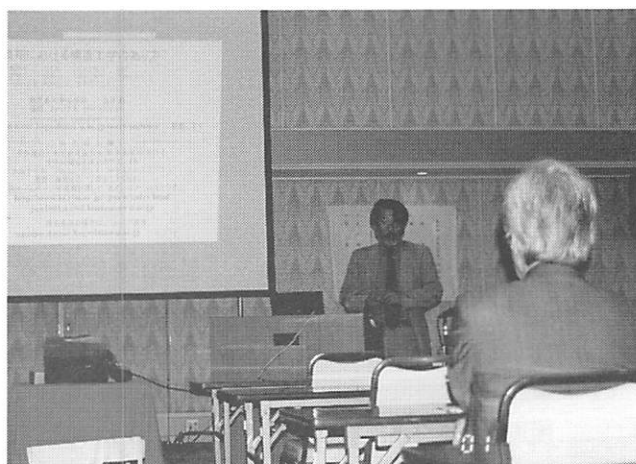
平成13年6月29日（金）、福岡市東区の福岡リーセントホテルにおいて、第19回（平成13年度）総会を開催した。崎元達郎会長を議長として、平成12年度事業報告、平成12年度歳入歳出決算、平成13年度事業計画（案）、平成13年度歳入歳出予算（案）を審議し、いずれも原案どおり承認可決された。



〔特別講演会〕

総会終了後、同所において約60名の参加のもとに特別講演会が開催された。

講 師：鹿児島大学工学部海洋土木工学科
題 目：「転換期にある構造工学のあり方」



〔懇 親 会〕

総会および特別講演会終了後、同ホテル別室において、産・官・学の各界より約50名の参加を得て懇親会が盛況に催された。



平成13年度技術発表会

事業部講演会小委員会

土木学会西部支部が主催、KABSEが共催する平成13年度技術発表会は以下のとおり開催されました。

日時：平成14年2月14日（木）10：30～16：30

会場：九州産業大学1号館

参加人員：80名

内容：

- 1) TQB (Taisei Quick Bridge) 工法
 ー立体交差部の超高速施工法ー
 大成建設(株) 小原 直
 - 2) 紫川マイタウンマイリバー整備事業について
 北九州市 新川 信夫
 - 3) コンクリート構造物非破壊測定
 国土交通省九州技術事務所 内田 浩一
 - 4) パイルベント橋脚の耐震補強
 「Kui Taishin-SSP工法」
 (株)白石 天野 明
 - 5) プラズマによる岩盤破碎技術
 (株)熊谷組 柿内 幸雄
 - 6) 小丸川発電所新設工事コンクリート製造工事における
 建設汚泥リサイクルへの取り組み
 九州電力(株) 池田 建一
 - 7) 新型余水処理装置を使用した八代港浚渫工事について
 国土交通省熊本港湾空港工事事務所 内田 雅士
- 1) は、完成まで数年を要していた交差部立体化工事の従来工法のかわりに、超短時間で完成させる画期的な工法(TQB工法)の紹介であった。
- 2) は、北九州市の中心、小倉地区を流れる紫川の新しい水景都市をめざした都市再生技術の先駆的取り組みについての報告であった。
- 3) は、今後のトンネルの維持管理を効率よく、効果的に行っていくために、道路トンネルの壁面に対してレーザー方式を用いた非破壊検査についての報告であり、現時点での非破壊検査機器の実質的な技術力・経済性等を把握し、さらに問題点をとりまとめた報告であった。
- 4) は、耐震性に問題のある構造と指摘されているパイル

ベント橋脚の耐震補強工法として、景観を大きく変えず河積阻害率も小さく施工性・経済性に優れた、Kui Taishin-SSP工法の概要と補強事例の報告であった。

5) は、近年の土木工事も都市化に伴う住宅地や近接構造物等の騒音・振動などに周辺環境に与える影響対策が最も重要な問題であり、そのため、発破工法は適用できず、大型掘削機械を採用しても中硬岩地山では、掘削能力に限界があり、難渋する事が多い。「純粹に電気だけで岩を割る」事に注目し、プラズマによる岩盤破碎技術の概要と試験結果及び鉄筋コンクリート構造物の解体事例についての報告であった。

6) は、小丸川発電所新設工事で使用するコンクリート量の3/4にあたる約35万立方メートルは、現場プラントで製造し、供給する計画である。このコンクリート製造過程で、骨材の製造に伴って、約7万立方メートルの建設汚泥が発生するため、この適正な処理に対する取り組みについての報告であった。

7) は、八代港では、航路整備のため浚渫埋立工事が進められてきたが、埋立の進捗とともに埋立地容積が減少し、埋立地から放出される余水のSS濃度が高くなる傾向がみられたため、余水の浄化処理方法を検討することになった。余水の浄化処理装置として、小型装置により実証試験を行った後、本格的な大規模工事に初めて採用した内容の報告であった。

いずれの発表も、現在関心の高い分野の技術や将来のために取組んでいかねばならない分野の技術についての報告であり、参加者も熱心に聞き入っていた。

本発表会は、新技術、新工法や工事報告などを40分程度の時間で、スライドやビデオなどを使用して発表する場です。本会報の新技術・新製品コーナーに投稿頂ければ、併せて次回の技術発表会での講演をお願いする企画になっております。会員諸兄にはふるって参加をお願いいたします。

最後に、本会を盛會裡に終えることができましたのも発表者諸兄と土木学会西部支部の関係者各位のおかげであり、ここに記して謝意を表します。

「橋梁の設計・施工と耐震性の合理化に関する講習会」

事業部講習会小委員会

1. はじめに

九州橋梁・構造工学研究会「橋梁の経済性に関する研究分科会」（主査：九州工業大学大学院教授 久保喜延）および「橋梁の耐震性を考慮した設計・施工合理化に関する研究分科会」（主査：九州大学大学院助教授 松田泰治）では、橋梁の経済性向上および耐震性の合理化を目指した設計法の確立を目的に、平成11、12年度の2年間にわたり活動を行い、その成果を報告書としてとりまとめた。KABSE会員へ広く内容を知っていただけるよう、土木学会西部支部他と共催で講習会を企画した。

オリエンタル建設(株) 泰 裕昭
耐震設計に於ける動的および静的照査法の比較検討
千代田コンサルタント(株) 上野裕次
招待講演
「道路橋示方書の改訂動向と性能照査型の耐震設計」
独立行政法人土木研究所 耐震研究グループ
主査研究員 星隈順一
閉会挨拶 土木学会西部支部 支部長
⑥参加人員：126名

2. 実施要領

- ①主 催 九州橋梁・構造工学研究会
②共 催 土木学会西部支部、日本コンクリート工学協会九州支部、日本橋梁建設業協会九州支部、PC建設業協会九州支部、建設コンサルタンツ協会九州支部
③日 時 平成13年12月14日（金）9：30～16：50
④会 場 福岡県教育会館（福岡市東区馬出4-12-22）
TEL 092-631-4600

⑤プログラム

閉会挨拶 九州橋梁・構造工学研究会 会長 崎元達郎
第1部 橋梁の設計・施工の合理化と経済性
概要説明 九州大学 日野伸一
鋼橋の合理化と経済性 熊本大学 渡辺 浩
コンクリート橋の合理化と経済性 (株)富士ピーエス 府内洋一
複合橋の合理化と経済性 中央コンサルタンツ(株) 柚 辰雄
長大橋の合理化と経済性 三菱重工業(株) 重留正治
招待講演「ミニマムメンテナンス橋梁について」
国土交通省国土技術政策総合研究所 道路研究部橋梁研究室
研究員 廣松 新
第2部 橋梁の耐震性を考慮した設計・施工の合理化
概要説明 九州大学 松田泰治
橋脚設計の合理化に関する手法 セントラルコンサルタント(株) 片山英一郎
支承に作用する地震力と機能分離型構造 オイレス工業(株) 宇野裕恵
PCラーメン橋の設計の合理化に関する検討

3. 分科会の活動と講習内容

(1) 第1部「橋梁の設計・施工の合理化と経済性」
公共事業費の削減が迫られるなかで、均衡の取れた社会基盤整備の充実を図るためには、今後益々公共事業に対するコスト削減が重要視されている。第二東名神高速道路をはじめとする橋梁建設においても、コスト削減をめざした種々の新技術・新工法の開発とその実用化に近年めざましいものがある。

前半の第一部では、「橋梁の経済性に関する研究分科会」の成果報告を行った。本分科会では、過去10年以内に公表された既往文献から、各種橋梁の設計・施工・維持管理等においてコスト削減のために採用された新技術・新工法を調査分析して橋梁建設における経済性について検討することを目的として、産官学延べ45名のメンバーで活動を実施した。分科会の構成は、「鋼橋WG」「コンクリート橋WG」「複合橋WG」「長大橋WG」の4つのグループに分かれて、それぞれコストに着目した技術情報の収集とその分析を行なった。

「鋼橋WG」では、特に2主I桁橋や開断面箱桁橋などの製作・施工の省力化に着目した主桁構造、床版の長支間化や疲労耐久性に着目した合成床版について報告した。

「コンクリート橋WG」では、構造形式や施工方法と経済性との関連性について特徴的な事柄を報告した。

「複合橋WG」では、元々複合構造の概念が構造の合理性と経済性を目的とするとの認識から、合成桁橋、波形ウェブPC箱桁橋、複合アーチ橋、複合トラス橋、複合斜張橋、混合桁橋および複合ラーメン橋の7グループに分類して、それぞれの技術的特徴について報告した。

最後に、「長大橋WG」では、吊橋および斜張橋について、各構成部材の経済性に関わる特徴と超長大橋の実現に向けての技術開発動向について報告した。

残念ながら、公表された具体的な金額情報が少なく、ま

講習会報告

た建設当時の物価の相違などから建設コストに対する直接的比較が困難なために、十分な定量的検討ができなかったのは残念であるが、各種の橋梁種別ごとに経済性に関わる最新の技術情報を取りまとめ報告できたものと思われる。

(2) 第2部「橋梁の耐震性を考慮した設計・施工の合理化」

後半の第二部では、「橋梁の耐震性を考慮した設計・施工合理化に関する研究分科会」の成果報告を行った。本研究分科会は、橋梁の性能設計への移行を睨みながら、現行の平成8年の道路橋示方書耐震設計編をはじめとする各種設計法の適用範囲内、およびその適用範囲を越える設計や新しい設計の考え方について、耐震性に関わる合理化の観点から比較検討を行い、耐震性を考慮した合理的な設計とは何かについて模索し、あわせて耐震性に関わる施工の合理化についても検討を行うことを目的に42名の産官学の技術者、研究者で活動をスタートした。

全員参加型での検討を行うにあたり、全体を大きく「比較設計グループ」、「支承・ダンパーグループ」「ラーメン構造グループ」「設計・評価法グループ」4つのグループに分け、各グループで具体的な課題の抽出、分担および検討を行い成果をとりまとめた。

「比較設計グループ」では耐震設計の煩雑さを解消する目的で、震度法に基づく断面設定より、保耐法および動的応答解析を満足する適切な断面予測を行う手法を検討した成果を報告した。

「支承・ダンパーグループ」では免震支承や地震時水平力分散ゴム支承の設計合理化を目的に、支承の動的挙動を静的解析結果に基づき簡便に予測する手法や、支承の形状設計を合理的に行う手法に関して検討を行った。また、併せて機能分離構造の調査および支承に関わる施工上の留意点の整理した成果を報告した。

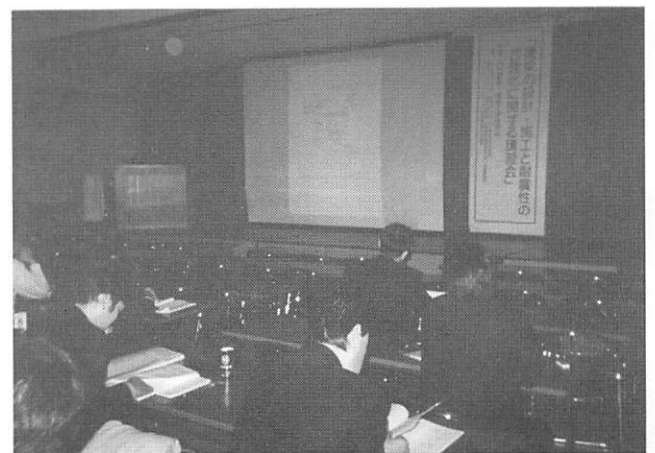
「ラーメン構造グループ」では経済的な断面設定の省力化を目的に、PCラーメン橋を対象に非線形静的解析と非線形動的解析を行い、健全度レベルに応じた設計の合理化について検討を行った成果を報告した。

「設計・評価法グループ」では各種耐震解析法および耐震設計法の長所・短所の明確化を目的に、各手法に基づき断面設定された橋脚と非線形動的解析結果との比較を行い、各手法の現象との整合性や課題および適用範囲について検討を行った成果を報告した。

4. あとがき

道路橋示方書の改定を直前に控え、改定動向のタイムリーな招待講演などもあり、会場の参加者からは報告内容に関して活発な質疑が行われ、有意義な講習会となった。

最後に、本講習会が盛会に無事終えられましたのは、講師ならびに準備運営に御尽力いただいた関係各位のおかげであります。ここに記して謝意を表します。



「地中構造物の耐震設計の最前線」

事業部講習会小委員会

1. はじめに

九州橋梁・構造工学研究会「地中構造物の耐震設計法に関する研究分科会」（主査：九州大学大学院教授 大塚久哲）では、構造物基礎も含めた地中構造物の合理的耐震設計法の確立を目指し、平成11、12年度の2年間にわたり活動してまいりました。このたびその成果を広く皆様に知っていただけるよう、土木学会西部支部と共催で講習会を開催しました。

2. 実施要領

- ①主 催 九州橋梁・構造工学研究会
- ②共 催 土木学会西部支部
- ③日 時 平成13年11月21日（水）13：20～17：10
- ④会 場 福岡県教育会館（福岡市東区馬出4-12-22）
- ⑤プログラム

開会挨拶	九州橋梁・構造工学研究会会長
地中構造物の横断方向の耐震設計	大塚久哲(九州大学) 村井和彦(戸田建設) 新井雅之(パシフィック) 竹内幹雄(奥村組)
地中構造物の縦断方向の耐震設計	橘 義親(オリエンタルC)
杭基礎の耐震設計	岩上憲一(構造技術センター) 伏婦光一(日本技術開発) 高野道直(第一復建)
橋台の耐震設計	楊 光遠(大日本C)
閉会挨拶	土木学会西部支部支部長
- ⑥参加人数 73名

3. 講習内容

講習会は、分科会有志が執筆した『最新地中・基礎構造物の耐震設計』（九州大学出版会、2001年11月発行）をテキストとして行われた。同書の内容はタイトルからわかるよ

うに、地中構造物の耐震設計と、基礎構造物の耐震設計の2つに分かれており、講習会もこの構成にしたがって、前半を地中構造物の横断及び縦断方向耐震設計に関して、村井・橘・新井・竹内・大塚の各講師が説明し、後半を杭基礎の耐震設計と、橋脚設計における基礎の減衰定数・桁衝突が橋台に及ぼす影響に関して、岩上・伏婦・高野・楊の各講師が説明した。

地中構造物の耐震設計では、まず1995年兵庫県南部地震による地中構造物の被害の大きさが紹介され、地中構造物の耐震設計においても新基準類では設計地震動が大幅に引き上げられたことにより、これまでの線形弾性設計にとどまらず、地盤と構造物共に非線形性を考慮した弾塑性解析が必要なこと、解析手法も従来の応答変位法のみにも頼ることなく地盤と構造物の相互作用が直接評価できる有限要素系や動的解析を積極的に採用する必要性などが力説された。また、新しい地中免震構造の紹介や、耐震設計において鉛直地震動を考慮すべきことなども事例を交えて丁寧に説明が加えられた。

基礎構造物の耐震設計では、新たに制定された道路橋示方書や鉄道標準に基づく照査方法について紹介がなされると共に、解析モデルの違いや解析手法の差が応答結果に及ぼす影響について具体的な計算例を示しながら説明が行われた。

最後に、同書参考資料に所載の橋脚設計における基礎の減衰定数の取り方に関する知見、桁衝突が橋台に及ぼす影響に関して最新の計算結果が紹介された。特に、桁端衝突の問題は上部構造の耐震補強や橋台の耐震設計において興味ある話題であった。

各講師の話題はいずれも時宜を得たものであり、綺麗に作成されたパワーポイントも分かりやすく、講習会参加者は最初から最後まで熱心に聞き入っており、参加者の意識と技量の向上が期待できる講習会であった。

分科会報告

研究連絡小委員会

九州における木橋の現状と技術に関する研究分科会

〈目的〉

近年の時代的背景の変化の下、建設材料としての木材が見直されてきています。その理由として挙げられる主なものは以下のとおりです。

- ① 地球温暖化問題への対策のひとつとして、森林の存在がクローズアップされてきています。CO₂の排出抑制とともに、森林による吸収を期待しようというものです。しかし、確かに樹木はCO₂の缶詰とも言われるほど多くの炭素を含んでおり、その成長を考慮すれば森林全体としては毎年膨大な量のCO₂を吸収しているとは考えられますが、成熟した森林ではCO₂収支は均衡してしまい、実際にはこのような効果は得られません。それでもCO₂の吸収を期待するためには、単に森林を保護・育成するだけではなく、適度な量の樹木を森から持ち出して使うこと、つまり木材としての利用が必要不可欠となってきます。
- ② 木材は、他力によることなく永続的に再生産が可能であり、適度な環境が維持されれば永続的に持続可能な材料です。このことから木材はしばしば自己完結型の材料と言われ、他の建設材料にはない特徴のひとつとなっています。今後は建設産業も環境負荷の軽減が課題のひとつとされており、このような観点からもより一層の木材利用が期待されています。
- ③ 国土の2/3を森林が占める我が国は森林大国とも称される一方で、世界最大の木材輸入国でもあります。戦争で荒廃した森林に対し戦後積極的な植林がなされたものの、高度成長期の需要に追いつけず、以

来減少をつづけた自給率は今や2割程度まで落ち込んでいます。現在ではようやく伐期を迎えてきた森林も荒廃しつつあることから、森林の活性化とそのための国産材の需要拡大が急務となっています。

- ④ 構造材としてのみならず、木材の持つ和みの効果等がクローズアップされてきました。例えば家具や建物の内装も木目調のものに人気が集まっています。また、学校の校舎や家具の木造化、公園施設における木製遊具の復活等、教育現場への積極的な導入が図られ、教育効果を上げているという報告も多く見られるようになりました。

このような社会的背景もあって、近年比較的規模の大きい公共建築物にも木造構造物を多く見かけるようになりました。しかし、土木分野、ここでは橋梁の材料としての木材は高度成長期を境にその役目を終え、ごく最近まで仮設材への利用等にとどまってきました。これには、交通機関の発達や荷重の増加、長支間化等の社会的な要求の他、鋼材やコンクリートの品質が安定し比較的安価に流通するようになったこと、設計法が整備されたこと、そしてメンテナンス性がよいとされたこと等の理由が挙げられます。

ところで近年、木橋の建設が急増しています。この理由としては、それまで弱点とされていた強度や耐久性の問題に一定の目途がついた一方で、先に述べたような社会的な要求の変化も挙げられます。そして、この10数年に建設された木橋の数は1000橋を越えるとも言われており、支間が40mを超えるような本格的な車道橋も架けられるようになってきました。

しかし、近代木橋と呼ばれるそれらの木橋にも弱点は残されています。そのひとつは、天然材料としての木材をそのまま利用することです。素材のばらつきが大きく個性もあるため、鋼材やコンクリートのような工業製品のようにスマートな設計はできません。性能設計に対応するための

研究も鋭意なされていますが、これによっても材料としての本質は変わりません。

もうひとつは、天然材料がゆえの維持管理の難しさです。木橋を長期に渡って安全に使用するためには腐朽や蟻害等の生物的な劣化に対する検討が必要になります。特に我が国における屋外の暴露環境は木材にとって非常に過酷な条件であり、防腐対策がなされたといえども適切な維持管理は必要不可欠です。

このように木橋では、一般の橋梁技術に加え、木材の性質を熟知した上でそれを生かすような設計・施工が求められています。そして、木の文化とも称される日本では、古来より木材を熟知し適切な利用がなされてきたと思われれます。しかし、現代においてはそれらが受け継がれているとは言い難く、好ましくない例も少なからず存在します。このような事例ではコストや維持管理上不利であったり、耐用年数も短くなってしまっているものと考えられ、それらによって木橋の評価が下されてしまうことはとても残念なことです。

本研究分科会では、このような木橋の現状に鑑み、木橋の現状における問題点や古来からの知識や工夫を整理し、新しい技術やその評価を学びながら、今後の木橋のあり方について議論・検討していくことを目的としています。

林業の盛んな九州は近代木橋でも先進地のひとつであり、各地で活発な取り組みがなされています。本研究分科会では、木橋は橋梁技術と木材加工技術の融合の賜であるという観点から、相互の技術交流の場としても重要であると位置づけています。

〈活動状況〉

今年度は4回の会議を開催しました。このうち1回は木材加工工場ならびに木橋架設現場の見学会です。また、外部の木橋・木構造研究者を交えての木橋技術交流会も開催しました。以下に各会議、技術交流会の概

要と講演，話題提供者，ならびにタイトルを示します。

第1回会議

日時：2001年7月27日14:00～17:20

場所：熊本大学工学部

出席者：17名

話題提供

植野 芳彦氏

(株)長大 本社開発営業部プロジェクトマネージャー

「木橋の現状と課題」

第2回会議

日時：2001年9月11日14:00～17:30

場所：熊本大学工学部

出席者：15名

話題提供

鈴木 憲太郎氏

(独立行政法人森林総合研究所 複合材料研究領域長)

「木材の耐久性に関するいくつかの話題」

飯村 豊氏

(宮崎県木材利用技術センター 構法開発部長)

「木橋におけるスギの接合をどうするか？」

木橋技術交流会

日時：2001年10月3日16:00～20:00

場所：熊本大学 くすの木会館

出席者：18名

○招待講演

佐々木 幸久氏

(山佐木材(株) 代表取締役)

「木橋を作る」～林業・木業とエンジニアリングとのかけはし～

第3回会議

日時：2001年11月27日14:00～17:30

場所：熊本大学工学部

出席者：9名

○話題提供

池内 巖氏

(助)林業土木コンサルタンツ 技術顧問

「木床版車道橋設計の実際」

第4回会議

日時：2002年2月15日～16日

山佐木材(株)集成材工場（鹿児島県高山町）見学

・木橋架設現場（鹿児島県福山町）見学

出席者：12名

この他に本研究分科会では，木歩道橋の試設計とコスト比較という事例研究に取り組んでいます。本研究分科会で調査したところ，木橋は公園内の歩道橋として多く架けられており，そのほとんどが数mという小規模であることがわかりました。これは木橋の得意とする規模であり，また公園内の歩道橋が多いのは社会的背景④が積極的に評価された結果と考えられます。そこで，ここでは公園に設置される小規模歩道橋のモデル橋を問題点を整理しながら実際に設計し，コスト的な検討も加えながら望ましい木橋の姿を提案すべく，検討を進めています。

〈委員構成〉

(氏名) (摘要)

(勤務先)

渡辺 浩 主査

熊本大学工学部環境システム工学科

加藤 雅史 副査

九州東海大学工学部土木工学科

上月 裕 幹事

熊本県土木部都市計画課

飯村 豊

宮崎県木材利用技術センター

池内 巖

(助)林業土木コンサルタンツ

池田 元吉

熊本県林業研究指導所

井上 正文

大分大学工学部福祉環境工学科

植野 芳彦

(株)長大本社開発営業部

神田 稔

山佐木材(株)木質構造建設事業部

坂田 力

福岡大学工学部土木工学科

瀬崎 満弘

宮崎大学工学部土木環境工学科

竹下孝一郎

(株)長大福岡支社計画事業部

張 日紅

和光コンクリート工業(株)

早川 泰文

(株)長大福岡支社計画事業部

日高 富男

鹿児島県工業技術センター

藤本 義浩

(助)林業土木コンサルタンツ九州支所

古江 照巳

(株)長大福岡支社構造事業部

前田 貴昭

熊本県林業研究指導所林産加工部

松崎 淳夫

(助)林業土木コンサルタンツ九州支所

山尾 敏孝

熊本大学工学部環境システム工学科

■建設材料における破壊力学とAEおよび健全性評価手法に関する研究分科会

〈目的〉

KABSEにおいては，1988年からAE法の土木工学への適用研究を主テーマとした研究分科会活動を行ってきており，その後の社会的要請から，AE法に限らずその他の非破壊検査法や構造物及び材料の劣化損傷のモデル化と数値解析法など広く建設材料の健全性評価技術について精力的な活動を行ってきた。本研究分科会では，さらに定量的な健全性評価基準の確立を目指し，破壊力学とAEを基軸とした評価手法に関する研究・調査活動並びに実際の構造物への適用研究の共同作業や国際会議ならびに講習会の開催を計画実施する。

〈活動状況〉

平成13年度

1回の幹事会と2回の分科会全体会議を実施したが，それらの主な議題として話題提供をいただいた内容は以下のとおりである。

- (1) 第1回分科会(平成13年7月22日,参加者10名,東京都内)
岩盤および地盤のAEについて
飛鳥建設(株) 博士 塩谷 智基
- (2) 第1回幹事会(平成13年10月2日,参加者5名,熊本大学)
活動経過報告と今後の活動形態について
- (3) 第2回分科会(平成14年3月15日,参加者11名,東京都内)
- 1) AE法を用いたコンクリートの圧縮破壊領域の推定
東京工業大学大学院
助手 渡辺 健
- 2) AE法による高性能コンクリート構造物の鉄筋付着評価
飛鳥建設(株)
主任研究員 岩城 圭介
- 3) AE法によるコンクリート構造物に発生したひび割れ種類の評価方法
太平洋セメント(株)
博士 内田 昌勝
- 4) Recommend practice for in situ monitoring of concrete structures by AE
熊本大学大学院
教授 大津 政康

〈委員構成〉

(氏名) (摘要)
(勤務先)

- 重石 光弘 主査
熊本大学工学部環境システム工学科
- 鶴田 浩章 副査
九州大学大学院工学府建設システム工学専攻
- 内田 昌勝 幹事
太平洋セメント(株)中央研究所
- 大津 政康
熊本大学大学院自然科学研究科
- 牧角 龍憲
九州共立大学工学部土木工学科
- 山崎 竹博
九州工業大学設計生産工学科
- 原田 哲夫
長崎大学工学部構造工学科
- 添田 政司
福岡大学工学部土木工学科

- 坂田 康德
九州東海大学工学部土木工学科
- 石田 毅
山口大学工学部社会建設工学科
- 中村 秀明
山口大学工学部知能情報システム工学科
- 鎌田 敏郎
岐阜大学工学部土木工学科
- 国枝 稔
岐阜大学工学部土木工学科
- 渡邊 健
徳島大学工学部建設工学科
- 塩谷 智基
飛鳥建設(株)技術研究所
- 中西 康博
飛鳥建設(株)技術研究所
- 村上 祐治
(株)ハザマ技術研究所
- 秩父 顕美
(株)フジタ技術センター
- 伊藤 剛
川田工業(株)大阪支店
- 松山 公年
日本工営(株)中央研究所
- 近田 孝夫
新日鐵高炉セメント(株)
- 湯山 茂徳
日本フィジカルアコースティクス(株)
- 川村 浩司
(株)NF回路設計ブロック西日本
- 羅 休
(財)鉄道総合技術研究所

□土木遺産の補修・補強や維持管理技術に関する研究分科会

〈目的〉

各地域にある土木遺産を保存あるいは活用するには、少なくとも現状のまま使用できる場合は非常に少なく、何らかの補修や補強は避けられない。そのためにも、現在実施されている土木遺産調査の結果を活用し、文化財的な価値を全く喪失させないような補修、改修が必要である。また、土木構造物は、鉄やコンクリート、土

などの有限な寿命を持った材料で構築されており、個々の遺産に応じた補修・補強の工法が必要となる。そこで九州地方を対象に橋梁、トンネル、堰堤などの各々の土木遺産に応じた補修・補強及び維持管理に技術に関する研究を行って、補修等の技術の修得あるいは開発を試みるものである。特に、できるだけ過去に実施された保存例、補修・補強例を各自自治体等に問い合わせたり、資料収集を試みて、問題点や今後補修・補強に必要な技術や工法について検討するものである。

〈活動状況〉

平成13年度の活動状況により、この分科会活動の特徴を報告する。

1. 調査の経過とグループ長会議について

7月末に土木遺産の詳細調査を各委員へ依頼した。これは、過去に保存や活用するための工事を行った近代化土木遺産を対象にした詳細調査の実施で、調査対象および実施事例詳細調査シートを一緒に送って、作業を依頼した。

1) 詳細調査の目的

- ・保存の方針を調査する。
- ・実施された保存例、補修・補強例を収集する。
- ・保存事例で用いられた特徴ある技術や工法の把握
- ・保存や活用にあたって明らかになった問題点の把握

2) 詳細調査対象は別紙①に示す

- ・複数の文献に取り上げられた土木遺産
- ・保存・活用に技術的な特徴がある
- ・今後の保存技術(補修・補強や健全度診断等)で必要になる技術項目が示されている遺産
- ・全調査資料のうち、国、市町村などの指定文化財も詳細調査対象とする。

3) 次のグループに分けて詳細調査を実施する。(□はグループ長)

委員が調査する対象構造物は、各グループごとで決定してください。

A: 橋梁グループ(道路用、水路

- 用、溝渠など)：二宮
- B：鉄道・隧道グループ(鉄道路線(隧道、橋梁)隧道(道路用、水路用))：津田
- C：水門・堰堤グループ(農業用、水道用、発電用、船運用)：荒木
- D：河川・海岸グループ(堤防、防波堤、灯台、用水、その他)：戸塚
- E：建屋・その他遺産グループ(発電用、水道用、ろ過地、配水塔、公園、その他)：岩坪
- F：土木遺産の保存と活用について：平嶋

4) 詳細調査は添付する「保存と活用の実施事例詳細調査シート」にまとめる。

5) 詳細調査に関する注意

- ・詳細調査の対象の土木遺産に関するデータ(市町村名)を送るので、各事業報告書等の資料を入手する。
- ・資料(報告書など)の現物を入手可能かコピーなら可能か確認し、どちらにしても経費が必要なら主査まで連絡してください。ただし、請求書が必要です。
- ・資料入手に公式の依頼文書が必要な場合も主査に連絡下さい。
- ・10月末に幹事らとグループ長が一度集まって調査に関する打合せを実施予定

6) 調査シートは各グループ長がまとめて、2001年11月30日(金)までに主査まで提出

2. グループ長会議の実施

平成13年11月9日(金)14:00～
場所：土木環境

出席者：山尾、二宮、津田、戸塚、岩坪、川越(平嶋代理)

- ・各グループの詳細調査状況について報告。問題点等について協議

A：橋梁グループ(二宮)現在まで22件。追加調査が必要、資料を探し出す

B：鉄道・隧道グループ(津田)これから実施予定。担当は9件

C：水門・堰堤グループ(荒木)15件担当。現在自分一人で調査中

D：河川・海岸グループ(戸塚)担当は9件

E：建屋・その他遺産グループ(岩坪)担当は12件。これから実施予定

F：土木遺産の保存と活用について(平嶋)次回の会議までにまとめを持参予定

3. 第5回分科会

日時：平成13年12月7日(金)14:00～17:00

場所：熊本大学工学部環境システム工学科 土木環境系会議室8号館2F

出席者：山尾、平嶋、川越、緒方、浅井、津田、二宮、水田、宮村、高柳

配布資料：

- 5-1 議題及び報告書の構成フォーマットについて他
- 5-2 調査資料結果一覧(A-Fグループ)

議事：

- 1) 土木遺産の保存と活用の実施事例詳細調査の報告について、まず主査より、調査の経過とグループ長会議の結果について報告した。
- 2) 各グループごとに調査経過ならびに現状報告をした。

- ・グループA：22件(資料の27件は誤り)について二宮委員が調査結果を説明した。今後さらに調査が必要とのこと。

- ・グループB：9件について、津田委員、浅井委員が調査結果を説明した。市町村へ企業が直接行くこと対応が悪いので、今後、主査より依頼状を出す予定

- ・グループC：15件荒木委員は所用のため欠席で、かつ調査資料の提出なし。

- ・グループD：9件について緒方委員が調査結果を説明した

が、まだ5件の結果で今後資料収集が必要である。

- ・グループE：111件の資料は提出されたが、岩坪委員が欠席のため説明はなし。

- ・グループF：平嶋副主査及び川越委員が、近代の文化遺産の保存と活用についてのまとめを説明した。今後最新の資料を収集し、まとめる。

3) 報告書の作成について、資料を基に構成案と各グループ(A-E)ごとの総括原稿案を説明した。

以下のことを決定した。

- ・構成は1-3章とし、案の2章～6章は章立てせず、2章にまとめて2-1～2-5とする。
- ・3章は、鼻ぐり井手関係の資料とする。(鴻池組さんと主査で内容を協議)
- ・2章の構成は、グループごとに総括を2-3ページ付け、その後調査シートとする。

- ・総括原稿(2～3p)は資料のみでは内容がわからないので、各グループごとに収集した資料調査から得られたものについてまとめる。

- ・各土木遺産の位置を地図に入れたマップを別途作成してのせる。

・報告書の構成(案)

項目 予定ページ数 担当
はじめに 1 山尾

委員会メンバー 1 山尾

1章 土木遺産の保存と活用の現状 6 平嶋

2章 土木遺産の保存と活用状況
2-1 橋梁関係(総括と資料)資料 44ページ 二宮

2-2 鉄道・隧道(総括と資料)資料 18ページ 津田

2-3 水門・堰堤(総括と資料)資料 30ページ 荒木

2-4 河川・水門(総括と資料)資料 18ページ 戸塚

2-5 建屋・その他遺産(総括と資料)資料 24ページ 岩坪

3章 「鼻ぐり井手」の補修・

補強について 渡邊

付録 会議議事録

- 4) 原稿のフォーマット(案)について、出された意見も含めて決定した。
- 5) 調査シートについて
 - ・写真はできるだけ(1枚)挿入する。写真枠を入れるようシートを修正。
 - ・日付け、記入者は削除。写真がさらに必要な場合も可。
 - ・添付した修正シートに関するご意見があれば連絡。
- 6) 最終原稿と調査シートの提出締め切り等について
 - ・3月25日(月):各グループ(A-E)の総括原稿と調査シート
 - ・3月末:幹事で検討し、原稿完成。印刷発注
 - ・4月末:報告書完成
- 7) 次年度のKABSE研究分科会活動については、もう一期(2年)引き続き実施することを了承。なお、名称は「土木遺産の補修・補強に必要な新技術の開発に関する研究分科会」。引き続き委員としてご協力をお願いした。

〈次年度予定〉

土木遺産に関する過去の補修・補強事例について資料収集を行ったので、次年度は実際の土木遺産である橋梁、トンネル、堰堤など特徴ある土木遺産を取り上げ、補強あるいは補修して活用するには如何ような対策や技術が必要か、問題点は何かを明らかにする。また、実際に実施している土木遺産の工事現場等の見学も行なう予定である。

〈委員構成〉

(氏名)	(摘要)
(勤務先)	
山尾 敏孝	主査
熊本大学工学部	
平嶋 孝	副査
(株)大揮環境計画事務所	
重石 光弘	幹事

熊本大学工学部

荒木祐一郎

(株)山陽技研

市川 紀一(故人)

(株)クローバーテクノ

今井富士夫

宮崎大学工学部

岩坪 要

八代工業高等専門学校

大見 直子

熊本県

川越 浩正

(株)大揮環境計画事務所

緒方 滋

住友建設(株)

坂田 力

福岡大学工学部

笹原 慎二

日丸産業(株)

指方 由紀

セントラルコンサルタント(株)

浅井 利行

応用地質(株)

亀澤 洋一

宮崎県

高柳 勝郎

熊本大学大学院

戸塚 誠司

熊本県

高木慶太郎

熊本石材(株)

津田 雄次

(有)ワイルド・ダック

二宮 公紀

鹿児島大学工学部

福井 憲和

(株)鴻池組

水田 洋司

九州産業大学工学部

宮村 重範

西田鉄工(株)

渡邊 康則

(株)鴻池組

長崎県における災害史に関する研究分科会

〈目的〉

長崎県は九州のなかでもとりわけ災害の多い地方である。台風の常襲地域であり、また雲仙火山の噴火は記憶に新しい。その他にも、長崎市や諫早市での豪雨災害、県北部での地すべりの多発、対馬海峡での重油流出等、実に様々な災害を受けてきた。

活動方針は、長崎県における災害を時系列的かつ項目別毎に分類・分析することにより、今後の防災対策に寄与しようとするものである。

〈活動状況〉

活動初年度である本年度は、3回の分科会を開催した。議題内容については、以下のとおりである。

・第1回分科会

開催日:平成13年7月18日(金)

場所:出島会館(長崎市)

出席者:12名

議題:

①分科会の主旨説明

②話題提供:長崎県における地盤災害の概要

(分科会主査 棚橋 由彦)

③今後の活動方針について

・第2回分科会

開催日:平成13年10月12日(金)

場所:諫早文化会館(諫早市)

出席者:10名

議題:

①話題提供:日本の高速道路のあゆみ

(日本道路公団長崎管理事務所 田中 克則氏)

②今後の活動について

・第3回分科会

開催日:平成14年2月15日(金)

場所:センチュリーホテル(長崎市)

出席者:13名

内容:

①話題提供:Underground Space Use and Trenchless Technology

(米国ルイジアナ工科大学・
教授 Dr. Sterling)

②話題提供：雲仙普賢岳火山災
害について

(分科会幹事 山中 稔)

③今後の活動について

〈委員構成〉

(氏名)

(摘要)

(勤務先)

棚橋 由彦

主査

長崎大学工学部

松本 直弥

副査

(株)プラネットM

山中 稔

幹事

長崎大学工学部

浅岡 哲彦

長崎県対馬支庁

荒本 博之

総合地研(株)

戸屋 文雄

総合地研(株)

吉良 栄一

(有)興輝地研

後藤恵之輔

長崎大学大学院

蔣 宇静

長崎大学工学部

多賀 政雄

不動産建設(株)

永嶋 洋政

日本地研(株)

原 佳伯

東亜建設工業(株)

久松 好己

(株)PAL 構造

福田 伸朗

基礎地盤コンサルタンツ(株)

藤原 英俊

復建調査設計(株)

百田 明

(有)百田建築設計事務所

和田 弘

ライト工業(株)

■鋼コンクリート合成桁の 活用に関する研究分科会

〈目的〉

鋼コンクリート合成桁は、1940年代から欧米で開発が進み、中小橋梁はもちろん斜張橋主桁にも採用されており、ごく一般的な橋梁形式として定着し今日に至っている。日本においても、ドイツの影響を受け、溶接構造や格子桁の採用とともに、昭和30年前後には鋼橋の40%に採用されるまで普及した。しかし、スレンダーな鋼桁が建設されたり、また、過積載交通荷重、交通量の増加の設計荷重上の問題、床版厚不足、配力筋不足などの鉄筋コンクリート（以後、RCと略記）床版の設計上の問題、コンクリートの品質不良、施工不良などの材料・施工上の問題などが原因となって、昭和50年頃から、RC床版の損傷・劣化が報告されるようになった。そのために、日本では、補修・補強工事が困難な鋼合成桁の建設は減少し、連続鋼合成桁に至ってはほとんど建設されなくなっていった。

その後、わが国ではRC床版の設計法の改良が検討され、RC床版への信頼性が復活したのにもとない、構造合理化や工事費縮減の波にのって、鋼合成桁の見直しの機運が高まってきたり、さらには、種々の新形式の橋梁が提案されている。例えば、合理化鋼橋として2主I桁橋、鋼床版2主鉸桁橋、開断面箱桁橋が、また施工省力化を目的にPCコンボ橋が、さらに複合構造として波板鋼板ウェブ構造や複合トラス構造に関する研究開発が進められている。これらのうち鋼合成桁は、主構造へのプレストレスを導入しない床版支間の大きい少数主桁形式での再現と考えることができる。このような鋼合成桁の床版は、従来とは質的にも量的にも異なる機能を備えなければならない。

欧州を中心として、クリープ・乾燥収縮および鋼材で補強されたコンク

リートのひび割れ後の性状に関する基本的設計値が整備されつつあり、わが国でもクリープ・乾燥収縮に関する規定の改訂が行われ、またひび割れ制御指針などの設計規準が具体的に取り込まれてきているが、PC構造を対象としており、合成桁には昭和48年以来全く反映されていない。また、昭和48年に鋼道路橋示方書にプレストレスをしない連続合成桁の規定が盛り込まれたが、前述のように床版の損傷事例が多く発生し、床版剛性を期待する合成桁の建設が抑制されたため、わが国では設計基準の改定は行われていない。

以上に鑑み、本研究分科会では、まず合成桁に関する現状と問題点などを、分科会委員が深く知ることを目的に、これまで合成桁の研究や実務に携わってきた方々からの講演を委員会ごとにお願ひしてきた。また、これまでに資料として分科会幹事会から提出された資料や講演資料の一部を中間報告書としてまとめている。

〈活動状況〉

第1回分科会：2000年10月20日（金）

長崎大学 出席者 19名

講演：合成2主桁橋の設計と研究
課題・連続合成桁のひび割れ制御設計

長岡科学技術大学

長井 正嗣 氏

議題：今後の活動について

第2回分科会：2001年5月18日（金）

ショーボンド建設(株)

講演：

(1) 遅延合成システム “Post Rigid System” の概要

川田工業(株) 渡辺氏・辛島氏

(2) 合成桁に関する国内外の研究概要

長崎大学 松田 浩 氏

議題：

(1) 国内の論文からみた研究紹介
(構造工学論文集・コンクリート工学論文集、etc)

(2) 分科会の進め方(資料などの整理法)

第3回分科会: 2001年7月13日(金)
九州大学 出席者15名

講演:

(1) 鋼繊維補強軽量コンクリートを用いた連続合成鉄道橋

(株)東京鉄骨橋梁

中野幹一郎 氏

(2) チャンネル型プレキャストPC床版の鋼合成桁橋への適用に関する基礎的研究

九州大学 山口浩平 氏

議題:

(1) 国内の合成桁に関する類似委員会の現状

* 前回の方針は既に幾つかの委員会で検討されていることが判明。

(2) 独自の検討課題について

* 鋼連続合成桁の種々の問題点, 断続合成桁, 合成桁の解析でのモデル化

第4回分科会: 2001年9月12日(金)
(株)長大 出席者16名

講演:

(1) 鋼・コンクリート複合構造のFEM解析事例の紹介

日本電子計算(株)

丹羽 量久 氏

(2) 日本道路公団における合成構造

日本道路公団

前田 良文 氏

議題:

(1) Eurocode 4 の合成桁部分の和訳紹介(幹事会で作業)

(2) 「合成桁の問題と解説」に関するアンケート調査の実施

第5回分科会: 2001年11月29日(木)
- 30日(金)

高千穂荘 出席者15名

講演:

(1) 第二西海橋のコンクリート充填実験について及び女神大橋の概要について

三菱重工(株)

今金 真一 氏

(2) セン断プレストレスト合成桁について

宮崎大学 今井富士夫 氏

議題: アンケート調査の報告と今後の活動

見学会: 新高千穂橋及び国見大橋架設見学

中間報告書目次

1 序

2 鋼合成桁の種類と発展の歴史

3 鋼合成桁の設計規準

4 鋼橋の床版の現状と課題

5 ドイツの鋼コンクリート合成桁

6 合成桁の設計(Eurocode 4 Part 2 和訳)

7 結語

〈委員構成〉

(氏名)

(摘要)

(勤務先)

今井富士夫

主査

宮崎大学

松田 浩

副査

長崎大学

辛嶋景二郎

幹事

川田工業(株)

山口 栄輝

幹事

九州工業大学

森田 千尋

幹事

長崎大学

荒川 正彦

(株)名村造船所

稲森誠一郎

日本鉄塔工業(株)

今金 真一

三菱重工(株)

加藤 雅史

(株)東京鉄骨橋梁

久留島卓朗

建設技術研究所(株)

菅 晴夫

新構造技術(株)

高海 克彦

山口大学

左東 有次

(株)富士ビー・エス

野瀬 智也

日本電子計算(株)

野中 哲也

ヤマト設計(株)

日野 伸一

九州大学

藤木 剛

(株)長大

安東 祐樹

ショーボンド建設(株)

前田 良文

日本道路公団

山口 浩平

九州大学

吉崎 信之

福岡北九州高速道路公社

九州地区における特殊トンネルの合理的建設研究分科会

〈目的〉

橋梁と並んで道路構造物の代表とされるトンネルの建設は九州地方においても近年ますますその設計, 施工の条件の多様性が増しつつある。

トンネルの計画, 調査, 設計施工はその対象を道路トンネルに限定しても国土交通省, 道路公団, 各地方自治体で独自に検討され, 各機関間の情報伝達の場は従来ほとんど存在しなかった。トンネル工学は経験工学の代表的な分野と呼ばれることもあり, その調査から施工, 維持管理に至る技術的問題には情報の整理, 伝達が特に重要である。

本分科会はこの立場から九州地方における特殊トンネルに関する情報交換の場所を設定し, その結果としてよりよきトンネル建設を実現することを目的とするものである。

〈活動状況〉

平成13年度は組織の具体化と活動方針の会員間における合意形成を第一の目的とし, そのための活動を行った。

1. 第一回分科会および作業部会

日時：平成13年11月7日

場所：ホテルセントラーザ博多

話題：

- 1) 分科会の趣旨説明
- 2) 出席者紹介
- 3) 現在施工中ならびに計画中のトンネル状況報告
- 4) 施工中あるいは計画中のトンネルにおける技術的な検討項目の報告と意見交換

2. 第2回分科会および作業部会

日時：平成14年2月21日

場所：国土交通省福岡第二合同庁舎

話題：

- 1) トンネル計画・施工検討課題の提供
- 2) 平成14年度検討トンネルの選定

〈委員構成〉

(氏名)	(摘要)
(勤務先)	
中川 浩二	主査
山口大学工学部	
蔭 宇静	副査
長崎大学工学部	
江崎 哲郎	
九州大学工学部	
瀬崎 満弘	
宮崎大学工学部	
進士 正人	
山口大学工学部	
今村 利幸	
九州地方整備局	
吉村 匠	
九州地方整備局	
江崎 寛美	
日本道路公団	
河野 正博	
福岡県土木部	
古賀 康久	
佐賀県土木部	
古川 和義	
長崎県土木部	
田口 覚	
熊本県土木部	
古庄 通隆	
大分県土木建築部	

黒木 勝男

宮崎県土木部

谷口 幸雄

鹿児島県土木部

□磁性材料を用いた構造減衰に関する研究

〈目的〉

本研究は、構造物の振動エネルギーを磁性粉体（磁性材料を粒径数ミクロン程度の大きさに粉碎したもの）を磁場のもとで振動変形させたときに発生する熱エネルギーに変換させるという基本的な考えのもとで、耐震構造物などに対する実用性の可能性について検討を行ったものである。

磁場に置かれた磁性粉体（以下磁粉と呼ぶ）は、粉体相互間の接触力を増加させるので、その摩擦力は磁場のないところに置かれた磁粉と比べて当然増加する。また磁場の強弱により摩擦力も変化するので、発生する熱エネルギーも変化する。これは磁場に変化を与えて熱エネルギーの量をコントロールできることを意味する。この研究は磁場内に置かれた磁粉に外部より強制的に変形（これは構造物に地震などにより生じた変形に対応する）を与え、磁粉相互間のズレ（変形）を生じさせ、その熱エネルギーにより構造物の振動エネルギーを減衰させることを目的としたものである。原理は簡単であるがどの程度の減衰エネルギーを発生させることが可能であるか、またその安定性については実験により確かめる必要がある。

最終実験としては構造物の振動がどのように減衰するかについて検証する必要があるが、ここでは予備段階として静的実験を行い、繰り返し磁粉にせん断変形を与えたときの、せん断応力度とひずみの履歴曲線より磁粉内部に発生する減衰エネルギーの量とその安定性について検討を進めた。

実験装置

磁粉の上下に電磁石を配置して、磁

粉に磁場を与えた。電磁石は軟鋼にコイルをまきコイルに電流を流しているため、電流の量を変化させることにより、磁場に強弱を与えることができる。下の電磁石は固定し、上の電磁石を左右にバネばかりを通して変位をあたえ、その変位より磁粉に発生する歪みを求め、また磁粉に作用する力をバネばかりより求めた。この実験では磁粉の厚さは6mmと一定にした。

上下2この電磁石には、合計4このコイル（一個の巻数は1630回）を巻き、各コイルに流す電流は最大で0.78A、この時磁粉に作用する磁場は4400ガウスであった。

実験結果

これまで磁粉として平均直径10～1ミクロンのフェライト磁石焼結体の粉碎粉末を使用し、これについて静的実験を行って、せん断応力度－ひずみの履歴曲線より磁粉の減衰特性を求め、これより磁粉は構造物の振動減衰に十分適用できることが明らかとなった。

これに対して今回は上述のフェライト粉末に、鋼球、ワッシャーを混入させ、減衰特性を向上させることを試みた。原理的には、磁粉相互間の密着性が高い程（スキ間が無い程）磁性特性が強化されることが考えられる。極端な場合磁粉相互間にスキ間が全くなければ、磁粉は一つの変形可能な磁石となり、最強の磁場を発生することが可能となる。磁粉相互間のスキ間を小さくする最も簡便な方法は、磁粉よりサイズの大きい磁性体を混入させることで、その理由はサイズの大きい磁性体の容積のなかにはスキ間が全くないことよりわかる。

以上のことより以下のサイズの大きい2種類のを混入して実験を行った。

(1) 鋼球を混入させる実験

ここで混入させた鋼球は直径1mmのもので、その量は磁粉に対して鋼球の質量を10%、30%、50%と増加させた。これにより磁粉のたえるせん

断応力度は最大で約30%増加した。

(2) ワッシャーを混入した実験

平均粒径4 μ の磁粉にワッシャー(直径10mm, 内径5mm, 厚さ0.7mm, 質量0.3gr)を混入させ、その最大個数は15個であった。これにより磁粉のたえせん断応力度は約250%まで増加させることができた。

結論

これまでの磁粉単独の場合に比べてサイズの大きい磁性体を混入させることにより磁粉のたえせん断応力度をかなり大幅に増加させることができた。この効果はかなり大きく今後の実用性に期待できる。混入させる磁性体は他にも多く考えられるのでこれの今後の研究は効果が大きいと考えられる。

平成14年3月25日

〈委員構成〉

(氏名)	(摘要)
(勤務先)	
平井 一男	主査
崇城大学環境建設工学科	
岡林 隆峻	副査
長崎大学社会開発工学科	
石原 元	幹事
国土工営コンサルタント	
山尾 敏孝	
熊本大学環境システム工学科	
渡辺 浩	
熊本大学環境システム工学科	
水田 洋司	
九州産業大学土木工学科	
内谷 保	
鹿児島工業高等専門学校	
片山 拓朗	
崇城大学環境建設工学科	

■既設コンクリート道路橋の調査・診断法に関する研究分科会

〈目的〉

近年、既設橋梁に対して適切な維持・補修を行い、ライフサイクルコ

ストをできるだけ少なくすることが求められています。そのためには、現に供用されている構造物を様々な角度から調べ、その実態を把握することが重要な鍵となりますが、供用中の状態では通行規制や現場条件などの様々な制約を受け、的確に把握する方法を確立するには至っていないのが現状です。

本分科会では、御笠川河川改修工事に伴い架け替え事業が行われる国道202号線緑橋を対象に、新橋への交通切り替え後の旧橋に対して、載荷試験や非破壊試験を行うとともに、解体部材の破壊試験や解体後の観察により耐荷性能や非破壊診断の検証を行うことにより、同年代あるいは同形式の構造物の維持管理に役立つ貴重なデータを得ることを目的としております。

これらのデータ蓄積により今後の維持管理の時代における合理的な体制づくりに貢献できることが期待されます。

〈緑橋について〉

緑橋は、架設後40年を経過するとともに、5年前に下面増厚補強工が施工されたRC道路橋です。この種の補強がなされた道路橋の実態を詳細に検討把握した事例報告はこれまでにほとんどなく、将来の診断業務において補修補強がなされている橋梁が増加することを考慮すると、40年間供用された道路橋の実態ならびに補強工の評価および診断手法を確立するための基礎資料を収集することが可能であると思われます。

また、過去に建設省管轄の久留米大橋(福岡)や細田橋(宮崎)においても、KABSE分科会による調査が過去に実施されており、構造条件や環境条件が異なるそれらの橋の結果と照合した体系的な検討により、汎用性の高い有用な成果を得ることが期待できます。

〈活動状況〉

本分科会は、国道202号線緑橋に対して

- 1) 供用時の各種非破壊試験・AE試験および

応力頻度測定

- 2) 交通切り替え後の実橋載荷試験
 - 3) 解体桁の破壊試験
- 等の調査活動および解析を行うために、計6回の分科会を開催しました。各調査活動結果については、後日、講習会等の機会において公表予定です。以下に各会議の開催状況のみを示します。

第1回会議

日時：2001年1月20日13:00～16:00
場所：(株)構造技術センター福岡支社
出席者：19名
議題

1. 本分科会の活動方針について
2. 緑橋についての説明

第2回会議

日時：2001年1月27日14:00～17:30
場所：(株)構造技術センター福岡支社
出席者：20名
議題

各試験の実施計画(非破壊試験・応力頻度測定・AE試験・実橋載荷試験・解体桁破壊試験・材料試験)

第3回会議

日時：2001年4月14日13:00～17:00
場所：(株)構造技術センター福岡支社
出席者：9名
議題

各試験の詳細計画について(非破壊試験・実橋載荷試験・解体桁破壊試験・材料試験)

第4回会議

日時：2001年6月16日13:00～18:00
場所：(株)構造技術センター福岡支社
出席者：28名
議題

1. 解析WG活動計画
2. 実験結果報告(非破壊試験・応力頻度測定・実橋載荷試験)
3. 今後の試験予定について(解体桁破壊試験・材料試験)

第5回会議

日時：2001年8月25日10:00～15:00

場 所：(株)構造技術センター福岡支社

出席者：23名

議 題

1. 解体桁破壊試験について

第6回会議

日 時：2001年9月22日10:00～16:00

場 所：(株)構造技術センター福岡支社

出席者：17名

議 題

1. 解体桁破壊試験結果報告
2. 今後の解析計画に関して

〈委員構成〉

(氏名) (摘要)

(勤務先)

園田 佳巨 主査

九州大学大学院工学研究院

城 秀夫 副査

構造技術センター

牧角 龍憲 幹事

九州共立大学工学部

浅利 公博 幹事

西鉄シー・イー・コンサルタント

日野 伸一

九州大学大学院工学研究院

重石 光弘

熊本大学大学院環境システム工学科

横山 恵三

福岡市土木局道路建設部

内野 雅彦

日本道路公団九州支社

原田 徹

(財)道路保全技術センター九州支部

尾崎 忠晴

福岡県土木部

岸川 雄次

福岡県土木部

吉田 須直

オリエンタル建設(株)福岡支店

立石 英也

ショーボンド建設(株)九州支店

藤本 良雄

富士ビー・エス(株)福岡支店

権藤 健二

住友建設(株)九州支店

森 憲司

(株)コンステック福岡支店

舩添 淳一

計測検査(株)計測事業部

本石 博三

計測検査(株)計測事業部

内田 龍夫

ウチダ調査設計

福島 聡

麻生セメント(株)中央研究所

村田 孝治

新構造技術(株)九州支店

真崎 洋三

(株)構造技術センター福岡支社

早川 泰文

(株)長大福岡支社計画事業部

白石 隆俊

パシフィックコンサルタンツ(株)九州本社

愛敬 圭二

中央コンサルタンツ(株)福岡支店

金田 孝治

(株)福山コンサルタント本社事業部

高野 徳義

(株)オリエンタルコンサルタンツ九州支社

広岡 国夫

(株)建設技術研究所九州支社

山口順一郎

(株)構造技術センター福岡支社

劉 貴位

(株)構造技術センター福岡支社

□構造物の性能評価手法検討分科会

〈目 的〉

本研究分科会は、構造物の性能の定義および評価方法、耐用年数の合理的設定法、ライフサイクルコストリング等々に対して技術的な検討を加えることによって、鋼構造物、コンクリート構造物の分け隔てなく統一した考えのもとに、構造物の安全性、環境適合性、高機能化、長寿命化などを考慮可能なLife Cycle Engineering技術の確立を目指すことを目的とする。

〈活動状況〉

平成13年度は前年度に引き続き、見学会を含め8回の分科会を開催して活

動を行った。分科会の議事内容は以下のとおりである。

(1) 第1回分科会

平成13年4月10日(火)

(株)ビー・エス 九州支店

議題：

① 「構造物の性能評価研究」分科会のまとめ

② 「構造物の性能評価研究(Ⅰ)」分科会の発足と進め方の検討

(2) 第2回分科会

平成13年5月17日(木)

(株)ビー・エス 九州支店

議題：

① 当分科会のテーマ決定

② コンクリート標準示方書〔維持管理編〕の紹介

・第一部「維持管理」の紹介

・第二部「維持管理標準」の紹介

③ 芸予地震被害報告(平成13年3月24日に起こった芸予地震)

海田大橋・向洋大橋について、橋脚の支承部周辺の被害状況を説明

(3) 第3回分科会

平成13年6月22日(金)

(株)ビー・エス 九州支店

議題：

① 性能規定および性能評価に関する情報(道路橋技術基準の変革)の紹介

② 設計VEにおける技術性の評価の検討(その1)

橋梁設計VE審査における評価手法について解説

(4) 第4回分科会

平成13年8月8日(水)

オリエンタル建設(株)福岡支店

議題：

① 「橋～交代の事例」(最新の複合技術を導入した橋梁の動向)の話題提供

② 設計VEにおける技術性の評価の検討(その2)

・橋梁の要求性能の区分化

・橋梁の要求性能に対する評価要素のグループ化

(5) 第5回分科会

平成13年9月25日(火)

オリエンタル建設(株)福岡支店

議題：

① New Bridge Management Systems in Europe

デンマーク：アールボア大学
Prof. Palle Thoft Christensen
(クリステンセン教授)

② 設計VEにおける技術性の評価の検討(その3)

- ・設計VE評価手法に関するアンケート
- ・橋梁の要求性能として、6項目とする
- ・評価要素の選定(5~6項目の評価要素を列記)
- ・相対評価値の重み付けは5段階評価とする

(6) 第6回分科会

平成13年11月8日(木)
(株)ピー・エス 九州支店
議題：

① 設計VEにおける技術性の評価の検討(その4)

- ・設計VE評価手法に関するアンケート結果のまとめ
- ・設計VEの評価手法についてまとめる

1) 要求性能の区分

- ・ライフサイクルコスト・材料性能・構造性能・
- ・施工性能・使用性能・維持管理性能の6項目とする。

2) 評価要素の項目

- ・要求性能ごとに評価要素を3項目づつ区分けし、計18項目とする。

3) 相対評価値

- ・5段階評価(重み付け)とする

4) 評価技法

- ・要求性能ごとに評価要素を区分し、強制決定法により重み付けを行う。

5) 実施内容

- ・各評価の重み付け
各評価要素(18項目)について相対的評価(重み付け)を行う
- ・比較案に対する評価要素ごとの重み付け
各評価要素(18項目)ごとに、比較案の相対的評価(重み付

け)を行う。

6) 総合評価

各委員の評価結果を統計的に処理して、比較案に対しての技術的および経済的な評価を行い、総合評価をして、総合順位を決定する。

・設計VEの比較案の検討

熊本橋(仮称)を例にした設計VEの評価を行うにあたり、VEの設計条件およびVE比較の構造形式案(10案)の説明を頂き、4案に絞りこむ。

橋梁の設計条件を設定し、下部工のみ自由度を持たす。

4案について、二次選定資料作成のために、委員をグループ分けした。

1) 第A案：3径間連続非合成鋼桁(無塗装/RC床版)

2) 第B案：3径間鋼・コンクリート複合ラーメン鋼桁(無塗装)

3) 第C案：3径間波形鋼板ウェブPC連続桁

4) 第D案：4径間PC連結コンポ桁

(7) 見学会

平成13年12月21日~22日

沖縄県の各種橋梁

議題：沖縄県における橋梁の現状と設計VEを現地で検討する

(天女橋, 方生橋, 南風原高架橋, 平安座海中大橋, FRP歩道橋, 浜比嘉大橋, 伊計大橋) 参加者：11名

(8) 第7回分科会

平成14年2月8日

(株)ピー・エス 九州支店

議題：

① 熊本橋VE評価の検討(その1)

- ・第A案の橋梁形式と特徴の確認
- ・要求性能による評価要素の評価手法のリハーサル
- ・分科会のメンバー全員による第A案のVE評価の実施

② 「鋼橋の性能を考える」資料紹介

- ・性能照査型設計体系の概念
- ・鋼橋の性能(安全性・使用性・

社会環境適合性・耐震性・耐久性)

- ・耐久性を満足させる方策と課題(耐疲労性・耐腐食性)
- ・腐食が原因で取り替えられた鋼橋支点部の耐荷力

(9) まとめ

2002年3月に、性能規定化と耐久性向上を重視した、新しい「道路橋示方書・同解説」が刊行され、新しい概念に基づく設計手法が併記された。本分科会では、上述のように鋼およびコンクリート構造物を対象として、構造物の性能の定義および評価法、ライフサイクルコスト算定法等々に対して技術的な検討を継続して行ってきた。その具体例として、橋梁の設計VEを取り上げ、要求性能に対する評価要素を用いて、初期建設コスト、メンテナンスコストなどを考慮する「経済性」と技術的なアイデア、新工法などを考慮する「技術性」の両者に対して相対評価を実行することによってバランス良く取り入れる手法を考案し、性能評価・設計の手順に沿った検討を実施している。今後、さらに継続して細部の検討を行うことによって性能評価手法、性能設計を具現化していく予定である。

〈委員構成〉

(氏名) (摘要)

(勤務先)

宮本 文徳 主査

山口大学工学部知能情報システム工学科

戸塚 誠司 副査

熊本県土木部

中村 秀明 幹事

山口大学工学部知能情報システム工学科

三浦 芳雄 幹事

(株)横河ブリッジ橋梁本部

本石 博三 幹事

計測検査(株)新事業開発プロジェクト

有住 康則

琉球大学工学部環境建設工学科

今井富士夫

宮崎大学工学部土木環境工学科

梅崎 秀明

大日本コンサルタント(株)九州支社
江本 幸雄
福岡大学工学部土木工学科
大仁田朝生
オリエンタル建設(株)福岡支店
小高 知之
三菱重工業(株)広島製作所
幸左 賢二
九州工業大学工学部建設社会工学科
津崎 博美
新構造技術(株)九州支店
鶴田 浩章
九州大学大学院工学研究科建設システム工学専攻
左東 有次
(株)富士ビー・エス福岡支店
花輪 務
日本鉄塔工業(株)橋梁技術本部
平安山良和
(株)ビー・エス九州支店
牧角 龍憲
九州共立大学工学部土木工学科
松田 浩
長崎大学工学部構造工学科
松尾 一四
麻生セメント(株)中央研究所
山口 明伸
鹿児島大学工学部海洋土木工学科
山崎 竹博
九州工業大学工学部建設社会工学科

回建設マネジメント技術に関する研究分科会(継続)

〈目的〉

これからの土木事業は、社会が必要とするものを、いかに責任をもって、より良くより安く安全に造っていくかであるといえ、それを実現するには、責任と透明性を明確にするための手段と、企画から施工に至るまで一貫した立場から無駄を省き、臨機応変に優れた技術や技能を採用していく体制が不可欠であり、その仕組みを作り上げる基本となるのが“建設マネジメント；CM”である。

本研究分科会では、建設マネジメントについての情報収集や地方におけ

るCMのあり方についての議論を行うことを通じて、九州の地域事情に適した建設マネジメントの普及を図る一助となることを目的とする。

〈平成13年度の活動状況〉

平成13年度は、CM、PI、IT、LCCを主題にした4WGに分かれて活動し、より具体的な建設マネジメント技術について検討し、その中間成果を講習会を開催して報告した。

・第6回分科会

日時：平成13年7月23日(月)
場所：博多八重洲ビル11F会議室
出席者：34名

WG活動の作業方針、講習会計画について討議した後、各WGに分かれて個別の検討会を行った。

・第7回分科会

日時：平成12年12月25日(火)
場所：博多八重洲ビル11F会議室
出席者：29名

WGのCM班、PI班およびIT班の検討結果の報告ならびに講習会の実施計画について検討した。また、CM班から九州各県の地方公共団体に対するCMに関するアンケート、IT班から各県および民間企業におけるCALSに関するアンケートの集計報告がなされた。

・WG活動

①日時：平成13年8月17日(金)
場所：博多八重洲ビル11F会議室
出席者：16名(CM班)

話題提供：「国土交通省における最近の取り組み」国総研建設マネジメント研究官 藤本聡氏。各県市町村に対するCMについてのアンケート調査計画を協議。

②日時：平成13年9月20日(木)
場所：九州大学建設都市工学科会議室
出席者：8名(IT班)

各県および地場企業に対するCALSについてのアンケート調査計画を協議。

③日時：平成13年9月20日(木)
場所：博多八重洲ビル3F会議室
出席者：12名(CM班)

アンケート中間報告、講習会準備
④日時：平成13年10月15日(月)
場所：前田建設(株)九州支店会議室
出席者：6名(幹事会)

各WG活動の進捗状況の確認、講習会実施計画(外部講師など)の検討

⑤日時：平成13年10月31日(水)
場所：九州大学建設都市工学科会議室
出席者：8名(IT班)

アンケート中間報告、講習会準備

・講習会の開催(詳細は事業報告に)
日時：平成14年2月1日(金)

場所：都久志会館(福岡市)
テーマ：建設マネジメント技術の動向と九州における展開

参加者：178名

内容：各WGの活動報告、最近の九州における試行事例ならびに外来講師によるCMに関する最近の話題など

〈委員構成〉

(氏名)	(摘要)
(勤務先)	
牧角 龍憲	主査
九州共立大学	
福山 俊弘	副査
(株)福山コンサルタント	
広田 武聖	幹事
(株)建設技術研究所	
箴島 元	幹事
(株)協和コンサルタンツ	
中島 城二	幹事
(株)長大	
崎本 繁治	幹事
(株)オリエンタルコンサルタンツ	
永重 雅守	幹事
前田建設工業(株)	
豊福 俊泰	
九州産業大学工学部	
陶 佳宏	
九州大学大学院工学研究院	
碓崎 賢一	
九州工業大学情報工学科	
谷川 勇二	
国土交通省九州地方整備局	
杉本 正二	

福岡県土木部企画検査課
前田 秀人
佐賀県土木部技術管理課
野田 浩
長崎県土木部技術情報室
松尾 竜也
熊本県土木部土木技術管理室
帆足 利一
大分県土木建築部企画検査室
森 茂雄
宮崎県土木部技術検査課
福元 幸一
鹿児島県土木部技術管理課
當間 英男
沖縄県土木建築部技術管理室
仁部 誠二
(財)福岡県建設技術情報センター
樋口 憲治
(財)福岡県建設技術情報センター
松尾 芳郎
(財)佐賀県土木建築技術協会
古賀 義人
(財)長崎県建設技術研究センター
原口 哲幸
(財)長崎県建設技術研究センター
坂田 達哉
(財)熊本県建設技術センター
木谷 文弘
(財)大分県建設技術センター
矢野 透
(財)宮崎県建設技術推進機構
倉岡 春男
(財)鹿児島県建設技術センター
土谷 重勝
セントラルコンサルタント(株)
畠山 美久
第一復建(株)技術第一本部
吉村 紳
中央コンサルタンツ(株)
堀口 潔
(株)構造技術センター
藤村 豊
大福コンサルタント(株)
江口 清貴
(株)橋梁コンサルタント
中原 雄二
(株)総合エンジニアリング
河上 英二
(株)建設技術研究所

柴野 正一
(株)建設技術研究所
結城 勲
(株)福山コンサルタント
濱中 聡生
鹿島建設(株)九州支店
斎藤 裕一
新日本製鐵(株)九州支店
倉岡 豊
西松建設(株)九州支店
豊福 茂隆
(株)大林組九州支店
平井 健一
(株)松本組
池田 延良
大成建設(株)九州支店
左東 有次
(株)富士ビー・エス福岡支店
大津 俊英
(有)エリアス

会 務 報 告

平成14年度 分 科 会 活 動

区 分	研 究 分 科 会 名	主 査	副 査
継続 1	磁性材料を用いた構造減衰に関する研究分科会	平 井 一 男 (崇 城 大 学)	岡 林 隆 敏 (長 崎 大 学)
継続 2	土木遺産の補修・補強や維持管理技術に関する研究分科会	山 尾 敏 孝 (熊 本 大 学)	平 嶋 孝 (大 揮 環 境)
継続 3	長崎県における災害史に関する研究分科会	棚 橋 由 彦 (長 崎 大 学)	松 本 直 弥 (西 海 地 研)
継続 4	建設マネジメント技術に関する研究分科会	牧 角 龍 憲 (九 州 共 立 大 学)	福 山 俊 弘 (福 山 コ ン サ ル タ ン ト)
継続 5	鋼コンクリート合成桁の活用に関する研究分科会	今 井 富 士 夫 (宮 崎 大 学)	松 田 浩 (長 崎 大 学)
新規 1	九州山口地方における特殊トンネルの合理的建設研究分科会	中 川 浩 二 (山 口 大 学)	蔣 宇 静 (長 崎 大 学)
新規 2	九州における木橋の現状と技術に関する研究分科会	渡 辺 浩 (熊 本 大 学)	加 藤 雅 史 (九 州 東 海 大 学)
新規 3	建設材料における破壊力学とAEおよび健全性評価手法に関する研究分科会	重 石 光 弘 (熊 本 大 学)	鶴 田 浩 章 (九 州 大 学)
新規 4	既設コンクリート道路橋の調査・診断方法に関する研究分科会	園 田 佳 巨 (九 州 大 学)	城 秀 夫 (構 造 技 術 セ ン タ ー)
新規 5	構造物の性能評価手法検討分科会	宮 本 文 穂 (山 口 大 学)	戸 塚 誠 司 (熊 本 県)

平成13年度 決算報告

1. 【一般会計】

歳入総額 9,567,429 円
歳出総額 7,636,202 円
差引残高 1,931,227 円

(繰入)

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
前年度繰越金	1,841,147	1,841,147	0	
正会員(第1種)会費	1,320,000	1,313,000	△ 7,000	
正会員(第2種)会費	4,500,000	4,420,000	△ 80,000	
懇親会参加費	120,000	117,000	△ 3,000	
講習会参加費	1,600,000	1,862,017	262,017	
雑収入	18,853	14,265	△ 4,588	
計	9,400,000	9,567,429	167,429	

(繰出)

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考	
事業費	総会費	200,000	68,145	△ 131,855	
	懇親会費	250,000	219,219	△ 30,781	
	講演会費	150,000	56,640	△ 93,360	
	見学会費	150,000	0	△ 150,000	
	講習会費	1,500,000	1,446,008	△ 53,992	
	調査・研究活動費	2,440,000	1,234,118	△1,205,882	
	会報・会員名簿発行費	900,000	906,150	6,150	
	論文集発行費	900,000	941,049	41,049	
小 計	6,490,000	4,871,329	△1,618,671		
事務費	手数料	60,000	44,390	△ 15,610	
	通信費	400,000	344,278	△ 55,722	
	事務用品費	200,000	183,606	△ 16,394	
	印刷費	250,000	250,810	810	
	旅費・交通費	100,000	75,634	△ 24,366	
	会議費	650,000	635,878	△ 14,122	
	人件費	700,000	713,000	13,000	
	雑費	50,000	17,277	△ 32,723	
小 計	2,410,000	2,264,873	△ 145,127		
特別会計へ繰入れ	500,000	500,000	0		
小 計	500,000	500,000	0		
合 計	9,400,000	7,636,202	△1,763,798		

※差引残高については平成14年度へ繰り越し

$$9,567,429 - 7,636,202 = 1,931,227 \text{ 円}$$

2. 【特別会計】

歳入総額 2,585,014 円
歳出総額 0 円
差引残高 2,585,014 円

(繰入)

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
前年度繰越金	2,084,650	2,084,650	0	
一般会計からの繰入れ	0	500,000	500,000	
預金利子	350	364	14	
計	2,085,000	2,585,014	500,014	

(繰出)

(単位：円)

項 目	予 算 額	決 算 額	比 較	備 考
特別調査研究活動費	2,085,000	0	2,085,000	
予備費	0	0	0	
計	2,085,000	0	2,085,000	

※差引残高については平成14年度へ繰り越し

$$2,585,014 - 0 = 2,585,014 \text{ 円}$$

会 則 ・ 分 科 会 規 定



KABSE

KYUSHU ASSOCIATION FOR
BRIDGE AND STRUCTURAL
ENGINEERING

九州橋梁・構造工学研究会

九州橋梁・構造工学研究会会則

第 1 章 総 則

(名 称)

第1条 この会は、九州橋梁・構造工学研究会（以下、「本会」という）と称する。

(所 在 地)

第2条 本会は、事務局を福岡市内に置く。

第 2 章 目的および事業

(目 的)

第3条 本会は、土木構造全般に関する問題を会員の専門もしくは職場にとらわれず、自由な立場で討議し、諸調査・研究・開発に参加あるいは協力することにより、会員相互の技術知識の向上と親睦を図り、土木工学の発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、下記の事業を行う。

- (1) 土木構造全般に関する各種調査研究
- (2) 講演会、講習会、見学会の開催
- (3) 土木構造全般に関する試験・指導の受託および意見具申
- (4) 会報その他刊行物の発行
- (5) そのほか、本会の目的達成に必要な事業

第 3 章 会 員

(会員の種別)

第5条 本会の会員は、次の3種とする。

- (1) 正会員（第1種）：
本会の各種事業の主体となって活動する者。
- (2) 正会員（第2種）：
本会の目的および事業に賛同し、本会を援助する団体に属する本会に対する代表者。
- (3) 特別会員：
本会の活動を支持する者で、本会の事業遂行の必要上理事会において推薦、承認された者。

(正会員の入退会および義務)

第6条 正会員になるには、入会届を提出して会長の承認を経なければならない。

- 2 正会員は、第15条に定める会費を納めなければならない。
- 3 正会員で退会しようとする者は、前項の義務を完了した後、退会届を提出しなければならない。

第 4 章 役員、顧問および相談役

(役員の種類)

第7条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 1 名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2 名

(役員を選出)

第8条 理事および監事は、会員の中から総会において選出する。

- 2 会長および副会長は、理事の互選により選任する。
- 3 役員に欠員を生じたときは、前項の規定を準用して補欠を選任する。

(役員職務)

第9条 会員は本会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 理事は会長、副会長を補佐し、理事会において第13条に定める事項を審議する。
- 4 監事は本会の会計および事務を監査し、また理事会に出席して意見を述べることができる。ただし、表決に加わらない。

(役員任期)

第10条 役員任期は2年とする。ただし、再任することを妨げない。

- 2 第8条第3校により補選された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問および相談役)

第11条 本会に顧問および相談役をおくことができる。顧問および相談役は理事会の議を経て会長が委嘱する。

- 2 顧問および相談役は会長の諮問に応じ、また理事会に出席して意見を述べるができる。ただし、表決に加わらない。

第 5 章 総会および理事会

(総 会)

第12条 総会は毎年1回開催する。ただし、必要に応じて臨時総会を開催することができる。

- 2 総会は会長が召集して、その議長となる。
- 3 総会は次の事項を審議し、出席会員の過半数で決定する。可否同数のときは、議長が決する。

- (1) 事業報告
- (2) 収支決算および会計監査報告
- (3) 事業計画および収支予算
- (4) 会則の制定および改廃
- (5) 理事および監事の選出
- (6) その他、会長が必要と認めた会務運営に関する重要事項

(理 事 会)

第13条 理事会は会長が必要に応じて召集し、その議長となる。

- 2 理事会は、理事現在数の過半数をもって成立する。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示したものは、出席者とみなす。
- 3 理事会は次の事項を審議し、出席者の過半数で決定する。可否同数のときは議長が決する。

- (1) 総会提出議案

- (2) 総会より委任を受けた事項
(3) その他、会長が必要と認めた会務運営に関する重要事項

第 6 章 会 計

(経 費)

第14条 本会の経費は、会費、寄付金およびその他の収入をもって充てる。

(会 費)

第15条 会費は、会員の種別に応じて、次のとおりとする。

- (1) 正会員（第1種） 年額 3,000円
(2) 正会員（第2種） 年額 1口 30,000円

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

第 7 章 運営委員会および分科会

(運営委員会の設置および構成)

第17条 本会の会務を処理し事業を推進するため、運営委員会を置く。

- 2 運営委員会の委員長（以下「委員長」という）は、理事の中から会長が選任する。
3 運営委員会の委員は、会員の中から若干名を委員長が委嘱する。
4 委員長および委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(運営委員会の活動)

第18条 運営委員会は、必要に応じて委員長が召集する。

- 2 運営委員会は、理事会および総会に付議する事項の立案、第4条の事業の実行、その他会長が必要と認めた会務処理に当たるものとする。

(分科会)

第19条 運営委員会は、第4条の事業の実行のため、理事会の承認を経て分科会を置くことができる。

- 2 分科会の構成および活動等は、分科会規定に基づいて行う。

第 8 章 補 則

(会則の変更)

第20条 本会則の変更は、総会の議決による。

(規定の決定)

第21条 本会則に基づく規定は、理事会において決定する。

第 9 章 付 則

1. この会則は、昭和58年11月11日から施行する。

付 則

(昭和59年6月16日総会決議)

この変更会則は、昭和59年6月15日から施行する。

付 則

(昭和61年6月20日総会決議)

この変更会則は、昭和61年6月20日から施行する。

付 則

(平成10年6月19日総会決議)

この変更会則は、平成10年6月19日から施行する。

九州橋梁・構造工学研究会 分 科 会 規 定

(総 則)

第1条 この規定は、九州橋梁・構造工学研究会会則第19条に基づき、調査研究活動を行う分科会の基準について定める。

(設置または廃止)

第2条 分科会の設置にあたっては、その目的、事業、存続期間、必要経費、委員構成等について、運営委員会がとりまとめ、理事会において承認をうける。分科会は、その目的を達成したときに、理事会の承認を経て廃止する。

(構 成)

第3条 分科会の委員は、会員およびその目的に沿った学識経験者および関係者とする。

- 2 分科会には主査を置く、必要に応じて副主査および幹事等を置くことができる。主査は、複数の分科会の主査を兼ねることはできない。ただし、委員として加わることはできる。

(委 嘱)

第4条 主査は、理事会の承認を経て会長が委嘱する。また、委員は原則として、主査の推薦によって、運営委員長が委嘱する。

(任 期)

第5条 委員の任期は、その分科会の存続期間とする。

(開 催)

第6条 分科会は、主査が招集する。

(成果の報告)

第7条 分科会は、その事業の成果を得たときは、運営委員会がとりまとめ、理事会に報告し、原則として会員に公表するものとする。

(事業計画および予算)

第8条 主査は、毎年3月中旬に翌年度の事業計画および予算を、運営委員会を通じて理事会に提出しなければならない。

(経費等)

第9条 分科会の運営に必要な経費等は、分科会の予算の範囲内で支出する。

(事業報告)

第10条 主査は、毎年4月上旬までに、前年度の事業経過の概要を運営委員会を通じ理事会に報告しなければならない。

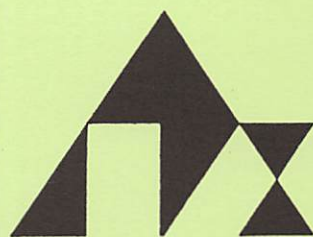
付 則

(施行期日)

- (1) この規定は、昭和59年6月15日から施行する。

会 員 名 簿

(平成14年7月末現在)



KABSE

KYUSHU ASSOCIATION FOR
BRIDGE AND STRUCTURAL
ENGINEERING

九州橋梁・構造工学研究会

九州橋梁・構造工学研究会役員名簿

平成14年7月1日現在（順不同）

会 長	松下 博通	九州大学大学院教授	顧 問	三池 亮次	崇城大学工学部教授
副 会 長	烏野 清	九州共立大学工学部長	顧 問	渡辺 明	九州共立大学学長
理 事(運営委員長)	牧角 龍憲	九州共立大学工学部教授	顧 問	堤 一	学校法人明倫館九州理工学院副学院長
理 事	久保 喜延	九州工業大学工学部長	顧 問	平井 一男	崇城大学工学部教授
理 事	後藤 恵之輔	長崎大学工学部教授	顧 問	太田 俊昭	九州大学大学院教授
理 事	荒牧 軍治	佐賀大学理工学部教授	顧 問	彦坂 熙	九州大学大学院教授
理 事	大塚 久哲	九州大学大学院教授	顧 問	崎元 達郎	熊本大学工学部長
理 事	大津 政康	熊本大学大学院教授	顧 問	江頭 和彦	国土交通省九州地方整備局長
理 事	熊谷 清	国土交通省九州地方整備局企画部長	顧 問	伊藤 容三	日本道路公団九州支社長
理 事	菊川 滋	福岡県土木部長	顧 問	中崎 光浩	山口県土木建築部長
理 事	藤井 利治	福岡市水道事業管理者	顧 問	川上 義幸	佐賀県土木部長
理 事	衣非 安章	九州電力(株) 土木部長	顧 問	中野 正則	長崎県土木部長
理 事	有吉 隆彌	西松建設(株)九州支店支店長	顧 問	今坂 堅三	熊本県土木部長
理 事	長野 紘一	(株)富士ピー・エス常務取締役	顧 問	田中 慎一郎	大分県土木建築部長
理 事	伊東 仁史	(社)日本橋梁建設協会専務理事	顧 問	岩切 武志	宮崎県土木部長
理 事	武富 一三	西日本技術開発(株)代表取締役社長	顧 問	直江 延明	鹿児島県土木部長
監 事	平田 光宏	鹿島建設(株)常務取締役九州支店長	顧 問	安慶名 正行	沖縄県土木建築部長
監 事	手島 佐利	オリエンタル建設(株)取締役福岡支店長	顧 問	五郎丸 辰彦	北九州市建設局長
			顧 問	井上 靖武	福岡北九州高速道路公社理事長
			相 談 役	森 将彦	国土交通省九州地方整備局道路部長
			相 談 役	山口 一弘	第一復建(株)代表取締役社長
			相 談 役	荒 卷 利雄	福岡建設専門学校校長

九州橋梁・構造工学研究会運営委員名簿

平成14年7月1日現在(順不同)

役員名	氏名	機関名・役職名	連絡先住所	電話番号 e-mail	F A X
運営委員長	大津政康	熊本大学教授 大学院自然科学研究科	〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1	096-342-3542 ohtsu@gpo.kumamoto-u.ac.jp	☎096-342-3507
副委員長 会報編集委員長	牧角龍憲	九州共立大学教授 工学部土木工学科	〒807-8585 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3233 makizumi@kyukyo-u.ac.jp	☎093-693-3225
副委員長 対外交流推進委員長	宮地宏吉	豊福設計(株) 技師長	〒810-0073 福岡市中央区舞鶴3-1-30	092-751-4204 k-miyachi@mvj.biglobe.ne.jp	☎092-712-4809
副委員長 事務局局長	万代幸二	福岡市港湾局 開発部 課長(交通計画担当)	〒812-8620 福岡市博多区石城町13-13	092-282-7192 mandai.k01@city.fukuoka.jp	☎092-282-3836
論文集編集委員長	永瀬英生	九州工業大学助教授 工学部建設社会工学科	〒804-8555 北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3111 nagase@civil.kyutech.ac.jp	☎093-884-3111
◇ 副委員長	廣田武聖	(株)建設技術研究所 九州支社技術第2部技師長	〒810-0004 福岡市中央区大名2-4-12	092-714-6226 t-hirota@ctie.co.jp	☎092-715-5200
◇ 委員	麻生稔彦	山口大学助教授 工学部社会建設工学科	〒755-8611 宇部市常盤台2-16-1	0836-85-9323 aso@jim2.civil.yamaguchi-u.ac.jp	☎0836-85-9301
◇ ◇	幸左賢二	九州工業大学助教授 工学部建設社会工学科	〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3123 kosa@civil.kyutech.ac.jp	☎093-884-3100
◇ ◇	高海克彦	山口大学助教授 工学部社会建設工学科	〒755-8611 宇部市常盤台2-16-1	0836-85-9348 takami@jim2.civil.yamaguchi-u.ac.jp	☎0836-85-9301
◇ ◇	松田浩	長崎大学助教授 工学部構造工学科	〒852-8521 長崎市文教町1-14	095-843-7204 matsuda@st.nagasaki-u.ac.jp	☎095-843-7204
会報編集委員長	牧角龍憲	(前掲)			
◇ 副委員長	園田佳巨	九州大学大学院助教授 工学研究院建設デザイン部門	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3261 sonoda@civil.doc.kyushu-u.ac.jp	☎092-642-3261
◇ 委員	町田建夫	新日本製鐵(株)九州支店 橋梁工事室長	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1	092-471-2072	☎092-471-2015
◇ ◇	今泉安雄	日本道路公団九州支社建設部 構造技術課課長代理	〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-2 エルガーラ	092-717-1770	☎092-717-1779
◇ ◇	内田浩平	九州電力(株)土木部 水力開発課	〒810-8720 福岡市中央区渡辺通2-1-82	092-761-3031	☎092-771-9541
◇ ◇	川崎巧	(株)長大 広島支店 技術部部长	〒730-0004 広島市中区東白鳥町14-15	082-227-5240 kawasaki-t@chodai.co.jp	☎082-223-6053
◇ ◇	山口浩平	九州大学大学院助手 工学研究院建設デザイン部門	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3309 kohei@doc.kyushu-u.ac.jp	☎092-642-3309
見学会委員長	藤本良雄	(株)富士ビーエス福岡支店 技術部長	〒810-0001 福岡市中央区天神2-14-2	092-721-3484 fujimoto@fujips.co.jp	☎092-714-3786
◇ 副委員長	池田延良	大成建設(株)九州支店 営業部次長	〒810-8511 福岡市中央区大手門1-1-7	092-771-1029 n-ikedata@ce.taisei.co.jp	☎092-771-1543

役員名	氏名	機関名・役職名	連絡先住所	電話番号 e-mail	F A X
◆ 委員	峰 嘉彦	(株)横河ブリッジ 福岡営業所 (生産情報サービス第二部長)	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-2-1 福岡センタービル	092-431-6187 (0722-41-1142) y.mine@yokogawa-bridge.co.jp	☎0722-44-4114
◆ ◆	村山 隆之	福岡北九州高速道路公社 技術管理課長	〒812-0055 福岡市東区東浜2-7-53	092-631-3291	☎092-631-3287
◆ ◆	中谷 真二	三菱重工業(株)九州支社 (本社維持補修技術センター)	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-2-1 福岡センタービル	092-441-3865 (03-3451-4980)	☎03-3451-4239
◆ ◆	安部 邦弘	オリエンタル建設(株) 福岡支店開発営業部長	〒810-0001 福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6934 Kunihiro.Abe@ORIKEN.co.jp	☎092-741-3499
事業部 講演会委員長	成 富 勝	九州共立大学教授 工学部地域環境システム工学科	〒807-8585 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3257 naritomi@kyukyuo-u.ac.jp	☎093-603-8186
◆ 副委員長	鶴田 浩章	九州大学大学院助教授 工学研究院建設デザイン部門	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3270 tsuruta@doc.kyushu-u.ac.jp	☎092-642-3270
◆ 委員	森田 千尋	長崎大学助教授 工学部構造工学科	〒852-8521 長崎市文教町1-14	095-843-7206 morita@st.nagasaki-u.ac.jp	☎095-843-7206
◆ ◆	林 淳	日本鉄道建設公団 九州新幹線建設局計画課長	〒812-0038 福岡市博多区祇園町2-1 博多祇園21ビル	092-283-9609 jun.hayashi@jrcc.go.jp	☎092-283-9592
事業部 講習会委員長	松田 泰治	九州大学大学院助教授 工学研究院建設デザイン部門	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3267 mazda@doc.kyushu-u.ac.jp	☎092-642-3306
◆ 副委員長	坂田 力	福岡大学助教授 工学部土木工学科	〒814-0133 福岡市城南区七隈8-19-1	092-871-6631 tsakata@fukuoka-u.ac.jp	
◆ 委員	若菜 啓孝	東和大学助教授 メディアセンター	〒815-0036 福岡市南区筑紫丘1-1-1	092-541-1527 wakana@tohwa-u.ac.jp	☎092-541-1527
◆ ◆	金田 尚司	(株)総合技術コンサルタント 技術第5部	〒810-0041 福岡市中央区大名2-10-29	092-712-0624 s-kaneda@sogo-eng.co.jp	☎092-751-8417
◆ ◆	岩上 憲一	(株)構造技術センター 技術第2部第3課課長	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-5-7	092-471-1655 n-iwagami@secj.co.jp	☎092-481-0318
研究連絡委員長	山尾 敏孝	熊本大学教授 工学部環境システム工学科	〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1	096-342-3533 tyamao@kumamoto-u.ac.jp	☎096-342-3507
◆ 副委員長	山田 益司	(株)オリエンタルコンサルタンツ 総合技術部	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-10-24	092-411-6209 yamada-ms@oriconsul.co.jp	☎092-411-3086
◆ 委員	橋本 晃	(株)千代田コンサルタント 技術部	〒810-0041 福岡市中央区大名1-15-33	092-752-1601 hasimoto@kyu.chiyoda-ec.co.jp	☎092-752-1631
◆ ◆	渡辺 浩	熊本大学助手 工学部環境システム工学科	〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1	096-342-3579 mag@kumamoto-u.ac.jp	☎096-342-3507
広報活性化委員長	日野 伸一	九州大学大学院助教授 工学研究院建設デザイン部門	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3264 hino@doc.kyushu-u.ac.jp	☎092-642-3264
◆ 副委員長	杣 辰雄	中央コンサルタンツ(株) 福岡支店設計部長	〒810-0062 福岡市中央区荒戸1-1-6	092-722-2541 soma@chuoh-c.co.jp	☎092-721-0893
◆ 委員	中村 聖三	長崎大学工学部助教授 社会開発工学科	〒852-8131 長崎市文教町1-14	095-843-6301 snakamura@civil.nagasaki-u.ac.jp	☎095-843-6301

役員名	氏名	機関名・役職名	連絡先住所	電話番号 e-mail	FAX
〃	〃	角 浩 美	国土交通省九州地方整備局 博多港湾空港工事事務所長	〒810-0074 福岡市中央区大手門2-5-33	092-752-8600 ㊟092-726-2860
〃	〃	小 森 建 治	鹿島建設(株)九州支店 営業(土木) 部部长	〒812-8513 福岡市博多区博多駅前3-12-10	092-481-8012 ㊟092-481-8024 komorike@kyushu.kajima.co.jp
〃	〃	松 野 栄 明	国土交通省九州地方整備局 企画部企画課長	〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2-10-7	092-471-6331 ㊟092-476-3462
〃	〃	津 高 守	九州旅客鉄道(株) 施設部企画課課長	〒812-8566 福岡市博多区博多駅前3-25-21	092-474-2421 ㊟092-474-2853 m.tsutaka@jrkyushu.co.jp
〃	〃	矢 葺 亘	九州大学大学院助手 工学研究院建設デザイン部門	〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3268 ㊟092-642-3268 yabuki@doc.kyushu-u.ac.jp
対外交渉推進委員長	宮 地 宏 吉	(前 掲)			
〃 副委員長	山 崎 竹 博	九州工業大学教授 工学部建設社会学科	〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3115 ㊟093-884-3100 yamatake@tobata.isc.kyutech.ac.jp	
〃 委 員	山 口 栄 輝	九州工業大学助教授 工学部建設社会学科	〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3110 ㊟093-884-3100 yamaguch@civil.kyutech.ac.jp	
〃	〃	加 藤 雅 史	九州東海大学教授 工学部都市工学科	〒862-8652 熊本市渡鹿9-1-1	096-386-2697 ㊟096-386-2759 096-386-2620 mkatou@ktmail.ktokai.ac.jp
〃	〃	重 石 光 弘	熊本大学工学部助教授 環境システム工学科	〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1	096-342-3534 shige@elasto.civil.kumamoto-u.ac.jp
〃	〃	柳 悦 孝	新日本製鐵(株)九州支店 建材室グループマネージャー	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1	092-471-2107 ㊟092-471-2118 N9607207@hq.nsc.nsc.co.jp
事 務 局 長	万 代 幸 二	(前 掲)			
〃 副 局 長	川 原 宏 幸	福岡北九州高速道路公社 福岡事務所事業調整課長	〒812-0055 福岡市東区東浜2-7-53	092-631-0134 ㊟092-632-5591	
〃 委 員	案 浦 徳 治	福岡市水道局浄水部 水管理課長	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-28-15	092-483-3171 ㊟092-482-3150 annoura.t01@city.fukuoka.jp	
〃	〃	宮 本 章 信	福岡市交通局建設部 建設推進課	〒810-0041 福岡市中央区大名2-5-31	092-732-4158 ㊟092-724-7545 miyamoto.a02@city.fukuoka.jp
〃	〃	西 昭 洋	福岡市港湾局建設部 工務課	〒812-8620 福岡市博多区石城町13-13	092-282-7193(F)092-291-3186 nishi.a02@city.fukuoka.jp
〃	〃	佐 藤 克 徳	第一復建(株) 構造部	〒812-0016 福岡市博多区博多駅前3-5-28	092-431-9171 ㊟092-431-0725 kt_satou@dfk.co.jp
	小 金 丸 卓 哉	〃	〃	t_koganemaru@dfk.co.,jp	
	堤 宏 美	事務局員	〒812-0053 福岡市東区箱崎6-15-34 福岡建設専門学校内	092-641-1181 ㊟092-641-1181 kabse@onyx.dti.ne.jp	
運営協力委員	有 住 康 則	琉球大学助教授 環境建設工学科	〒903-0213 沖縄県西原町字千原1	098-895-8664 ㊟098-895-6434 b519895@tec.u-ryukyuu.ac.jp	

役員名	氏名	機関名・役職名	連絡先住所	電話番号 e-mail	F A X
◇	今井 富士夫	宮崎大学教授 工学部土木工学科	〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-2811 ☎0985-58-2876 imai@civil.miyazaki-u.ac.jp	
◇	園田 敏矢	大分工業高等専門学校教授 土木工学科	〒870-0152 大分市大字牧1666	097-552-7623 ☎097-552-7623 sonoda@oita-ct.ac.jp	
◇	内谷 保	鹿児島工業高等専門学校教授 土木工学科	〒899-5102 鹿児島県始良郡隼人町真孝1460-1	0955-42-9115 ☎0995-42-9126 uchitani@kagoshima-ct.ac.jp	
	井嶋 克志	佐賀大学教授 理工学部都市工学科	〒840-8502 佐賀市本庄町1	0952-28-8579 ☎0952-28-8190	

正会員（第1種）

	氏名	勤務先	〒	住所	電話番号	FAX	個人コード
ア	藍澤 義隆	九州ヒューム(株)	872-0015	宇佐市大字松崎2400	0978-38-2151	0978-38-3000	1010
	愛敬 圭二	中央コンサルタンツ(株)	810-0062	福岡市中央区荒戸1-1-6	092-722-2541	092-721-0893	1020
	青柳 大陸	(株)総合技術コンサルタンツ福岡支店	810-0041	福岡市中央区大名2-10-29	092-712-0624	092-751-8417	1035
	青柳 正文	ショ-ボンド建設(株)九州支店	812-0014	福岡市博多区比恵町9-26	092-451-4385	092-451-4390	1040
	赤座 主佳	(株)総合技術コンサルタンツ福岡事務所	810-0041	福岡市中央区大名2-10-29	092-712-0624	092-751-8417	1045
	明石 光宏	(株)エム・ケー・コンサルタンツ	816-0082	福岡市博多区麦野6-14-19	092-573-2777	092-573-9042	1050
	秋吉 卓	熊本大学工学部環境システム工学科	860-0862	熊本市黒髪2-39-1	096-342-3538	096-342-3507	1070
	麻生 稔彦	山口大学工学部社会建設工学科	755-0031	宇部市常盤台2-16-1	0836-85-9323	0836-85-9301	1100
	阿田 芳久	オリエンタル建設(株)本社 技術部	102-0093	東京都千代田区平河町2-1-1	03-3261-1176	03-3261-1139	1110
	足立 俊一	(株)建設技術研究所 中国支社	730-0013	広島市中区八丁堀2-31	082-227-2995	082-223-0014	1120
	安部 邦弘	オリエンタル建設(株)福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3499	1130
	阿部 利行	(株)建設技術コンサルタンツ福岡事務所	813-0043	福岡市東区名島5-4-8	092-671-2451	092-671-2451	1140
	荒牧 軍治	佐賀大学理工学部都市工学科	849-0000	佐賀市本庄町1	0952-28-8688	0952-28-8699	1200
	荒巻 真二	九州共立大学工学部土木工学科	807-0867	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8			1210
	有角 明	(株)長大 福岡支店	812-0013	福岡市博多区博多駅東2-13-34	092-472-3952	092-413-6630	1220
	有住 康則	琉球大学工学部環境建設工学科	903-0129	沖縄県中頭郡西原町字千原1	098-895-8664	098-895-8677	1230
	有村 実弘		890-0056	鹿児島市下荒田3-10-5	099-258-1522	099-258-1522	1240
	案浦 徳治	福岡市水道局 給水部 水管理課	812-0011	福岡市博多区博多駅前1-28-15	092-483-3171	092-482-3150	1270
	安部 政一	オリエンタル建設(株)福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3651	1280
イ	生田 泰清		815-0083	福岡市南区高宮2-11-232	092-521-2814		1300
	池田 昭弥	(株)オリエンタルコンサルタンツ九州支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-10-24	092-411-6209		1310
	池田 輝次	三菱重工工事(株)広島支社	730-0837	広島市中区江波沖町5-1	082-292-1111		1320
	池田 延良	大成建設(株)九州支店営業部	810-0074	福岡市中央区大手門1-1-7	092-771-1029	092-771-1543	1330
	池田 肇		240-0001	横浜市保土ヶ谷区川辺町3-1	045-337-3180		1340
	池田 義寛	(株)技術開発コンサルタンツ	810-0001	福岡市中央区天神1-2-4	092-712-2518		1350
	石井 一志	(株)柏木エンジニア	810-0021	福岡市中央区今泉1-20-22	092-724-2131		1370
	石川 信隆	防衛大学校土木工学科	239-0811	横須賀市走水1-10-20	0468-41-3810		1380
	石田 毅	山口大学工学部社会建設工学科	755-0031	宇部市常盤台2-16-1	0836-85-9338	0836-85-9301	1390
	石橋 治	第一復建(株)構造部	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-5-28	092-431-9171	092-431-0725	1400
	井嶋 克志	佐賀大学理工学部都市工学科	849-0000	佐賀市本庄町1	0952-28-8579	0952-28-8190	1420
	一宮 一夫	大分工業高等専門学校土木工学科	870-0152	大分市大字牧1666	097-552-7664	097-552-7664	1455
	出光 隆	九州工業大学工学部建設社会工学科	804-0015	北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3114	093-884-3100	1460
	犬束 洋志	長崎市助役	850-0031	長崎市桜町2-22	0958-25-5151	0958-29-1220	1480
	井上 高志	福岡県五ヶ山ダム建設事務所工務課	811-1224	筑紫郡那珂川町大字安德702-1	092-953-0853	092-954-2572	1485
	井上 哲典	佐賀県佐賀土木事務所	840-0854	佐賀市八戸2-2-67	0952-24-4345	0952-22-6589	1500
	井上 浩	(株)安部工業所 技術本部技術部	500-8357	岐阜市六条大溝3-13-3	058-271-3041	058-272-7730	1510
	今井 博昭	(株)プロテック	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-7423	092-761-7472	1530
	今井 富士夫	宮崎大学工学部土木環境工学科	889-2155	宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-7324	0985-58-1673	1540
	今泉 安雄	日本道路公団九州支部建設部構造技術課	810-0001	福岡市中央区天神1-4-2	092-717-1770	092-717-1779	1550
	今門 益雄	パシフィックコンサルタンツ(株)九州本社	819-0004	福岡市西区姪浜町33-1	092-885-5011	092-885-5004	1560
	今長谷秀亮		819-0005	福岡市西区内浜2-13-2-1	0905480-9702		1565
	入江 達雄	(株)建設技術研究所 福岡支社	810-0041	福岡市中央区大名2-4-12	092-714-6226	092-715-5200	1570

氏名	勤務先	〒	住所	電話番号	FAX	個人コード
岩上 憲一	(株)構造技術センター 福岡支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-5-7	092-471-1655	092-481-0318	1580
岩崎 憲彰	福岡市下水道局河川部	810-0001	福岡市中央区天神1-8-1	092-711-4513	092-733-5533	1590
岩下健太郎	中央コンサルタンツ(株)	810-0062	福岡市中央区荒戸1-1-6	092-722-2541	092-721-0893	1595
岩下 智彦	(株)構造技研 九州支社	810-0022	福岡市中央区薬院1-5-11	092-713-8156	092-713-6707	1600
岩田 隆行	西日本コンサルタント(株)	879-7881	大分市大字奥田646-1	097-543-1818	097-543-8667	1610
岩坪 要	八代工業高等専門学校土木建築工学科	866-0074	八代市平山新町2627	0965-53-1339	0965-53-1349	1620
ゲンカテマナ・カシタ	鹿児島大学工学部海洋土木工学科	890-0065	鹿児島市郡元1-21-40	099-285-8489	099-285-8489	1640
上杉 真平	崇城大学工学部環境建設工学科	860-0082	熊本市池田4-22-1	096-326-3111	096-326-3000	1650
植田 定	国土交通省九州地方整備局福岡国道工事事務所	813-0043	福岡市東区名島3-24-10	092-681-4731	092-682-7764	1655
上野 裕次	(株)千代田コンサルタント九州支店	810-0041	福岡市中央区大名1-15-33	092-752-1601	092-752-1631	1660
ウ 内谷 保	鹿児島工業高等専門学校土木工学科	899-5102	鹿児島県始良郡隼人町真孝1460-1	0995-42-9115	0995-42-9115	1670
内田 泰	第一復建(株)構造部	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-5-28	092-431-9171	092-431-0725	1690
内田 勝士	梅林建設(株) 福岡支店	810-0041	福岡市中央区大名1-4-1	092-712-9111		1700
内田 昌勝	太平洋セメント(株)中央研究所	285-0802	千葉県佐倉市大作2-4-2	043-498-3904	043-498-3821	1705
烏野 清	九州共立大学工学部土木工学科	807-0867	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3226	093-693-3225	1710
梅崎 秀明	大日本コンサルタント(株)九州支社	812-0013	福岡市博多区博多駅東2-5-19	092-441-0433	092-482-4032	1720
浦 憲治		833-0005	筑後市長浜271	0942-54-0084	0942-54-0128	1725
瓜生喜久雄	清水建設(株) 土木本部	105-0023	東京都港区芝浦1-2-3	03-5441-0610		1730
永徳 明彦	第一復建(株)構造部	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-5-28	092-431-9171	092-431-0725	1740
江草 拓	三菱重工工事(株)	730-0837	広島市中区江波沖町5-1	082-292-1111	082-295-0711	1750
工 江崎 守	(株)安部工業所 福岡支店	812-0013	福岡市博多区博多駅東1-12-6	092-441-5481	092-441-5516	1760
枝元 宏彰	(株)国土開発コンサルタント技術本部	880-0015	宮崎市大工3-155	0985-24-3332	0985-27-0751	1770
江本 幸雄	福岡大学工学部土木工学科	814-0133	福岡市城南区七隈8-19-1	092-871-6631	092-864-8901	1780
大江 豊	(株)構造技術センター 福岡支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-5-7	092-471-1655	092-481-0318	1790
太田 俊昭	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3263	092-642-3306	1800
オ 大谷 順	熊本大学工学部環境システム工学科	860-0862	熊本市黒髪2-39-1	096-342-3535	096-342-3535	1810
大津 政康	熊本大学大学院	860-0862	熊本市黒髪2-39-1	096-342-3542	096-342-3507	1820
大塚 久哲	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3266	092-642-3266	1830
大仁田 朝生	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6934	092-741-3499	1845
大野 彰一	上田建設(株)	797-1503	愛媛県喜多郡肱川町宇和川2995-1	0893-34-2011	0893-34-2348	1850
大野 壽夫	西日本コンサルタント(株)	879-7881	大分市大字奥田646-1	097-543-1818	097-543-8667	1860
大村 啓一	大成建設(株) 関西支店	542-0081	大阪市中央区南船場1-14-10	06-6265-4601	06-6265-4573	1870
大屋 誠	松江工業高等専門学校土木工学科	690-0865	松江市西生馬町14-4	0852-36-5268	0852-36-5268	1880
岡林 隆敏	長崎大学工学部社会開発工学科	852-8131	長崎市文教町1-14	0958-47-1111	0958-48-3624	1890
岡村 正紀	(財)九州環境管理協会分析科学部	813-0004	福岡市東区松香台1-10-1	092-662-0410		1900
緒方 滋	住友建設(株) 九州支店	810-0075	福岡市中央区港1-3-1	092-761-1443	092-761-6617	1910
緒方 隆哉	福岡市交通局建設部建設設計課	810-0041	福岡市中央区大名2-5-31	092-732-4205	092-724-7545	1920
緒方 秀行	(株)構造技術センター 福岡支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-5-7	092-471-1655	092-471-4099	1925
小川 皓	オリエンタル建設(株)本社工務部	102-0093	東京都千代田区平河町2-1-1	03-3261-1175	03-3234-1949	1930
小郷 政弘	(有)構造技術研究所	890-0032	鹿児島市西陵5-10-3	099-282-7133	099-282-7415	1950
小篠 康德	ピーシー橋梁(株) 九州支店	810-0011	福岡市中央区高砂1-11-3	092-523-4461	092-523-4653	1955
乙藤 憲一	(株)日本構造橋梁研究所	107-0062	東京都港区南青山5-12-4	03-3400-9101	03-3400-8944	1960

氏名	勤務先	〒	住所	電話番号	FAX	個人コード
小野準一郎	西日本コンサルタント(株)	879-7881	大分市大字奥田646-1	097-543-1818	097-543-8667	1970
小野 秀雄	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6934	092-741-3499	1975
尾畑 成昭	(株)西日本土木技術	812-0008	福岡市博多区東光2-8-17	092-474-5175	092-411-5564	1980
帯屋 洋之	佐賀大学理工学部都市工学科	849-0000	佐賀市本庄町1	0952-28-8581		1990
小山 保郎	第一復建(株)構造部	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-5-28	092-431-0724	092-431-0725	2005
折口 俊雄	(株)横河メンテック 大阪支店	550-0005	大阪市西区西本町1-3-15	06-536-2061	06-536-5371	2010
織戸鐵太郎	オリエンタル建設(株)	102-0093	東京都千代田区平河町2-1-1	03-3261-1173		2020
親泊 宏	(有)ホープ設計技術部	902-0064	沖縄県那覇市寄宮3-3-5	098-836-7181	098-836-7183	2025
隠塚功一郎	(株)ビー・エス 九州支店	810-0801	福岡市博多区中洲5-6-20	092-291-2612	092-282-1768	2029
力 甲斐 栄一		810-0022	福岡市中央区薬院4-2-28-607	092-523-5318		2030
甲斐 一夫	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3499	2031
春日 昭夫	住友建設(株) PC設計部	160-0007	東京都新宿区荒木町13-4	03-3225-5136	03-3353-6656	2050
片山英一郎		815-0043	福岡市南区和田4-4-17	092-562-5884	092-562-5884	2059
片山 拓朗	崇城大学工学部環境建設工学科	860-0082	熊本市池田4-22-1	096-326-3111	096-326-3000	2060
勝野 寿男		231-0012	横浜市中区相生町3-63	045-228-3122	045-663-9095	2070
加藤九州男	九州工業大学工学部建設社会工学科	804-0015	北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3121	093-884-3100	2080
加藤 雅史	九州東海大学工学部都市工学科	862-0970	熊本市渡鹿9-1-1	096-386-2697	096-386-2759	2090
金尾 稔	九州旅客鉄道(株)施設部保線課	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-25-21	092-474-2449		2100
鹿庭 和史	(株)中部コンサルタント	761-0433	高松市十川西町91-2	087-848-1713	087-848-1713	2110
金子 憲治	福岡市土木局宮崎連続立体開発事務所	812-0061	福岡市東区宮松2-15-22	092-632-4797		2120
金子 鉄男	横河工事(株)	170-0001	東京都豊島区西巣鴨4-14-5	03-3576-5914	03-3576-5941	2130
金田 尚司	(株)総合技術コンサルタント福岡支店	810-0041	福岡市中央区大名2-10-29	092-712-0624	092-715-8279	2135
禿 和英	(株)建設技術研究所 九州支社	810-0041	福岡市中央区大名2-4-12	092-714-6226	092-715-5200	2140
上尾 嗣一	北九州市建設局道路部	803-0813	北九州市小倉北区城内1-1	093-582-2277	093-582-2792	2150
鳥山 郁男	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3499	2170
川崎 巧	(株)長 大 福岡支社	812-0013	福岡市博多区博多駅東2-13-34	092-472-3935	092-472-4039	2190
川神 雅秀	大日本コンサルタント(株)	550-0014	大阪市西区北堀江1-22-19	06-541-5601	06-541-5659	2200
川口 光雄	(株)奥村組 技術本部環境プロジェクト部	108-0014	東京都港区芝5-6-1	03-5427-8485	03-5427-8104	2210
川路 哲哉	(株)衆参	812-0012	福岡市博多区博多駅中央街7-2	092-412-7053	092-412-7054	2220
川副 嘉久	東和大学工学部建設工学科	815-0036	福岡市南区筑紫ヶ丘1-1-1	092-541-1511		2230
河野 健二	鹿児島大学工学部海洋土木工学科	890-0065	鹿児島市郡元1-21-40	0992-54-7141		2240
川原社一郎	オイレス工業(株)支店営業開発部	550-0011	大阪市西区阿波座1-3-15	06-6534-4521	06-6534-4701	2248
川原 宏幸	福岡北九州高速道路公社福岡事務所	812-0055	福岡市東区東浜2-7-53	092-631-0134	092-632-5591	2250
キ 北村 良介	鹿児島大学工学部海洋土木工学科	890-0065	鹿児島市郡元1-21-40	099-285-8473	099-258-1738	2280
木原 憲朗	佐賀県土木部企画指導課	840-0041	佐賀市内1-1-59	0952-24-2111	0952-25-7317	2290
木村 吉郎	九州工業大学工学部建設社会工学科	804-0015	北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3466	093-884-3100	2295
木元 秀満	(財)大分県建設技術センター	870-0905	大分市向原西1-3-33	097-552-3255	097-527-3079	2300
清原 秀紀	(株)構造技術センター 福岡支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-5-7	092-471-1655	092-481-0318	2320
ク 久家 悟	福岡市都市整備局伊都区画整理事務所	819-0167	福岡市西区今宿1-1-28	092-807-2698		2330
日下部 岩正	(株)構造技術センター 福岡支社	816-0096	福岡市博多区東光寺1-15-33	092-471-1655	092-481-0318	2340
草野 光司	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931		2350
久保 謙介	アジアプランニング(株)地域環境部	862-0970	熊本市渡鹿7-15-27-101	096-372-6440	096-363-7301	2365

氏名	勤務先	〒	住所	電話番号	FAX	個人コード
久保 喜延	九州工業大学工学部建設社会工学科	804-0015	北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3109	093-884-3100	2370
久保田展隆	中央コンサルタンツ(株)設計部1課	810-0062	福岡市中央区荒戸1-1-6	092-722-2541	092-721-0893	2375
熊谷 紳一郎	住友建設(株) 土木部設計第2課	160-0007	東京都新宿区荒木町13-4	03-3353-5111		2380
熊本 清一	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6933	092-741-3399	2390
久米 司	(株)富士ビー・エス	810-0073	福岡市中央区舞鶴2-2-11	092-721-3484	092-714-3786	2400
倉岡 豊	西松建設(株) 九州支店	810-0023	福岡市中央区警固2-17-30	092-771-3124		2410
倉成 裕之	(株)プロテック 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-7423	092-761-7472	2420
倉林 清	戸田建設(株) 九州支店土木部	810-0012	福岡市中央区白金2-13-12	092-525-0355	092-525-0369	2425
栗原 通	(株)富士ビー・エス 広島支店	730-0037	広島市中区中町8-12	082-247-9733	082-247-8216	2430
久留島卓朗	(株)建設技術研究所 福岡支社	810-0041	福岡市中央区大名2-4-12	092-714-6226	092-715-5200	2435
黒木 健実	福岡大学工学部土木工学科	814-0133	福岡市城南区七隈8-19-1	092-871-6631		2450
黒木 均	(株)ニッター	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-21-4	092-475-0207	092-472-9448	2460
黒木 勇治	(株)オリエンタルコンサルタンツ九州支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-10-24	092-411-6209		2470
黒田 一郎	防衛庁防衛大学学校	239-0811	横須賀市走水1-10-20			2480
郡司掛 芳海	(株)奥村組 九州支店	805-0017	北九州市八幡東区山王2-19-1	093-671-3131	093-661-1543	2490
コ 小出 博		244-0843	横浜市栄区長尾台471	045-853-8535	045-853-8539	2495
幸左 賢二	九州工業大学工学部建設社会工学科	804-0015	北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3123	093-884-3123	2505
上月 裕	熊本県土木部都市計画課	862-0950	熊本市水前寺6-18-1	096-383-1461	096-382-5911	2510
郡山 貢一	九州電力(株)土木部	810-0004	福岡市中央区渡辺通2-1-82	092-761-3031	092-771-9541	2515
小金丸卓哉	第一復建(株)構造部	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-5-28	092-431-9171	092-431-0725	2520
古賀 文俊		810-0004	福岡市中央区渡辺通2-4-8	092-771-0831	092-735-4377	2525
輿石 正巳	清水建設(株)	176-0000	東京都練馬区開町北5-6-17B-602	03-5441-0598		2530
児島 剛	オリエンタル建設(株)鹿児島営業所	892-0828	鹿児島市金生町6-13	099-225-6746	099-225-6747	2540
小玉 敬吾	(株)総合技術コンサルタント福岡事務所	810-0041	福岡市中央区大名2-10-29	092-712-0624		2550
児玉 伸彦	住友建設(株)大分営業所	870-0023	大分市長浜町3-16-3	097-537-8580	097-537-8587	2555
小西 范男	鹿島建設(株)	814-0103	福岡市城南区鳥飼4-8-1-601	092-841-3818		2570
小西 保則		811-0201	福岡市東区三苦3-25-13	092-607-8726		2580
小沼恵太郎	九州大学大学院工学府建設システム工学専攻	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-641-3131	092-642-3715	2590
小林 一郎	熊本大学工学部環境システム工学科	860-0862	熊本市黒髪2-39-1	096-342-3536	096-342-3507	2600
古林 久能	(株)オリエンタルコンサルタンツ九州支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-10-24	092-411-6209		2610
小林 康人	(株)ビー・エス 九州支店	810-0801	福岡市博多区中洲5-6-20	092-271-3210	092-282-1768	2620
小深田信昭	オリエンタル建設(株) 東京支店	164-0012	東京都中野区本町1-32-2	03-5350-6410	03-5350-6421	2630
小嶺 啓蔵	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3944	2640
小柳 賢祐	パシフィックコンサルタンツ(株)九州支社	819-0004	福岡市西区姪浜町33-1	092-885-5011		2660
合馬 幹人	パシフィックコンサルタンツ(株)	819-0004	福岡市西区姪浜33-1	092-885-5011		2670
後藤恵之輔	長崎大学工学部社会開発工学科	852-8131	長崎市文教町1-14	0958-47-1111		2680
後藤 茂夫		812-0025	福岡市博多区店屋町1-31	092-271-1888	092-271-1902	2690
後藤 司	九州旅客鉄道(株)施設部 工事課	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-25-21	092-474-2462	092-474-2751	2700
五味 秀明	電気化学工業(株)特殊混和材事業部	100-0006	東京都千代田区有楽町1-4-1	03-3507-5365	03-3570-5355	2710
サ 佐伯 信昭	オリエンタル建設(株)	530-0012	大阪市北区芝田2-6-23	06-6372-0101	06-6372-0309	2730
境 吉彦	鶴島・住友・富士ビー・エス企業体建設大橋上級I/V工務事務所	952-0605	佐渡郡小木町小木86-13	0259-81-4800	0259-81-4803	2740
阪上 昌夫	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931		2750

氏名	勤務先	〒	住所	電話番号	FAX	個人コード
坂口 修	三井建設(株)九州支店	810-0074	福岡市中央区大手門1-1-12	092-739-2745	092-739-2750	2760
坂口 和雄	(株)総合技術コンサルタント福岡事務所	810-0041	福岡市中央区大名2-10-29	092-712-0624		2770
坂下 善和	(株)衆参	812-0012	福岡市博多区博多駅中央街7-2	092-412-7053	092-412-7054	2780
坂尻 和隆	福岡市土木局道路設計部	810-0001	福岡市中央区天神1-8-1	092-733-5504	092-733-5591	2781
坂田 隆博	(株)建設技術研究所大阪支社	540-0008	大阪市中央区大手前1-2-15	06-6944-7849	06-6944-7892	2790
坂田 力	福岡大学工学部土木工学科	814-0133	福岡市城南区七隈8-19-1	092-871-6631		2800
坂田 康德	九州東海大学工学部都市工学科	862-0970	熊本市渡鹿9-1-1	096-386-2704	096-386-2759	2810
坂手 道明	(株)コンサルタンツ大地	733-0812	広島市西区己斐本町2-20-16	082-273-1471	082-273-1473	2820
佐川 康貴	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3271	092-642-3271	2825
崎野 健治	九州大学大学院人間環境学研究院空間システム部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3327	092-642-4111	2830
崎本 繁治	(株)オリエンタルコンサルタンツ九州支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-10-24	092-411-6209	092-411-3086	2840
崎元 達郎	熊本大学工学部環境システム工学科	860-0862	熊本市黒髪2-39-1	096-342-3532	096-342-3532	2850
佐多 和仁	オリエンタル建設(株)福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3499	2860
佐竹 正行	(株)構造技術センター福岡支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-5-7	092-471-1655	092-481-0318	2870
佐竹 芳郎	(社)九州建設弘済会	812-0013	福岡市博多区博多駅東2-5-19	092-481-3781	092-481-3785	2880
左東 有次		810-0073	福岡市中央区舞鶴2-2-11	092-721-3484	092-714-3786	2885
貞升 孝昭	パシフィックコンサルタンツ(株)九州本社	819-0004	福岡市西区姪浜町33-1	092-885-5008	092-885-5004	2890
佐藤 進	(株)福山コンサルタント	812-0013	福岡市博多区博多駅東3-6-18	092-471-6211		2900
佐藤 克徳	第一復建(株)構造部	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-5-28	092-431-9171	092-431-0725	2910
佐野 淳一	オリエンタル建設(株)福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6932	092-741-3399	2915
猿渡 隆史	北九州市建設局道路部街路課	803-0813	北九州市小倉北区内1-1	093-582-2457	093-582-2792	2920
財津 公明	(株)さとうベネック新規事業本部	870-0044	大分市舞鶴町1-7-1	097-537-1015	097-533-9135	2930
シ 塩田 良一	(株)日本構造橋梁研究所	225-0021	横浜市青葉区すすき野2-3-10-309	03-3400-9101	03-3400-0923	2940
重石 光弘	熊本大学工学部環境システム工学科	860-0862	熊本市黒髪2-39-1	096-342-3534	096-342-3507	2950
志道 昭郎	(株)ピー・エス九州支店	810-0801	福岡市博多区中洲5-6-20	092-291-2612	092-282-1768	2965
篠原 輝之	新構造技術株式会社技術本部	136-0071	東京都江東区亀戸1-42-20	03-5626-5811	03-5626-5822	2966
清水 洋二	(株)橋梁コンサルタント福岡支社	812-0016	福岡市博多区博多駅南1-6-22	092-461-2011	092-461-2049	2967
嶋田 紀昭	(株)建設技術研究所福岡支社	810-0041	福岡市中央区大名2-4-12	092-714-6226	092-715-5200	2968
下川 明		815-0031	福岡市南区清水4-3-1	092-552-1733	092-552-1719	2970
下田耕一郎	鉄建建設(株)九州支店	810-0062	福岡市中央区荒戸2-1-5	092-736-5117	092-736-5132	2980
白石 隆俊	パシフィックコンサルタンツ(株)	819-0004	福岡市西区姪浜町33-1	092-885-5011	092-885-5004	3010
白木 渡	香川大学工学部信頼性情報システム工学科	761-0301	高松市林町2217-20	087-864-2243	087-864-2243	3020
鐘 廣喜	日進コンサルタント(株)設計部	871-0025	大分県中津市大字万田602-2	0979-24-5436	0979-22-3448	3025
城 秀夫	(株)構造技術センター福岡支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-5-7	092-471-1655	092-481-0318	3030
城野 和夫	(株)橋梁コンサルタント福岡支社	812-0016	福岡市博多区博多駅南1-6-22	092-461-2011	092-461-2049	3040
神 弘夫	日本鋼管(株)鋼構造本部	279-0014	浦安市明海6-9-510	047-382-0683	047-382-0683	3060
新宮領 篤	(株)総合技術コンサルタント福岡事務所	810-0041	福岡市中央区大名2-10-29	092-712-0624	092-751-8417	3065
蔣 宇静	長崎大学工学部社会開発工学科	852-8131	長崎市文教町1-14	095-843-7229	095-848-3624	3068
神農 誠	(株)構造技術センター技術第2部	812-0053	福岡市東区箱崎1-11-11-401	092-632-1739	092-632-1739	3069
又 陶 佳宏	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3271	092-642-3271	3070
菅 晴夫	新構造技術(株)長崎事務所	850-0862	長崎市出島町1-14	095-820-6571	095-820-6608	3080
杉山 和一	長崎大学環境科学部	852-8131	長崎市文教町1-14	095-843-6384	095-843-6384	3100

氏名	勤務先	〒	住所	電話番号	FAX	個人コード
祐定 栄資	新日本コンクリート(株)		福岡県粕屋郡志免町大字志免90	092-935-1382	092-935-4379	3105
鈴木 昌次	(株)大本組	700-0824	岡山市内山下1-1-13	086-227-5156		3110
砂川 朝建	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931		3120
須股 幸信	(株)東亜コンサルタント	812-0007	福岡市博多区東比恵3-28-10	092-415-1512	092-431-5398	3130
角 和夫	本州四国連絡橋公団長大橋技術センター	651-0088	神戸市中央区小野柄通4-1-22	087-826-2255	087-826-3413	3140
角 知憲	九州大学大学院工学研究院環境都市部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3273	092-642-3273	3150
セ 青龍 靖則	(株)オリエンタルコンサルタンツ九州支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-10-24	092-411-6209	092-411-3086	3157
関 一毅	(株)濱田重工エンジニアリング	805-0061	北九州市八幡東区西本町1-12-24	093-661-0366	093-681-3463	3160
瀬崎 満弘	宮崎大学工学部土木環境工学科	889-2155	宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-7333	0985-58-7344	3170
ソ 添田 政司	福岡大学大学院工学研究科資源循環・環境専攻	814-0133	福岡市城南区七隈8-19-1	092-871-6631	092-864-8901	3190
園田 東二	(株)構造技研 九州支社設計部	810-0022	福岡市中央区薬院1-5-11	092-713-8156	092-713-6707	3200
園田 敏矢	大分工業高等専門学校土木工学科	870-0152	大分市大字牧1666	097-552-7623	097-552-7623	3210
園田 佳巨	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3261	092-642-3261	3215
柚 辰雄	中央コンサルタンツ(株)福岡支店	810-0062	福岡市中央区荒戸1-1-6	092-722-2541		3220
タ 高木 邦昭	三井建設(株) 九州支店営業部	810-0074	福岡市中央区大手門1-1-12	092-739-2745	092-739-2750	3230
高須賀 裕	(株)ピー・エス 九州支店	810-0801	福岡市博多区中洲5-6-20	092-291-2611	092-282-1768	3240
高瀬 和男	駒井鉄工(株)橋梁設計部	555-0041	大阪市西淀川区中島2-5-1	06-6475-2112	06-6475-2132	3250
高田 信次	福岡市都市整備局都市計画部	810-0001	福岡市中央区天神1-8-1	092-733-5405	092-733-5590	3260
高西 照彦		805-0035	北九州市八幡東区山路2-4-8	093-652-0994		3270
高野 徳義	(株)オリエンタルコンサルタンツ九州支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-10-24	092-411-6209	092-411-3086	3280
高野 道直	第一復建(株)構造部	812-0016	福岡市博多区博多駅前3-5-28	092-431-9171	092-431-0725	3290
高橋 和雄	長崎大学工学部社会開発工学科	852-8131	長崎市文教町1-14	095-847-1111	095-848-3624	3300
高海 克彦	山口大学工学部社会建設工学科	755-0031	宇部市常盤台2-16-1	0836-35-9445	0836-35-9429	3320
高村 清	豊福設計(株)	857-0136	佐世保市田原9-15	0956-41-4333	0956-41-4611	3330
高本 博昭	(株)橋梁コンサルタント 福岡支社	812-0016	福岡市博多区博多駅前1-6-22	092-461-2011	092-461-2049	3340
高山 俊一	九州共立大学工学部土木工学科	807-0867	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3228	093-693-3225	3360
瀧口 将志	九州旅客鉄道株式会社構造物技術センター	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-38-101	092-474-6286	092-474-6286	3370
滝谷 昭	エスケー化研(株) 研究所	567-0059	大阪府茨木市清水1-25-10	0726-43-7100	0726-41-5212	3380
田口 慎一	住友建設(株) 九州支店	802-0052	北九州市小倉北区霧ヶ丘1-20-28	093-951-7244	093-951-1583	3395
竹岡 伸一	扇精光(株)佐世保支店	857-1161	佐世保市大塔町1266-24	0956-26-1711	0956-34-0533	3420
竹下 鉄夫	西日本コンサルタント(株)	879-7881	大分市大字奥田646-1	097-543-1818	097-543-8667	3440
武田 正紀	八千代エンジニアリング(株)九州支店	810-0062	福岡市中央区荒戸2-1-5	092-751-1431	092-725-0581	3450
竹田 義徳	鹿島建設(株) 九州支店営業部	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-12-10	092-481-8012	092-481-8024	3455
竹中 和吉	川田建設(株) 九州支店設計課	812-0013	福岡市博多区博多駅前2-5-19	092-474-0828	092-474-0865	3460
竹中 啓二	(株)橋梁コンサルタント福岡支社	812-0016	福岡市博多区博多駅前1-6-22	092-461-2011	092-461-2049	3470
竹中 良隆	東亜建設技術(株)	810-0072	福岡市中央区長浜1-1-1	092-751-5436	092-751-3048	3480
武林 和彦	中央コンサルタンツ(株)	810-0062	福岡市中央区荒戸1-1-6	092-722-2541	092-721-0893	3490
武末 博伸		833-0005	筑後市長浜271	0942-54-0084	0942-54-0128	3492
田添 耕治	住友建設(株) 九州支店	810-0075	福岡市中央区港1-3-1	092-761-6044	092-761-6617	3495
田中 智行	中央コンサルタンツ(株)	810-0062	福岡市中央区荒戸1-1-6	092-722-2541	092-721-0893	3520
田中 博美	福岡県 下水道課	812-0045	福岡市博多区東公園7-7	092-641-4492	092-632-6103	3530
棚橋 由彦	長崎大学工学部社会開発工学科	852-8131	長崎市文教町1-14	095-847-9356	095-848-3624	3540

	氏名	勤務先	〒	住所	電話番号	FAX	個人コード
	田辺 恵三	九州エス・ピーシー(株)技術部	862-0954	熊本市神水1-25-11	096-340-1733	096-340-1744	3550
	谷川 清	(株)総合技術コンサルタント福岡事務所	810-0041	福岡市中央区大名2-10-29	092-712-0624		3560
	谷口 正博	(株)長 大	114-0013	東京都北区東田端2-1-3			3570
	溜瀧 誠一	日本鉄道建設公団民鉄線部	100-0014	東京都千代田区永田町2-14-2	03-3506-1864	03-3506-1894	3590
チ	千々岩浩巳	第一復建(株) 構造部	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-5-28	092-431-9171	092-431-0726	3610
ツ	辻 修作	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6934	092-741-3499	3629
	辻 治生		812-0011	福岡市博多区博多駅前3-5-7	092-471-1655	092-471-4099	3630
	津田 敏行	ドービー建設工業(株) 九州支店	812-0018	福岡市博多区住吉2-2-1	092-281-8765	092-281-8769	3635
	津高 守	九州旅客鉄道(株)施設部企画課	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-25-21	092-474-2421	092-474-2853	3640
	筒井 光男	国土工営コンサルタント(株)福岡営業所	815-0075	福岡市南区長丘2-25-43	092-512-6362	092-512-6365	3660
	堤 一	学校法人明倫館九州理工学院	889-1700	宮崎県宮崎郡田野町桜ヶ丘1730-2	0985-86-2000	0985-86-2339	3670
	堤 博文	麻生セメント(株) 中央研究所		福岡県粕屋郡粕屋町仲原2648	092-624-1300	092-624-1308	3680
	角本 周	オリエンタル建設(株)福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6934	092-741-3499	3690
	鶴田 健	小沢コンクリート工業	168-0074	東京都杉並区上高井戸1-7-16	03-3303-0951		3700
	鶴田 浩章	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3270	092-642-3270	3710
テ	手嶋 和男	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3499	3720
	田 福勝	(株)西研設計	810-0014	福岡市中央区平尾5-5-7	092-524-0755	092-524-0670	3745
ト	徳田 裕一	極東工業(株) 福岡支店	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-3-22	092-473-2022	092-413-6468	3750
	戸塚 誠司	熊本県土木部土木技術管理室	862-0950	熊本市水前寺6-18-1	096-383-0911	096-381-0570	3770
	冨田 淳生	(株)富士ピー・エス 福岡支店	810-0073	福岡市中央区舞鶴2-2-11	092-721-3496	092-714-3689	3780
	友光 宏実	大日本コンサルタント(株)東京事業部	343-0851	埼玉県越谷市七左町5-1	0489-88-8123	0489-88-8136	3790
	豊福 俊泰	九州産業大学工学部土木工学科	813-0004	福岡市東区松香台2-3-1	092-673-5678	092-673-5093	3800
	虎石 龍彦	新日本製鉄(株) 名古屋支店	450-0003	名古屋市中村区名駅南1-24-30	052-581-2172	052-581-4716	3810
	堂上 幸男	福岡北九州高速道路公社	812-0055	福岡市東区東浜2-7-53	092-631-3291		3820
	砥綿 一雄	西日本技術開発(株)	810-0004	福岡市中央区渡辺通1-1-1	092-781-0259	092-724-6529	3825
ナ	中尾 好幸	(株)長 大 福岡支社	812-0013	福岡市博多区博多駅東2-13-34	092-472-3952	092-413-6630	3830
	中川 清史	西日本技術開発(株)道路部	810-0004	福岡市中央区渡辺通1-1-1	092-781-0259	092-724-6529	3840
	中川 浩二	山口大学工学部社会建設工学科	755-0031	宇部市常盤台2557	0836-31-5100		3850
	中澤 隆雄	宮崎大学工学部土木環境工学科	889-2155	宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-7332	0985-58-7344	3860
	中島 城二	(株)長 大 福岡支店	812-0013	福岡市博多区博多駅東2-13-34	092-472-3952	092-413-6630	3870
	中島 禎	(株)富士ピー・エス	813-0014	福岡市東区香椎台1-13-6	092-672-0013	092-672-0013	3880
	中谷 真二	三菱重工業(株)本社鉄構建設事業本部	100-0005	東京都千代田区丸の内2-5-1	03-3212-9045	03-3212-9833	3890
	中野 計雄	福岡市都市土木局道路計画課	810-0001	福岡市中央区天神1-8-1	092-711-4399	092-733-5590	3900
	中野 隆史	オリエンタル建設(株)山口営業所		山口県吉備郡小郡町大字上郷	0839-73-6171		3910
	中原 雄二	(株)総合エンジニアリング福岡支店	812-0011	福岡市博多区博多駅前1-4-1	092-472-1948	092-472-1917	3915
	中村 修	(株)ピー・エス 九州支店	810-0801	福岡市博多区中洲5-6-20	092-291-2611	092-282-1768	3918
	中村 勝明	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6933	092-741-3399	3920
	中村 登是		810-0011	福岡市中央区高砂2-17-14	092-524-5402		3930
	中村 秀明	山口大学工学部知能情報システム工学科	755-0031	宇部市常盤台2-16-1	0836-85-9531		3935
	中村 聖三	長崎大学工学部社会開発工学科	852-8131	長崎市文教町1-14	095-843-6301	095-843-6301	3936
	中村 昌弘	(株)福山コンサルタント	802-0062	北九州市小倉北区片野新町1-11-4	093-931-2586		3940
	長崎 謙二	長崎技術事務所	338-0801	埼玉県浦和市大原7-2-4-3	048-832-7280	048-832-7280	3950

氏名	勤務先	〒	住 所	電話番号	F A X	個人 コード
永瀬 英生	九州工業大学工学部建設社会工学科	804-0015	北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3111	093-884-3100	3960
長田 晴道	ジェイアール九州コンサルタンツ(株)	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-16-10	092-413-1020		3970
長友 文昭	(株)日本港湾コンサルタント九州事務所	812-0014	福岡市博多区比恵町1-1	092-541-0234		3990
長野 輝和	長野設計事務所	814-0123	福岡市城南区長尾2-15-11	092-526-5756	092-526-6326	4000
七浦 恒康	新日本製鐵(株)橋梁エンジニアリング部	808-0022	北九州市若松区大字安瀬64	093-752-1862	093-752-1867	4005
成富 勝	九州共立大学工学部開発学科	807-0867	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3257	093-603-8186	4010
二 西 昭洋	福岡市港湾局建設部工務課	812-0032	福岡市博多区石城町13-13	092-282-7139		4025
西田 恒義	第一復建(株)構造部	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-5-28	092-431-9171	092-431-0725	4040
西村 末三	(有)アーバンエンジニアリング	866-0873	八代市横手町1641-2	0965-35-1882	0965-32-6777	4050
二宮 公紀	鹿児島大学工学部情報工学科	890-0065	鹿児島市郡元1-21-40	099-285-3165		4060
ノ 納富 正樹	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931		4080
野口 賀右	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931		4090
野中 哲也	ヤマト設計株式会社宮崎支店	889-1403	宮崎県児湯郡新富町上富田3191-1	0983-33-5581	0983-33-5584	4095
八 萩尾 政男	福岡県庁 建築都市部	812-0045	福岡市博多区東公園7-7	092-651-1111		4110
橋口 三郎	オリエンタル建設(株)	102-0093	東京都千代田区平河町2-1-1	03-3261-1175	03-3234-1949	4120
橋本 晃	(株)千代田コンサルタント総合技術部	810-0041	福岡市中央区大名1-15-33	092-411-6209	092-411-3086	4125
長谷川 堯一	麻生フォームクリート(株)福岡支店		糟屋郡須恵町大字須恵714-1	092-932-6370	092-932-7567	4130
秦 裕昭	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3499	4140
畑岡 秀明	国土交通省九州地方整備局	813-0043	福岡市東区名島3-24-10	092-681-4731	092-682-7764	4145
畑仲 俊治	(株)ピー・エス 九州支店	810-0801	福岡市博多区中洲5-6-20	092-291-2611	092-282-1768	4150
畑農 次人	(株)エフディイー	810-0004	福岡市中央区渡辺通2-4-8	092-771-0831	092-714-7435	4155
花田 久		811-3212	福岡県宗像郡福岡町花見が浜1-7-340940-42-0535			4170
浜田英一郎	(株)横河ブリッジ橋梁本部	594-0061	和泉市弥生町2-5-22	072-241-1147	072-241-2801	4180
浜田 純夫	山口大学工学部社会建設工学科	755-0031	宇部市常盤台2-16-1	0836-85-9347		4190
濱田 貴光		810-0041	福岡市中央区大名2-4-12	092-714-6226	092-715-5200	4195
林 重徳	佐賀大学低平地防災研究センター	849-0000	佐賀市本庄町1	0952-28-8627	0952-28-8627	4200
原田 克己	(株)宇部三菱セメント研究所黒崎センター	807-0812	北九州市八幡西区洞南町1-1	093-641-4125	093-642-6041	4230
原田 隆典	宮崎大学工学部土木環境工学科	889-2155	宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-7325	0985-58-7344	4240
原田 哲夫	長崎大学工学部構造工学科	852-8131	長崎市文教町1-14	0958-48-9637	0958-48-9637	4260
原田 秀則	設計事務所 原	818-0066	筑紫野市永岡799-3-105	092-929-2021	092-929-2021	4265
原田 昌秀	北九州市	807-0806	北九州市八幡西区御開1-1-15	093-691-4051	093-691-4051	4270
林 淳	日本鉄道建設公団九州新幹線建設局	812-0038	福岡市博多区祇園町2-1	092-283-9609	092-283-9592	4280
ヒ 彦坂 照	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3260	092-642-3260	4300
久松 健一	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6934	092-741-3499	4315
久松 好巳	(株)PAL 構造	852-8003	長崎市旭町8-20	0958-62-0601	0958-62-0653	4320
日根 幸雄	(株)オリエンタルコンサルタンツ九州支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-10-24	092-411-6209	092-411-3086	4325
日野 伸一	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3264	092-642-3264	4330
平井 一男	崇城大学工学部環境建設工学科	860-0082	熊本市池田4-22-1	096-326-3111		4340
平井 久義		815-0033	福岡市南区大橋4-26-50	092-553-5472		4350
平田 篤夫	崇城大学工学部環境建設工学科	860-0082	熊本市池田4-22-1	096-326-3111	096-326-3000	4360
平田 鋼三	住友重機械工業(株)鉄構機器事業本部	799-1362	愛媛県東予市今在家1501	0898-64-6915	0898-64-6974	4370
平田 卓	(株)鴻池組 大阪本店	541-0057	大阪市中央区北久宝寺町3-6-1	06-244-3722	06-244-3762	4380

氏名	勤務先	〒	住所	電話番号	FAX	個人コード
平田登基男	鹿児島工業高等専門学校土木工学科	899-5102	鹿児島県始良郡隼人町真孝1460-1	0995-42-2111	0995-42-2111	4390
平野 利光	九州電力(株)総合研究所	815-0032	福岡市南区塩原2-1-47	092-541-2910	092-551-1583	4410
広瀬 一郎	大分県林業水産部	870-0022	大分市大手町3-1-1	097-536-1111	097-533-0662	4420
廣田 武聖	(株)建設技術研究所 九州支社	810-0041	福岡市中央区大名2-4-12	092-714-2211	092-715-5200	4430
弘中 靖志	日本ミクニヤ(株) 九州事務所	812-0014	福岡市博多区比恵町18-23	092-481-3928	092-481-3938	4435
廣松 敏幸	(株)エム・ケー・コンサルタント	816-0082	福岡市博多区麦野6-14-19	092-573-2777	092-573-9042	4440
フ 深堀 清二	(財)長崎県建設技術研究センター	856-0026	大村市池田2-1311-3	0957-54-3500	0957-54-3524	4450
深水賢治郎	(株)エム・ケー・コンサルタント	816-0082	福岡市博多区麦野6-14-19	092-573-2777	092-573-9042	4460
福井 基彦	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6934	092-741-3499	4470
福田 哲郎	新構造技術(株) 長崎事務所	850-0862	長崎市出島町1-14	095-820-6571	095-820-6608	4480
福田 秀樹	(株)東光コンサルタンツ福岡支店	810-0022	福岡市中央区薬院4-18-33	092-524-3401	092-524-3404	4481
福室 忠隆	新日本コンクリート(株)		福岡県粕屋郡志免町大字志免90	092-935-1382	092-935-1823	4490
福山 俊弘	(株)福山コンサルタント西日本事業部	730-0016	広島市中区熾町5-1	082-502-8800	082-221-4001	4500
藤井 利治	福岡市水道局	812-0011	福岡市博多区博多駅前1-28-15	092-483-3100	092-482-1376	4510
藤尾 保幸	(株)建設技術研究所 福岡支社	810-0041	福岡市中央区大名2-4-12	092-714-6226	092-715-5200	4520
藤岡 秀次	第一復建(株)構造部	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-5-28	092-431-9171	092-431-0725	4530
藤川 敬人	新日本製鉄(株) 大阪支店	530-0005	大阪市北区中之島3-2-4	06-6223-6330	06-6223-6400	4540
藤田 明彦	ショ-ボンド建設(株) 九州支店	812-0014	福岡市博多区比恵町9-26	092-451-4405	092-451-4390	4550
藤村 豊		807-0053	遠賀郡水巻町下二東3-8-1	093-202-4516	093-202-4516	4560
藤本 良雄	(株)富士ビー・エス 福岡支店	810-0073	福岡市中央区舞鶴2-2-11	092-721-3484	092-714-3786	4570
藤原 正敏	(株)荒谷建設コンサルタント	730-0847	広島市中区舟入南4-14-15	082-234-5661		4575
淵田 邦彦	八代工業高等専門学校土木建築工学科	866-0074	八代市平山新町2627	0965-53-1346	0965-53-1349	4580
府内 洋一	(株)富士ビー・エス 福岡支店	810-0073	福岡市中央区舞鶴2-2-11	092-721-3484	092-714-3786	4590
船越 信吾	新日本コンクリート(株)		福岡県粕屋郡志免町大字志免90	092-935-1382	092-935-1823	4600
古川 浩平	山口大学工学部社会建設工学科	755-0031	宇部市常盤台2-16-1	0836-85-9327	0836-85-9301	4610
古川 直樹	鹿島建設(株)	182-0036	東京都調布市飛田給2-11	0424-86-4202		4620
ホ 細井 義弘	ワイ・シー・イー		さいたま市プラザ25-12	047-435-6535	047-435-6938	4630
堀口 潔	(株)構造技術センター 福岡支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-5-7	092-471-1655	092-481-0318	4640
堀之内真一	西日本技術開発(株)道路部	810-0004	福岡市中央区渡辺通1-1-1	092-781-0259	092-724-6529	4650
マ 前口 剛洋	西日本工業大学工学部建築学科	800-0344	福岡県京都郡苅田町新津1633	0930-23-1491	0930-24-7900	4660
前田 剛	昭和高分子(株)竜野工場技術課		兵庫県竜野市揖保町揖保中251-1	0791-67-1118	0791-67-0683	4665
前田 文男	(株)ビー・エス 九州支店	810-0801	福岡市博多区中洲5-6-20	092-291-2612	092-282-1768	4685
前田 悦孝	新日鐵高炉セメント(株)	803-0801	北九州市小倉北区西港町16	093-884-1753		4690
前田 良刀	九州共立大学工学部土木工学科	807-0867	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3229	093-693-3225	4700
牧角 龍憲	九州共立大学工学部土木工学科	807-0867	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3233	093-693-3225	4710
牧瀬 猛	大野コンクリート(株)	819-0036	福岡市西区吉武61-1	092-811-6692	092-812-4135	4720
真崎 洋三	(株)構造技術センター 福岡支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-5-7	092-471-1655	092-481-0318	4730
益井 征夫	(株)構造技術センター	215-0021	川崎市麻生区上麻生2-14-8	044-951-0802		4740
益田 康一	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3651	4750
町田 健夫	新日本製鐵(株) 九州支店	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-2-1	092-471-2045		4760
松井 謙二	(株)建設技術研究所 福岡支社	810-0041	福岡市中央区大名2-4-12	092-714-2211	092-715-5200	4770
松尾 一四	麻生セメント(株) 中央研究所		福岡県粕屋郡粕屋町仲原2648	092-624-1300	092-624-1308	4780

氏名	勤務先	〒	住所	電話番号	FAX	個人コード
松尾 浩二	九州旅客鉄道株式会社施設部	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-25-21	092-474-2452	092-474-2675	4781
松尾 聖子	第一復建(株)構造部	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-5-28	092-431-9171	092-431-0725	4800
松岡 恭子	(株)マツオカ・ワン・アーキテクツ	810-0062	福岡市中央区荒戸3-2-5-1001	092-732-3121	092-711-9551	4810
真次 寛	福岡市環境局施設課	810-0001	福岡市中央区天神1-8-1	092-711-4312	092-733-5592	4820
松崎 隆彦	西日本技術開発(株)地域開発部	810-0004	福岡市中央区渡辺通1-1-1	092-781-0259	092-724-6529	4830
松崎 宏文	(株)オリエンタルコンサルタンツ九州支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-10-24	092-411-6209		4840
松下 博通	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3269	092-642-3271	4850
松下 幸正	(株)復建エンジニアリング福岡支店	810-0014	福岡市中央区平尾2-9-8	092-522-6511	092-522-3559	4860
松田 浩	長崎大学工学部構造工学科	852-8131	長崎市文教町1-14	095-847-1111	095-843-7204	4870
松田 泰治	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3267	092-642-3306	4880
松永 静男	佐世保重工業(株)鉄構設計部	857-0063	佐世保市立神町	0956-25-9220	0956-25-9119	4900
松永 昭吾	(株)建設技術研究所 九州支社	810-0041	福岡市中央区大名2-4-12	092-714-2211	092-715-5200	4915
松野 栄明	国土交通省九州地方整備局	812-0013	福岡市博多区博多駅東2-10-7	092-471-6331		4920
松藤 泰典	九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3333	092-642-4112	4940
松本 忠昭	メック(株)	812-0013	福岡市博多区博多駅東2-4-17	092-414-7589	092-414-7590	4950
松本 力	日本ミクニヤ(株) 九州事務所	812-0014	福岡市博多区比恵町18-23	092-481-3928	092-481-3938	4960
丸山 巖	日本文理大学工学部土木工学科	870-0316	大分市大字一木1727	097-524-2605	097-524-2605	4970
万代 幸二	福岡市港湾局アイランドシティ経営計画部	812-0032	福岡市博多区石城町13-13	092-282-7160	092-282-3836	4980
ミ 三池 亮次	崇城大学工学部環境建設工学科	860-0082	熊本市池田4-22-1	096-326-3111	096-326-3000	4990
三浦 房紀	山口大学工学部知能情報システム工学科	755-0031	宇部市常盤台2-16-1	0836-85-9536	0836-85-9536	5000
三浦 正昭	日本文理大学工学部建築都市工学科	870-0316	大分市大字一木1727	097-592-1600	097-593-2071	5010
三浦 泰博	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3499	5020
右田 隆雄	福岡県直方土木事務所	822-0025	福岡県直方市日吉町9-10	0949-23-3111	0949-22-5644	5030
右田 泰弘	九州東海大学工学部都市工学科	862-0970	熊本市渡鹿9-1-1	096-386-2702	096-386-2759	5040
三品 吉彦	大日本コンサルタント(株)	343-0851	埼玉県越谷市七左町5-1	0489-88-8111	0489-88-8136	5045
三井 欣二	(株)富士ピー・エス 福岡支店	810-0073	福岡市中央区舞鶴2-2-11	092-721-3484	092-714-3786	5050
水田 富久	日本道路公団 九州支佐賀管理事務所	840-0200	佐賀県佐賀郡大和町	0952-62-5121	0952-62-5123	5055
水田 洋司	九州産業大学工学部土木工学科	813-0004	福岡市東区松香台2-3-1	092-673-5671	092-673-5093	5060
溝部 聡	(株)総合技術コンサルタント福岡事務所	810-0041	福岡市中央区大名2-10-29	092-712-0624	092-751-8417	5065
峰 嘉彦	(株)横河ブリッジ 橋梁本部	590-0000	大阪府堺市築港本町2-3	072-241-1142	072-244-4114	5070
三原 徹治	九州共立大学工学部土木工学科	807-0867	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3230	093-693-3225	5080
宮川 邦彦	九州産業大学工学部土木工学科	813-0004	福岡市東区松香台2-3-1	092-673-5677		5090
宮地 宏吉	豊福設計(株)	810-0073	福岡市中央区舞鶴3-1-30	092-751-4204	092-712-4089	5120
宮武 洋之	JR九州(株) 施設部 工事課	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-25-21	092-474-2462	092-474-2751	5130
宮村 重範	西田鉄工(株)技術本部	869-0416	宇土市松山町4541	0964-23-1111	0964-26-1001	5140
宮本 文穂	山口大学工学部知能情報システム工学科	755-0031	宇部市常盤台2557	0836-35-9951	0836-35-9951	5141
宮本 章信	福岡市交通局建設部建設推進課	810-0041	福岡市中央区大名2-5-31	092-732-4158	092-724-7545	5142
△ 武藤 賢司	(株)橋梁コンサルタント福岡支社	812-0016	福岡市博多区博多駅南1-6-22	092-461-2011	092-461-2049	5145
村井 洋行	八千代エンジニアリング(株)九州支店	810-0062	福岡市中央区荒戸2-1-5	092-751-1431	092-751-3455	5150
村岡 公範	コーアツ工業(株)	895-0012	川内市平佐町1691-5	0996-22-3231	0996-20-0129	5160
村田 秀一	山口大学工学部社会建設工学科	755-0031	宇部市常盤台2-16-1	0836-85-9342	0836-85-9342	5170
村田 孝治	新構造技術(株) 九州支店	812-0012	福岡市博多区博多駅中央街8-36	092-451-4281	092-414-8458	5180

	氏名	勤務先	〒	住所	電話番号	FAX	個人コード
	村山 隆之	福岡北九州高速道路公社	812-0055	福岡市東区東浜2-7-53	092-631-3293	092-643-7061	5190
モ	本石 博三	計測検査(株)	807-0821	北九州市八幡西区陣原1-8-3	093-642-8231		5200
	本山 彰彦	ジェイアール九州コンサルタンツ(株)	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-16-10	092-413-1020	092-413-1022	5210
	森 勝	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6934	092-741-3499	5215
	森口 秀光	(株)技術開発コンサルタント	810-0001	福岡市中央区天神1-2-4	092-712-2518	092-721-6815	5220
	森下 正浩	高知県土木部河川課	780-0850	高知市丸ノ内1-2-20	088-823-9838	088-823-9129	5230
	森田 千尋	長崎大学工学部構造工学科	852-8131	長崎市文教町1-14	095-847-1111	095-843-7464	5250
	森本 宏	新日本コンクリート(株)		福岡県粕屋郡志免町大字志免90	092-935-1382	092-935-4379	5255
	森本 光高	(株)ダンテック 福岡事業所	813-0043	福岡市東区名島2-28-12	092-673-0666	092-673-0286	5260
	森山 容州	新日鉄関東エスメント(株)	103-0027	東京都中央区日本橋3-14-5	03-5204-8871	03-5204-8870	5270
ヤ	安武 正俊	(株)クボタ 東京本社熱パイプ営業部	103-0022	東京都中央区日本橋室町3-1-3	03-3245-3273	03-3245-3255	5290
	安永 英治	福岡地区水道企業団	815-0031	福岡市南区清水4-3-1	092-552-1732	092-552-1719	5300
	安波 博道	新日本製鐵(株)建材開発技術部	100-0004	東京都千代田区大手町2-6-3	03-3275-7780	03-3275-5636	5301
	柳 悦孝	新日本製鐵(株)九州支店	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-2-1	092-471-2107	092-471-2118	5305
	柳 健太郎	(財)九州環境管理協会分析科学部	813-0004	福岡市東区松香台1-10-1	092-662-0410		5310
	矢葺 亘	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3268	092-642-3306	5315
	山尾 敏孝	熊本大学工学部環境システム工学科	860-0862	熊本市黒髪2-39-1	096-342-3533	096-342-3507	5320
	山口 栄輝	九州工業大学工学部建設社会工学科	804-0015	北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3110	093-884-3100	5330
	山口 健市	(株)ピー・エス 九州支店	810-0801	福岡市博多区中洲5-6-20	092-291-2612	092-282-1768	5335
	山口 正剛	中央コンサルタンツ(株)	810-0062	福岡市中央区荒戸1-1-6	092-722-2541	092-721-0893	5345
	山口 浩平	九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門	812-0053	福岡市東区箱崎6-10-1	092-642-3309	092-642-3309	5346
	山崎 明	(株)長 大 大阪支社	550-0013	大阪市西区新町2-20-6	06-6541-5793	06-6541-5485	5350
	山崎 竹博	九州工業大学工学部建設社会工学科	804-0015	北九州市戸畑区仙水町1-1	093-884-3115	093-884-3100	5360
	山下 真樹	熊本大学大学院自然科学研究科環境科学専攻	860-0862	熊本市黒髪2-39-1	096-342-3536	096-342-3507	5365
	山下 正寛	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3499	5370
	山田 清一	(株)横河メンテック 大阪支店	550-0005	大阪市西区西本町1-3-15	06-536-3641		5380
	山田 友久	中央コンサルタンツ(株)	541-0057	大阪市中央区北久宝寺町1-4-15	06-6268-2541	06-6268-2531	5390
	山田 益司	(株)オリエンタルコンサルタンツ九州支社	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-10-24	092-411-6209		5400
	山田 博己	太平洋セメント(株)九州支店	812-0018	福岡市博多区住吉1-2-25	092-263-8460	092-263-8453	5405
	山登 武志		185-0035	国分寺市西町1-5-87	03-3668-0451	03-5695-0249	5410
	大和 竹史	福岡大学工学部土木工学科	814-0133	福岡市城南区七隈8-19-1	092-871-6631	092-864-8901	5420
	山中 稔	長崎大学工学部社会開発工学科	852-8131	長崎市文教町1-14	095-843-7215	095-848-3624	5425
	山部 宏伸	山部建設環境計画(有)	810-0012	福岡市中央区白金2-13-1	092-533-8133	092-533-8134	5430
	山本 茂樹		813-0012	福岡市東区香椎駅東4-9-18	092-671-5959		5440
	山本 正治	大成建設(株) 九州支店営業部	810-0074	福岡市中央区大手門1-1-7	092-771-1029	092-771-1543	5460
	山本 恭久	福岡市都市整備局交通計画課	810-0001	福岡市中央区天神1-8-1	092-711-4393	092-733-5590	5470
ニ	結城 皓曠	崇城大学工学部環境建設工学科	860-0082	熊本市池田4-22-1	096-326-3111	096-311-1769	5480
	雪野 清	(株)富士ピー・エス	810-0073	福岡市中央区舞鶴2-2-11	092-721-3465	092-721-3465	5490
	湯谷 功	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931		5500
三	横尾 正義	新日本製鐵(株) 八幡製鉄所設備部	804-0001	北九州市戸畑区飛幡町1-1	093-872-6674	093-872-6574	5510
	横田 漠	宮崎大学工学部土木環境工学科	889-2155	宮崎市学園木花台西1-1	0985-58-7330	0985-58-7344	5520
	横田 康行	(株)建設技術研究所 福岡支社	810-0041	福岡市中央区大名2-4-12	092-714-6226	092-715-5200	5530

氏名	勤務先	〒	住 所	電話番号	F A X	個人 コード
吉尾 英春	(株)中央技術コンサルタンツ九州支店	862-0953	熊本市上京塚町1-3	096-383-5353	096-383-5354	5537
吉崎 信之	福岡北九州高速道路公社福岡事務所	812-0055	福岡市東区東浜2-7-53	092-631-0121	092-631-3287	5540
三 吉武 範幸	福岡県土木部企画検査課	812-0045	福岡市博多区東公園7-7	092-643-3644	092-643-3646	5550
吉田 須直	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6931	092-741-3499	5560
吉留 秋実	鹿児島県農地整備課	890-0064	鹿児島市鴨池新町10-1	099-286-3242	099-286-5601	5580
吉野 博	オリエンタル建設(株) 福岡支店	810-0001	福岡市中央区天神4-2-31	092-761-6933		5590
吉原 進	鹿児島大学工学部	890-0065	鹿児島市郡元1-21-40	099-285-8469	099-285-8469	5595
吉村 健	九州産業大学工学部土木工学科	813-0004	福岡市東区松香台2-3-1	092-673-5679	093-673-5093	5600
吉村 優治	岐阜工業高等専門学校環境都市工学科	501-0461	岐阜県本巣郡真正町上真桑	058-320-1401	058-320-1409	5610
米田 裕樹	パシフィックコンサルタンツ(株)九州本社	819-0004	福岡市西区姪浜町33-1	092-885-5008	092-885-5004	5617
リ 李 重垣	第一復建(株)技術開発室	812-0016	福岡市博多区博多駅南3-5-28	092-431-9181	092-461-2293	5620
笠 晃壽	トキワ技術設計(株)	812-0013	福岡市博多区博多駅東1-1-30	092-413-2002	092-413-2004	5630
ワ 若菜 啓孝	東和大学工学部メディアセンター	815-0036	福岡市南区筑紫ヶ丘1-1-1	092-541-1527	092-541-1527	5650
渡辺 明	九州共立大学学長	807-0867	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3200	093-693-3258	5660
渡辺 宏明	オリエンタル建設(株)宮崎営業所	880-0805	宮崎市橘通東5-4-8	0985-24-6728		5670
渡辺 浩	熊本大学工学部環境システム工学科	860-0862	熊本市黒髪2-39-1	096-342-3579	096-342-3507	5680
若林祐一郎	基礎地盤コンサルタンツ(株)九州支社	814-0022	福岡市早良区原2-16-7	092-831-2511	092-831-5445	5685
渡邊 充郎	ショーボンド建設(株) 九州支店	812-0014	福岡市博多区比恵町9-26	092-451-4385		5690

正会員（第2種）

会社名	連絡先	代表者 (連絡者)	電話番号 FAX番号	個人 コード
ア (株)浅沼組 九州支店	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-8	三好 初美 (村瀬 良男)	092-411-0636 ☎092-481-9462	3010
麻生セメント(株) 中央研究所	〒811-2304 福岡県粕屋郡粕屋町仲原2648	甲斐吉三郎 ()	092-624-1300 ☎092-624-1308	3015
(株)安部工業所 福岡支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-6 花村ビル	古畑 美喜雄 (湊 敬文)	092-481-6658 ☎092-441-5516	3020
イ 石川島建材工業(株)	〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-81	寺崎 勝 (蔵本 栄吉)	092-713-6298 ☎092-751-6416	3050
石川島播磨重工業(株)	〒737-0831 広島県呉市光町5-17	能勢 卓 (金尾 昌広)	0823-26-1287 ☎0823-26-1491	3060
ウ 梅林建設(株) 福岡支店	〒810-0041 福岡市中央区大名1-4-1 NDビル	梅林 秀伍 (立花 重行)	092-712-9111 ☎092-712-9181	3070
エ エイコ-コンサルタンツ(株)	〒815-0031 福岡市南区清水1-14-20 AECビル3F	青木 春彦 ()	092-557-2821 ☎092-557-2820	3080
(株)NKK 九州支社	〒812-0044 福岡市博多区千代1-17-1 パビヨン24	大出 直文 (霜 知宏)	092-632-1511 ☎	3086
(株)エム・ケー・コンサルタント	〒816-0082 福岡市博多区麦野6-14-19	深水賢治郎 ()	092-573-2777 ☎092-573-9042	3095
オ オイレス工業(株) 九州営業所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-1	望月 啓自 ()	092-441-9298 ☎092-474-0627	3097
(株)大林組 九州支店	〒812-0027 福岡市博多区下川端9-12 福岡武田ビル	松本 國夫	092-271-3814 ☎092-291-0198	3100
(株)奥村組 九州支店	〒805-0017 北九州市八幡東区山王2-19-1	木下 義照 (稲尾 修)	093-671-3131 ☎092-661-1543	3130
オリエンタル建設(株) 福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	手島 佐利 (安部 邦弘)	092-761-6931 ☎092-741-3499	3140
(株)オリエンタルコンサルタンツ	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-10-24	(崎本 繁治)	092-411-6209 ☎092-411-3086	3150
カ 鹿児島土木設計(株)	〒891-0115 鹿児島市東開町12-10	篠原 誠 ()	099-260-6262 ☎099-260-7456	3155
鹿島建設(株) 九州支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-12-10	平田 光宏 (濱中 聡生)	092-441-0211 ☎092-481-8028	3160
鹿島道路(株) 九州支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-12-10	伴 賢次 ()	092-451-4356 ☎092-474-0913	3170
片山ストラテック(株) 九州営業所	〒810-0041 福岡市中央区大名1-9-27 第一西部ビル	上村 達章 ()	092-761-2362 ☎092-761-1999	3180
川口金属工業(株) 大阪支店	〒530-0012 大阪市北区芝田2-7-18 全日空ビル新館3階	川井 文里 (吉田 雅彦)	06-374-3350 ☎	3185
川崎重工業(株) 九州支社	〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-1 博多三井ビル	(副島 正男)	092-271-8541 ☎092-271-8530	3190

会 社 名	連 絡 先	代表者 (連絡者)	電話番号 FAX番号	内 線	個人 コード
川崎製鉄(株) BSD橋梁・鋼構造技術部	〒100-0011 東京都千代田区内幸2-2-3	(益 満)	092-771-1521 F 092-771-1521		3200
川田建設(株) 九州支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-19 サンライフ第3ビル	高桑 稔 (江波 博昭)	092-474-0828 F 092-474-0865		3220
川田工業(株) 九州営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-19 サンライフ第3ビル	森 勇 (辛嶋景二郎)	092-431-7268 F 092-473-7288		3230
キ (株)技術開発コンサルタント	〒810-0001 福岡市中央区天神1-2-4	和田 修二 (吉田 恵)	092-712-2518 F 092-714-6149		3235
九州エス・ピーシー(株)	〒862-0954 熊本市神水1-25-11 北雀ビル7F	加来 雄一 (山田 文男)	096-340-1733 F 096-340-1744		3237
九州建設コンサルタント(株)	〒870-0911 大分市新貝12-51	永石 晏嗣 (吉田 信吾)	0975-51-6211 F 0975-56-8461		3240
九州電力(株)	〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82	衣非 安章	092-761-3031 F 092-761-9541		3250
(株)九コン	〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-4-16	下瀬 博貴 (長 正富)	092-741-5731 F 092-741-5728		3255
(株)橋梁コンサルタント 福岡支社	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-6-22 メナード福岡ビル	松崎 安則 (徳測 祐三)	092-461-2011 F 092-461-2049		3270
(株)協和コンサルタンツ	〒810-0001 福岡市中央区天神3-11-20 天神エフビル	天野 昭夫 (宮本 修)	092-733-1241 F 092-733-1240		3280
極東工業(株) 福岡支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-22 産恵ビル	井野口耕治 (野上 和久)	092-473-7541 F 092-474-4127		3290
ケ 計測検査(株)	〒807-0821 北九州市八幡西区陣原1-8-3	坂本 武 (本石 博三)	093-642-8231 F		3310
(株)計測リサーチコンサルタント	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-2-7 倉町ビル	高橋 洋一 (坂東恵里子)	092-474-5206 F 092-475-0494		3315
(株)建設技術研究所 九州支社	〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-12 CTI福岡ビル	今村 瑞穂 ()	092-714-2211 F 092-715-5200		3320
(株)建設技術コンサルタンツ	〒890-0003 鹿児島市伊敷町7022-1	安水 節 (若松 節雄)	099-229-2800 F 099-229-2828		3323
コ コーアツ工業(株)	〒890-0003 鹿児島市伊敷町3163	下八尻鐵憲 (伊木 威)	099-229-8181 F 099-220-5338		3326
(株)構造計画研究所	〒 熊本県菊池郡大津町室1315	石原 眞一 ()	096-292-1271 F 092-292-1115		3329
(株)構造技術センター 福岡支社	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-5-7 博多センタービル	佐竹 正行 (野田華里奈)	092-471-1655 F 092-481-0318		3330
(株)神戸製鋼所	〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町4丁目2-15 島文第3ビル	矢原 轟一 (清水 義和)	078-261-7815 F 078-261-7799		3335
(株)古賀建設	〒854-0071 諫早市永昌東町6-10	古賀 享 ()	0957-22-2222 F 0957-23-6687		3340

会 社 名	連 絡 先	代表者 (連絡者)	電話番号 FAX番号	内 線	個 人 コード
国際航業(株) 九州支社	〒812-0008 福岡市博多区博多駅東3-6-3	有本 優治 (柴田 正文)	092-451-6082 F092-412-9252		3350
(株)国土技術コンサルタンツ	〒890-0003 鹿児島市伊敷町321-1	安永 幸信 (寺園 清秀)	099-229-0030 F099-229-0474		3356
国土工営コンサルタンツ(株)福岡営業所	〒815-0075 福岡市南区長丘2-25-43 長丘リーゼントA-405	筒井 光男 ()	092-512-6362 F092-512-6365		3357
駒井鉄工(株) 九州営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-17 第6岡部ビル	浜砂 貞夫 ()	092-441-3665 F092-441-3664		3360
五洋建設(株) 九州支店	〒810-0023 福岡市中央区誓固1-12-11	宇山 藤博 (高木 兼士)	092-781-5156 F092-781-3007		3370
コンサルタンツ大地	〒733-0812 広島市西区己斐本町2丁目20番16号	坂手 道明	0465-39-1257 F0465-39-1258		3375
サ (株)サクラダ 市川工場	〒272-0002 千葉県市川市二俣新町21	(澤井 隆之)	047-328-3145 F047-328-3156		3380
佐世保重工業(株)	〒857-0063 佐世保市立神町1	(松永 静男)	0956-25-9220 F0956-25-9119		3390
佐藤鉄工(株)福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-17-5	落石 廣孝 ()	092-412-3371 F092-412-3393		3415
山 九(株)	〒806-0001 北九州市八幡西区築地町16-1	花澤万寿樹 (奥田 正裕)	093-645-7225 F		3420
(株)山九ロードエンジニアリング	〒806-0001 北九州市八幡西区築地町10番	三木 甫 ()	093-631-7339 F093-631-6822		3425
サンコーコンサルタント(株)九州支店	〒812-0802 福岡市博多区中洲中島町2-3 フジランドビル	松本 泰輔 (末松 正直)	092-271-2903 F092-262-1146		3440
(株)サンフローパリック	〒110-0015 東京都台東区上野1-7-15 とみん上野ビル	玉生 征人 (田中 恭一)	03-3839-0651 F03-3832-6822		3442
(株)サンレック 名阪工場	〒480-0124 愛知県丹羽郡大口町萩島1丁目106	(林 富士男)	0587-95-1711 F		3443
シ (株)CRCソリューションズ建設システム事業部	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3	岩崎 敏生 (山本 隆夫)	06-6241-4121 F06-6241-4136		3446
ジェイアール九州コンサルタンツ(株)	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-16-10	東島興一郎 (江藤 英昭)	092-413-1020 F092-413-1022		3465
ショーボンド建設(株) 九州支店	〒812-0014 福岡市博多区比恵町9-26	(宗 栄一)	092-451-4385 F092-451-4390		3470
神鋼鋼線工業(株)エンジニアリング事業部	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル7F	岸田 勝昭 (松帆 雄二)	092-441-5996 F		3475
新構造技術(株) 九州支店	〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-36 博多ビル	曾川 文次 (渋谷 朗洋)	092-451-4281 F092-414-8458		3480
新日鐵高炉セメント(株)技術開発センター	〒803-0801 北九州市小倉北区西港16	近田 孝夫 (前田 悦孝)	093-884-1753 F093-884-1998		3485

会社名	連絡先	代表者 (連絡者)	電話番号 FAX番号	内線	個人 コード
新日本コンクリート(株)	〒811-2202 福岡県粕屋郡志免町大字志免90	津田 祐作 (〃)	092-935-1382 ☎		3500
新日本製鉄(株) 九州支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1 日生博多駅前ビル	(町田 健夫)	092-471-2045 ☎092-471-2015		3510
ジーアンドエスエンジニアリング(株)九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-24-9	小峰 康裕 (加藤 玲)	092-481-3100 ☎092-481-3777		3530
新日本技研(株)西部支社	〒733-0012 広島市西区中広町2-24-5	伊藤 仁 (梶田 順一)	082-295-3181 ☎082-295-3183		3535
ス 住友建設(株) 九州支店	〒810-0075 福岡市中央区港1-3-1	竹岡伸一郎 (緒方 滋)	092-761-1443 ☎092-761-6617		3540
住友重機械工業(株) 九州支店	〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 博多リパレイン リバーサイド10F	白石 光男 (宇高 幸一)	092-283-1673 ☎092-283-1677		3550
セ (株)銭高組 九州支店	〒812-0025 福岡市博多区店屋町2-16	児玉 健児 (岩下 信義)	092-291-3986 ☎092-291-3985		3560
セントラルコンサルタント(株)	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-11-28	野村 吉春 (赤瀬 哲也)	092-432-5385 ☎092-432-5386		3565
ソ (株)総合技術コンサルタント福岡支店	〒810-0041 福岡市中央区大名2-10-29 福岡ようきビル	坂口 和雄	092-712-0624 ☎092-751-8279		3570
タ 大成建設(株) 九州支店	〒810-8511 福岡市中央区大手門1-1-7	(内海 章光)	092-771-1444 ☎092-741-4687		3580
太平工業(株) 九州支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-13-34 エコービル	安部 烈 (有島 正文)	092-431-4688 ☎		3600
高田機工(株) 福岡営業所	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-19-29	宮崎 一範 (〃)	092-473-0945 ☎		3610
瀧上工業(株) 福岡営業所	〒810-0062 福岡市中央区荒戸1-11-6	小林 正雄 (〃)	092-741-1253 ☎092-741-4811		3620
第一復建(株)	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3-5-28	山口 一弘 (小金丸卓哉)	092-431-0724 ☎092-461-2288		3630
大日本コンサルタント(株)九州支社	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-19 サンライフ第3ビル	加藤 武 (藤木 一人)	092-441-0433 ☎092-482-4033		3633
大福コンサルタント(株)	〒890-0068 鹿児島市東郡元町17-15	福田 光一 (〃)	099-251-7075 ☎099-256-8534		3635
チ 中央コンサルタンツ(株)	〒810-0062 福岡市中央区荒戸1-1-6	岡出 章 (柚 辰雄)	092-722-2541 ☎092-721-0893		3650
(株)長 大 福岡支社	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-13-34 エコービル	清家 幸吉 (川崎 巧)	092-472-3952 ☎092-413-6630		3660
(株)千代田コンサルタント九州支店	〒812-0041 福岡市中央区大名15-33 福岡セントラルビル3F	廣中 宏毅	092-752-1601 ☎092-752-1631		3670
ツ 辻産業(株) 鉄構設計部	〒858-0908 佐世保市光町177-2	林 誠治 (〃)	0956-47-3116 ☎0956-48-5440		3680

会 社 名	連 絡 先	代表者 (連絡者)	電話番号 FAX番号	内 線	個 人 コード
ト 東亜建設工業(株) 九州支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-5-7 博多センタービル	浅野 良策 (永友 久信)	092-472-3712 F		3700
(株)東亜コンサルタント	〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-28-10	松熊 俊彦 (進 嘉澄)	092-415-1313 F092-431-5331		3710
(株)東京建設コンサルタント九州支店	〒812-0023 福岡市博多区奈良屋2-1	宮原 諄 (〃)	092-262-7311 F092-262-7316		3720
(株)東京鉄骨橋梁防府工場	〒747-0833 山口県防府市大字浜方字鶴浜283-1	栞山 廣 (〃)	0835-23-6293 F0835-24-4912		3730
東洋建設(株) 九州支店	〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-24 三和ビル	井戸 慎一 (水元 誠司)	092-761-5541 F092-761-5864		3740
戸田建設(株) 九州支店	〒810-8502 福岡市中央区白金2-13-12	中原 卓 (深見 和宏)	092-525-0354 F092-525-0369		3746
飛鳥建設(株) 九州支店	〒810-0044 福岡市中央区六本松3-11-28	(北村 敬司)	092-771-3561 F		3750
トビー工業(株) 福岡営業所	〒816-0097 福岡市博多区半道橋2-6-12	岩澤 亨 (〃)	092-451-1010 F092-474-0989		3760
トビー建設工業(株) 九州支店	〒812-0018 福岡市博多区住吉2-2-1 朝日生命福岡第3ビル	沖田 勝美 (堀田 定義)	092-281-8765 F092-281-8769		3770
豊福設計(株)	〒857-0136 長崎県佐世保市田原町9-15	豊福 修四 (高村 清)	0956-41-4333 F0956-41-4611		3772
ナ (株)名村造船所 鉄構事業部	〒848-0121 佐賀県伊万里市黒川町塩屋5-1	川口 真宏 (浜本 満帆)	0955-27-1130 F0955-27-0866		3773
ニ (株)西九州設計事務所	〒857-0133 佐世保市矢峰町176-3	川端 武清 (藤永 研吾)	0956-49-2100 F0956-49-2424		3775
西田鉄工(株)	〒869-0494 宇土市松山町4541	西田 進一 (石橋 和生)	0964-23-1111 F		3776
西鉄シーイーコンサルタント	〒815-0033 福岡市南区大橋2-8-1	松本 一城 (本木 正之)	092-511-2441 F092-511-2499		3780
西日本技術開発(株)	〒810-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-1	原田 健作 (松崎 隆彦)	092-781-1403 F092-761-7292		3790
(株)西日本土木技術	〒812-0008 福岡市博多区東光2-8-17	尾畑 成昭 (菅 和彦)	092-474-5175 F		3805
西松建設(株) 九州支店	〒810-0023 福岡市中央区警固2-17-30 ソロンけやき通りビル	満下 直紀	092-771-3121 F092-752-4982		3810
日鉄鉱コンサルタント(株)	〒820-0053 飯塚市大字伊岐須字井手浦1-356	松岡 正章 (猶塚 正人)	0948-22-0184 F0948-29-5340		3815
日本アビオニクス(株)	〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-36 博多ビル10F	加藤 久和 (木村 彰一)	092-411-7371 F092-471-5077		3820
日本技術開発(株) 九州支社	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-13-21 エフビル	奥 英雄 (伏婦 光一)	092-441-4344 F092-441-4341		3825

会社名	連絡先	代表者 (連絡者)	電話番号 FAX番号	内線	個人 コード
日本橋梁(株)	〒552-0013 大阪市港区福崎2-1-30	加藤 寛 (〃)	06-6576-3455 F06-6573-2212		3830
日本建設コンサルタント(株)	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-4-11 シティコート中陽	福石 国丸 (佐藤 裕二)	092-411-5914 F092-474-1610		3832
日本工営(株) 中央研究所開発研究部	〒300-1259 茨城県稲敷郡碓崎町稲荷原2304	藤原 鉄朗 (藤原 鉄朗)	0298-71-2030 F0298-71-2022		3835
日本工営(株) 福岡支店	〒812-0018 福岡市博多区住吉4-3-2 博多エイトビル	功刀 和也 (山根 誠一)	092-475-7553 F092-475-4330		3840
日本構研情報(株)福岡テクノセンター	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-7-22 第14岡部ビル	仲村 政彦 (〃)	092-413-8899 F092-413-9390		3850
(株)日本構造橋梁研究所九州支社	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-19-14 ピーエスビル	乙藤 憲一 (松永 〃)	092-472-7363 F		3860
日本鉄塔工業(株) 若松工場	〒808-0023 北九州市若松区北浜1-7-1	久保 武巳 (〃)	093-751-5312 F093-751-2877		3890
日本電子計算(株) 福岡支店	〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル9F	(井口 安英)	092-724-6211 F092-724-6238		3900
(株)日本ピーエス	〒812-0025 福岡市博多区店屋町1-31 東京生命福岡ビル	古賀 正博 (中島 泰明)	092-262-5120 F092-262-5171		3910
日本フィジカルアコースティクス(株)	〒150-0011 東京都渋谷区東2-17-10 岡本LKビル	(湯山 茂徳)	03-3498-3570 F		3915
ノ (株)ノナガセ	〒810-0001 福岡市中央区天神4-9-10 第2正友ビル	坂口 利介 (富士田 靖)	092-721-5387 F092-712-0544		3918
ハ (株)間 組 九州支店 土木部	〒810-8602 福岡市中央区薬院3-16-27	坂上憲治郎 (岡部 俊男)	092-531-5031 F092-525-0708		3920
(株)ハルテック 福岡支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-16-10 興産ビル	三浦 孝一 (上滝総一郎)	092-473-6027 F		3930
パシフィックコンサルタンツ(株)九州本社	〒819-0004 福岡市西区姪浜町33-1 パシコン福岡ビル	長谷川伸一 (今門 益雄)	092-885-5005 F092-885-5004		3940
ヒ 東日本鉄工(株) 福岡営業所	〒812-0029 福岡市博多区小門戸町1-13 ル・モンド博多	中村 次男 (〃)	092-282-0218 F092-282-0246		3950
ヒロセ(株)九州補強土事業部	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-31-17 東宝住宅福岡ビル	藤野 正宏 (〃)	092-436-5439 F092-473-5572		3967
(株)ピー・エス 九州支店	〒810-0801 福岡市博多区中洲5-6-20 明治生命館	城本 正勝 (隠塚功一郎)	092-291-2043 F092-282-1768		3970
ピー・シー・橋梁(株) 九州支店	〒810-0011 福岡市中央区高砂1-11-3 福岡ゼネラルビル	小篠 康徳 (〃)	092-523-4461 F092-523-4653		3980
フ (株)福山コンサルタント	〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル	伊達 安正 (福山 俊弘)	03-3683-0722 F03-5628-7212		3990
(株)富士設計	〒870-0045 大分市城崎2-4-13	(鬼塚 二男)	097-536-1479 F097-536-1830		4006

会 社 名	連 絡 先	代表者 (連絡者)	電話番号 FAX番号	会 社 コード
(株)フジタ 九州支店	〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-36 博多ビル	田代 徹 (森本 茂雄)	092-411-9662 F 092-461-2676	4010
(株)富士ピー・エス	〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-2-11 天神ビル	河野 文將 ()	092-721-3471 F 092-721-3460	4020
マ マグネ化学(株)	〒816-0095 福岡市博多区竹下2-4-25	大串 義之 (塚崎 征)	092-477-3533 F 092-477-3532	4040
(株)間瀬コンサルタント福岡支店	〒812-0008 福岡市博多区東光2-1-13 協栄ビル	徳永 剛 (宮城健史朗)	092-471-6610 F 092-471-6627	4045
松尾橋梁(株) 福岡営業所	〒812-0013 福岡市博多区博多駅前1丁目18番6号 大成博多駅前ビル	近藤 淳一 ()	092-451-6925 F 092-451-6962	4050
ミ 三井造船(株) 九州支社	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-1-1 博多新三井ビル	橋本 慎一 (高須 一宏)	092-411-8111 F 092-471-0468	4100
三菱重工業(株) 九州支社	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-2-1 福岡センタービル	飯田 重雄	092-441-3865 F 092-451-1896	4110
三菱重工工事(株)	〒108-0014 東京都港区芝5-34-6 新田町ビル	勝野 寿男 ()	03-3451-4761 F	4120
三原建設(株)	〒803-0818 北九州市小倉北区堅町1-2-30	三原 晴正	093-592-3355 F 093-591-2592	4130
(株)宮地鐵工所 福岡営業所	〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35 富士火災福岡ビル	(田中 輝)	092-751-1206 F 092-731-4080	4140
モ (株)森山組	〒810-0013 福岡市中央区大宮1-1-8	森山 定弘 (柳野 利治)	092-531-6838 F 092-522-3646	4150
ヤ 八千代エンジニアリング(株)九州支店	〒810-0062 福岡市中央区荒戸2-1-5	武田 正紀	092-751-1431 F 092-725-0581	4155
ヨ (株)横河ブリッジ 福岡営業所	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-2-1 福岡センタービル	(峰 嘉彦)	092-431-6187 F 092-451-5286	4170
横河工事(株)	〒170-8452 東京都豊島区西巢鴨4-14-5	廣田 和彦 (金子 鉄男)	03-3576-5914 F 03-3576-5941	4180
(株)横河メンテック	〒550-0005 大阪市西区鞠本町1-4-12 本町富士ビル	長谷川 進 (羽子岡爾朗)	06-6446-2873 F 06-6446-2875	4185
ワ 若築建設(株) 九州支店	〒812-0035 福岡市博多区中呉服町2-1	横溝 武典 ()	092-281-4511 F 092-291-5561	4190

編集 後記

KABSE第19号会報をお届けいたします。つい2週間前まで日本国中がワールドカップに異常な盛り上がったことが、すでに頭の中の記憶となりつつあることに時の流れの早さを感じます。

本号では、着実に進展中の九州新幹線の現況について、鉄道建設公団専門役 原川様に紹介していただきました。また、4年後に移転を控えた九大新キャンパスについて、推進室の坂井先生に執筆いただきました。恒例の随想には、(株)横河ブリッジの峰様に御自身で視察された海外の名橋の紹介をさせていただいております。また、佐賀大学の帯屋先生には、現在留学中のモントリオールのコンコルディア大学における留学記を執筆いただきました。この場をお借りして皆様に御礼申し上げます。

来年はKABSE設立20周年の節目の年となります。会報も記念特集号の発行を予定しており、内容の充実を計りたいと考えておりますので、御意見・御要望等がありましたら、ぜひ編集委員までお知らせください。

平成14年度編集小委員会構成

委員長 園田 佳巨 (九州大学)
副委員長 斉藤 裕一 (新日本製鐵(株))
委員 今泉 安雄 (日本道路公団)
郡山 貢一 (九州電力(株))
川崎 巧 (株)長大
山口 浩平 (九州大学)

九州橋梁・構造工学研究会会報

平成14年7月14日 発行

編集

会報編集小委員会

発行事務局

〒812-0053 福岡市東区箱崎6丁目15-84

福岡建設専門学校内

万代 幸二

電話 (092) 641-1181

FAX (092) 641-1181

火～金10:00～16:00

のみの受付です

印刷所 松隈印刷株式会社

〒810-0075 福岡市中央区港2-11-8

電話 (092) 721-0769

土木構造・材料論文集

第17号 2001年

目次

招待論文

土木工学の新しい挑戦 -地下空間におけるアート創造の可能性に向けて-櫻井 春輔1

技術展望

建設マネジメント技術の動向について藤本 聡11

講演論文

転換期における構造工学のあり方吉原 進15

論文・報告

没水球橋脚を有する浮き橋の静特性と動特性

.....水田 洋司・筒井 光男27

ケーブルトラス橋の走行車両による動的応答特性の検討

.....内谷 保33

アーチ形式水管橋の振動実験と地震応答解析

.....水田 洋司・金子 英孝・竹内 貴司・川口 周作39

鋼管杭の座屈を考慮した鋼直杭式横棧橋の耐力

.....石田 誠・上田 茂・池内 智行・鈴木 孝幸47

大地震時の短杭挙動の把握と設計上の適用区分に関する研究

.....岩上 憲一・大塚 久哲・竹村 太佐59

橋脚基部に免震支承を有する鋼ラーメン橋脚における基礎構造の合理的形状

.....大塚 久哲・栗木 茂幸67

鋼ラーメン橋脚基部免震構造における免震支承の引張反力と橋脚及び免震支承特性の関連について

.....大塚 久哲・栗木 茂幸75

等価連続体モデルと不連続体モデルによる岩盤構造物の変形挙動の比較検討

.....肖 俊・蔣 宇静・棚橋 由彦・佐久間敦之81

補強材を併用したサンドイッチ盛土工法の模型実験

.....永嶋 洋政・棚橋 由彦・蔣 宇静・井 英樹・川越 俊政・田島 恒美89

法先排水工ならびにジオテキスタイルによる補強土を施した盛土の降雨時安定性に関する遠心模型実験

.....小林 陸・廣岡 明彦・永瀬 英生・清水 恵助・片山 亮・織掛 晴弘97

塩分溶脱作用を受けた有明粘土地盤の地震時挙動に関する研究

.....永瀬 英生・清水 恵助・廣岡 明彦・田上 裕・宮下 義幸・柴田 雄史105

平面ひずみ非排水条件下における分岐荷重近傍の応力状態と土質定数の関係

.....志比 利秀・亀井 健史・岩田佳代子113

非共軸パラメータの違いがひずみの局所化の進展に及ぼす影響

.....志比 利秀・亀井 健史・永吉 雄大・武田 幸子121

投稿要領

.....199

土木構造・材料論文集投稿要領

1. 内 容

- (1) 構造・材料工学に関する調査・研究・開発について執筆したもので、理論的なものより、むしろ、技術的・工学的に有益で実用性の高いものを歓迎する。できれば、官界・業界・学界共同のものが望ましい。
- (2) 論文集には、投稿原稿の「論文・報告」「資料・解説」「欧文抄訳」の他、依頼原稿の「招待論文」「技術展望」「講演論文」等も掲載する。
- (3) 既発表の論文・報告であっても、内容を追加したり、いくつかの論文を統合する等して再構成したもの、あるいは欧文を和訳したものでよい。その場合、脚注としてその旨を明記する。

2. 投稿資格

論文集への投稿者は、土木学会会員または九州橋梁・構造工学研究会会員であることとする。ただし、連名の場合は1名以上がこの条件を満たしていればよい。

3. 投稿区分

投稿原稿の区分は、その内容に応じて次の3種類とする。

- (1) 「論文・報告」……構造・材料工学に関する調査・研究・開発の論文・報告
- (2) 「資料・解説」……「論文・報告」には適さないが、構造・材料工学に関する有益な情報を提供するもの
- (3) 「欧文抄訳」……欧文で発表・出版された構造・材料工学に関する有益な情報を抄訳したもの

4. 投稿申込方法、申込先および期限

- (1) 投稿を希望する場合には、A4用紙に「著者名」「タイトル」「300字程度の概要」「連絡先」を記載して、下記の投稿申込先宛に郵送またはFAXにて期限までに申し込む。申し込みを受付次第、投稿申込者には「投稿要領」「原稿の書き方」「原稿作成例」「査読原稿送付票」を送付する。
- (2) 投稿申込先……[11. 原稿提出および問い合わせ先]に記載
- (3) 投稿申込期限……5月31日（消印有効）

5. 原稿提出期限等

原稿提出期限は厳守とし、遅れたものは受け付けない。提出先は[11. 原稿提出および問い合わせ先]に記載する。

- (1) 査読用原稿の提出期限……6月30日（消印有効）
- (2) 最終原稿（オフセット用）の提出期限……10月15日（消印有効）
- (3) 発 刊……12月（予定）

6. 原稿の書き方

投稿にあたっては、「土木構造・材料論文集原稿の書き方」「原稿作成例」を参照されたい。

- (1) 投稿原稿は、A4用紙に所定のレイアウトで執筆し、ワープロまたはタイプ打ち原稿にして提出する。
- (2) 論文集は、著者からの最終提出原稿をそのままオフセット印刷する。
- (3) 投稿原稿1編の目安は、8ページ程度とする。

7. 査読手続き

- (1) 投稿された「論文・報告」「資料・解説」の原稿については、九州橋梁・構造工学研究会論文編集小委員会（以下、本小委員会）で選考した査読者に査論を依頼する。本小委員会では、査読結果に基づき、掲載を決定する。
- (2) 投稿された「欧文抄訳」の原稿については、本小委員会または本小委員会で選考した適任者がその内容を審査する。
- (3) 査読に当たって、本小委員会は著者に対して問い合わせ、または内容の修正を求めることがある。
- (4) 査読結果に応じて、本小委員会は投稿原稿の「論文・報告」と「資料・解説」の区分の変更を求めることがある。
- (5) 原稿に関する照会、または修正依頼をしてから所定期日以内に著者から回答や提出がない場合には、本小委員会は査読を打ち切ったり、論文集への掲載を取りやめる。

8. 別 刷

別刷は50部単位とする。

- (1) 50部の場合：論文1ページにつき、1,000円とする。
- (2) 50部以上の場合：追加の50部毎に、論文1ページにつき、500円とする。

9. 著作権

論文集に掲載されたものの著作権は著者に属し、九州橋梁・構造工学研究会は出版・編集権を持つものとする。

10. その他

- (1) 投稿原稿の受付日は、査読用原稿提出期限の日付とする。
- (2) カラー写真の印刷費は、投稿者の負担とする。
- (3) その他の投稿に関する問い合わせは、下記の本小委員会幹事までご照会下さい。

11. 原稿提出および問い合わせ先

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16-1 山口大学工学部社会建設工学科 高海克彦
TEL (0836) 85-9348
FAX (0836) 85-9301
E-mail : takami@jim2.civil.yamaguchi-u.ac.jp

F A X 送 信 状

宛 先：九州橋梁・構造工学研究会事務局 (火～金 10:00～16:00のみの受付で
F A Xは随時受け付けております。)

TEL・FAX共用 **092-641-1181**

(〒812-0053 福岡市東区箱崎6-15-34 福岡建設専門学校内)

発信元： _____

FAX - -

TEL - -

九州橋梁・構造工学研究会 入会申込書／変更通知書

第1種あるいは第2種のどちらかに所定の内容をお書き下さい。

第1種 (個人会員)

第2種 (法人会員)

フリガナ	フリガナ
氏 名	法 人 名
勤 務 先	代 表 者 職・氏名
所 属 名 〒	連 絡 者 職・氏名 〒
勤 務 先 住 所	住 所
電 話	電 話
F A X	F A X
通 信 欄	通 信 欄

注1) 年会費 第1種 (個人) 3,000円/人 第2種 (法人) 30,000円/口

注2) 第2種会員の代表者は、登録を希望される部署の代表者をお書き下さい。

連絡者とは、本研究会との窓口になっていただく方で、その方宛に会報等の出版物、会費請求書等をお送りさせていただきます。

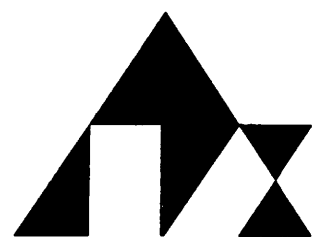
注3) 会費の納入につきましては、入会登録通知とともに、振込用紙をお送りしますので、それに従って納入して下さい。

注4) 勤務先住所や電話番号の変更の場合は、新しい内容を記入して下さい。

KABSEシンボルマークについて

上を向く▲に研究会の将来への発展を祈念した。橋梁のプリミティブな型を「山の吊橋」にイメージを求め、▲の山の中に Kyushu のイニシャル K の上部を橋にみたてて組み入れた。

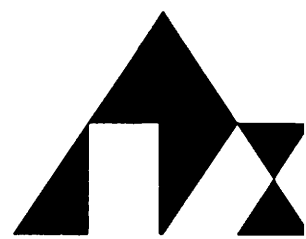
九州産業大学教授 河 地 知 木



KABSE

KYUSHU ASSOCIATION FOR
BRIDGE AND STRUCTURAL
ENGINEERING

九州橋梁・構造工学研究会



KABSE

KYUSHU ASSOCIATION
BRIDGE AND STRUCTURAL
ENGINEERING

九州桥梁・構造工学研究会